

**松阪市 運動・スポーツに関する市民意識調査
調査結果報告書**

令和4年12月

松阪市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書における図表の見方	2
4. 標本誤差	3
II 調査結果	5
回答者の属性	6
1. 健康状態について	7
1-1 健康状態【問1】	7
1-2 体力に対する自信【問2】	9
2. スポーツ活動の状況について	11
2-1 運動・スポーツに対する関心度【問3】	11
2-2 運動・スポーツの実施状況【問4】	13
2-3 運動・スポーツの実施頻度【問 4-1】	20
2-4 運動・スポーツを行う主な目的【問 4-2】	22
2-5 運動・スポーツを行う主な相手【問 4-3】	24
2-6 運動・スポーツを行わない理由【問5】	26
2-7 今後、運動・スポーツを行うための条件【問6】	29
2-8 今後、行いたい主な運動・スポーツと主な目的【問7・問 7-1】	32
3. 公共スポーツ施設について	42
3-1 公共スポーツ施設の利用状況【問8】	42
3-2 公共スポーツ施設に対する満足度【問9】	44
3-3 市営プールについて【問 10～問 12】	48
3-4 テニスコートについて【問 13～問 15】	58
3-5 今後、整備すべきスポーツ施設【問 16】	67
3-6 松阪市体育施設予約システムの認知度【問 17】	70
3-7 公共スポーツ施設で充実させる点【問 18】	72
4. クラブや同好会、教室について	75
4-1 総合型地域スポーツクラブの認知度【問 19】	75
4-2 クラブや同好会、教室などの加入状況【問 20・問 20-1】	77
4-3 今後のクラブや同好会、教室などへの加入意向【問 21・問 21-1】	81
5. 学校体育施設について	86
5-1 学校体育施設の利用状況【問 22】	86
5-2 学校体育施設で充実させる点【問 23】	88

6. スポーツ推進委員について.....	91
6-1 スポーツ推進委員の認知度【問 24】.....	91
6-2 今後、力を入れてほしいスポーツ推進委員の活動【問 25】.....	93
7. スポーツボランティアについて.....	96
7-1 スポーツボランティア活動参加の有無【問 26】.....	96
7-2 今後のスポーツボランティア活動への参加意向【問 27・問 27-1】.....	98
8. 障がい者スポーツについて.....	103
8-1 障がい者スポーツに対する関心度【問 28】.....	103
8-2 障がい者スポーツ普及・振興のために重要な点【問 29】.....	105
9. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について.....	108
9-1 今後、松阪市がめざすスポーツに対する考え方【問 30】.....	108
9-2 今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策【問 31】.....	111
10. 現在のスポーツ行政に対する評価について.....	114
10-1 現在の松阪市のスポーツ政策に対する満足度【問 32】.....	114
Ⅲ 自由記述.....	117
Ⅳ 調査票.....	123

I 調査の概要

1. 調査目的

松阪市では、平成 29 年に策定した「松阪市スポーツ推進計画」の見直しに向け取組を進めている。この調査は、市民の運動・スポーツの実施状況、運動・スポーツに対する意識や考えなどを把握し、計画の見直しにあたっての基礎資料とすることを目的としている。

2. 調査概要

(1) 調査の名称

松阪市運動・スポーツに関する市民意識調査

(2) 調査対象

市内在住の 16 歳以上の方

(3) 調査時期

令和 4 年 7 月 20 日～令和 4 年 8 月 22 日

(4) 調査方法

無作為に抽出した 3,000 人の市民への郵送による調査

(5) 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
令和4年度(今回)	3,000	1,402	46.7%	1,402	46.7%
平成 27 年度(前回)	3,000	1,291	43.0%	1,291	43.0%

※有効回収数:回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

3. 報告書における図表の見方

- ① 図表内の「n」は、設問に対する回答の合計数である。
- ② 単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとする。
- ③ 集計は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示しているため、比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
- ④ 複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- ⑤ クロス集計では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。また、性別の「その他」と「分類不能」についてはサンプル数が少ないためクロス項目からは除いている。
- ⑥ 本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- ⑦ 本報告書中の「前回調査」とは「平成 27 年度調査」のことを言う。また、問 7-1 の前回調査について n 値が不明であるため表記していない。
- ⑧ 問 2、問 3、問 5、問 6、問 7-1、問 28 の前回調査との比較については、前回調査から選択肢の追加変更があったため、【参考】として表記している。

4. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数1.96は、信頼率95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N：母集団数（調査の対象となる集団の総数）

n：サンプル数（有効回答数）

P：回答比率（ある選択肢の回答割合）

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

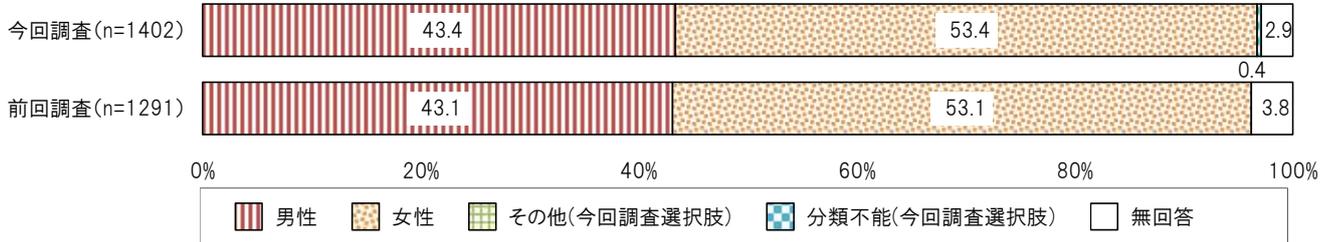
(1) 松阪市市民意識調査（N=159,611）令和4年8月1日現在の住民基本台帳人口

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,402(全数)	±1.56%	±2.08%	±2.39%	±2.55%	±2.61%
609(男性)	±2.37%	±3.16%	±3.63%	±3.88%	±3.96%
478(女性)	±2.14%	±2.85%	±3.27%	±3.49%	±3.57%

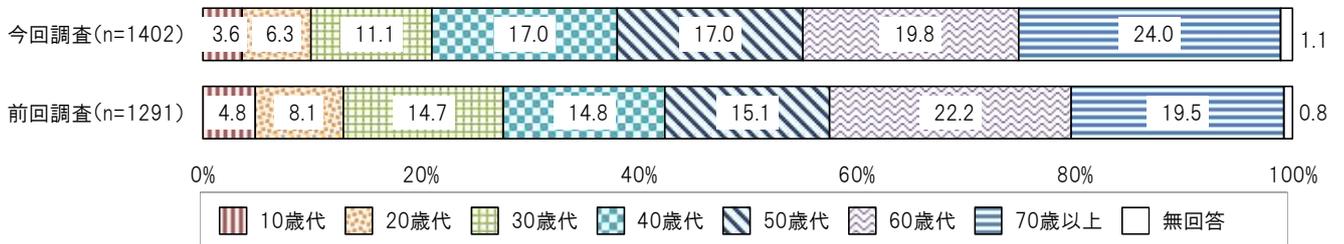
Ⅱ 調査結果

回答者の属性

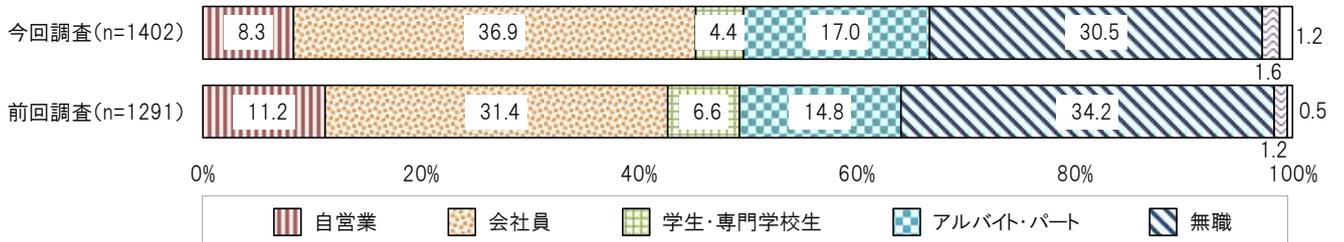
(1) 性別



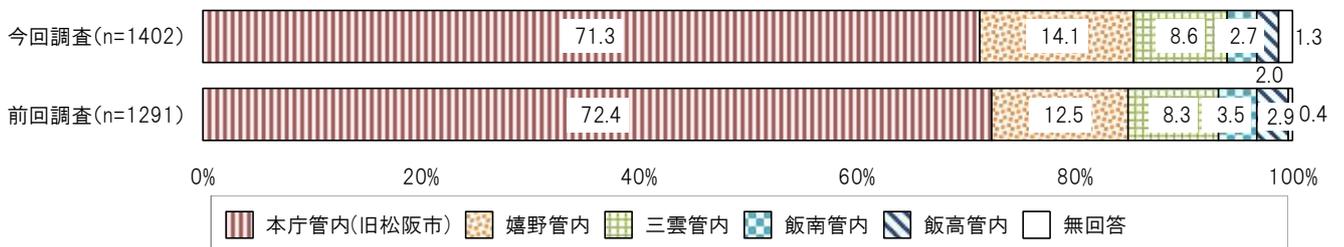
(2) 年齢



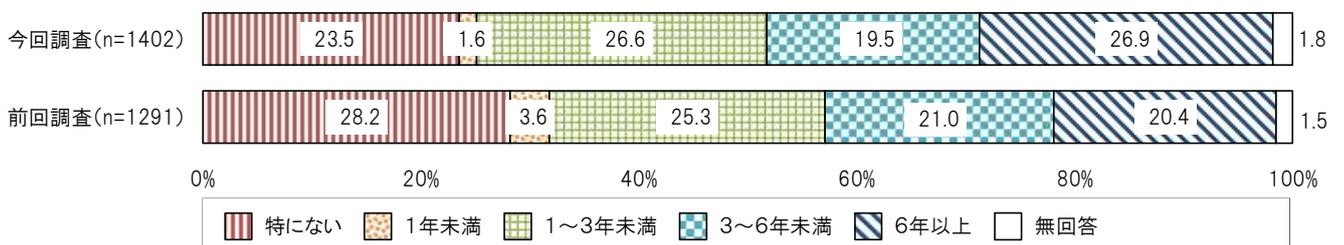
(3) 職業



(4) 居住地区



(5) 学生時代のスポーツ経験の年数



1. 健康状態について

1-1 健康状態【問1】

問1. あなたはご自身の健康状態をどのように感じていますか。（〇は1つだけ）

健康状態については、「おおむね健康である」が49.8%で最も高く、次いで「健康である」が34.3%と、合わせて8割強の人が『健康である』と感じている。反対に、「あまり健康でない」は10.1%、「健康でない」は4.8%と、合わせて『健康でない』と感じている人は1割強となっている。

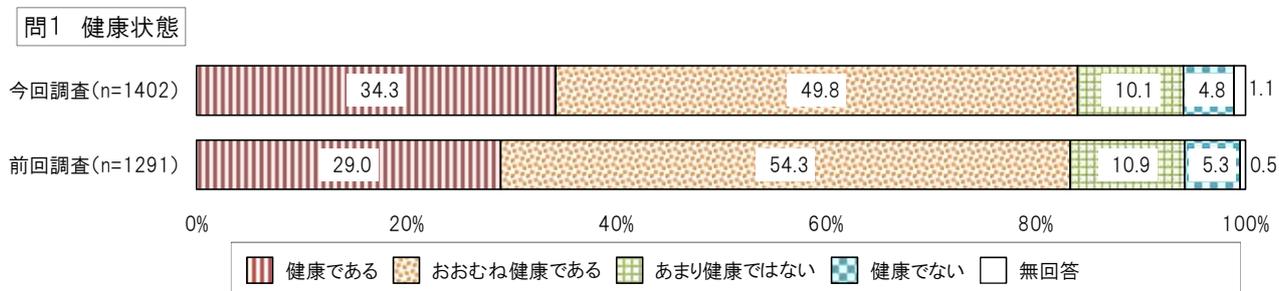
性別にみると、『健康である』と感じている人は女性が男性を2.3ポイント上回っている。

年代別にみると、40歳代以下では『健康である』と感じている人は9割を超えている。一方、70歳以上では『健康でない』と感じている人が26.2%と、他の年代に比べて特に高くなっている。

問1 健康状態



前回調査と比較すると、『健康である』と感じている人の割合は、前回調査では 83.3%であったが、今回調査では 84.1%と若干増加している。一方、『健康でない』と感じている人の割合は、前回調査より 1.3 ポイント減少している。



1-2 体力に対する自信【問2】

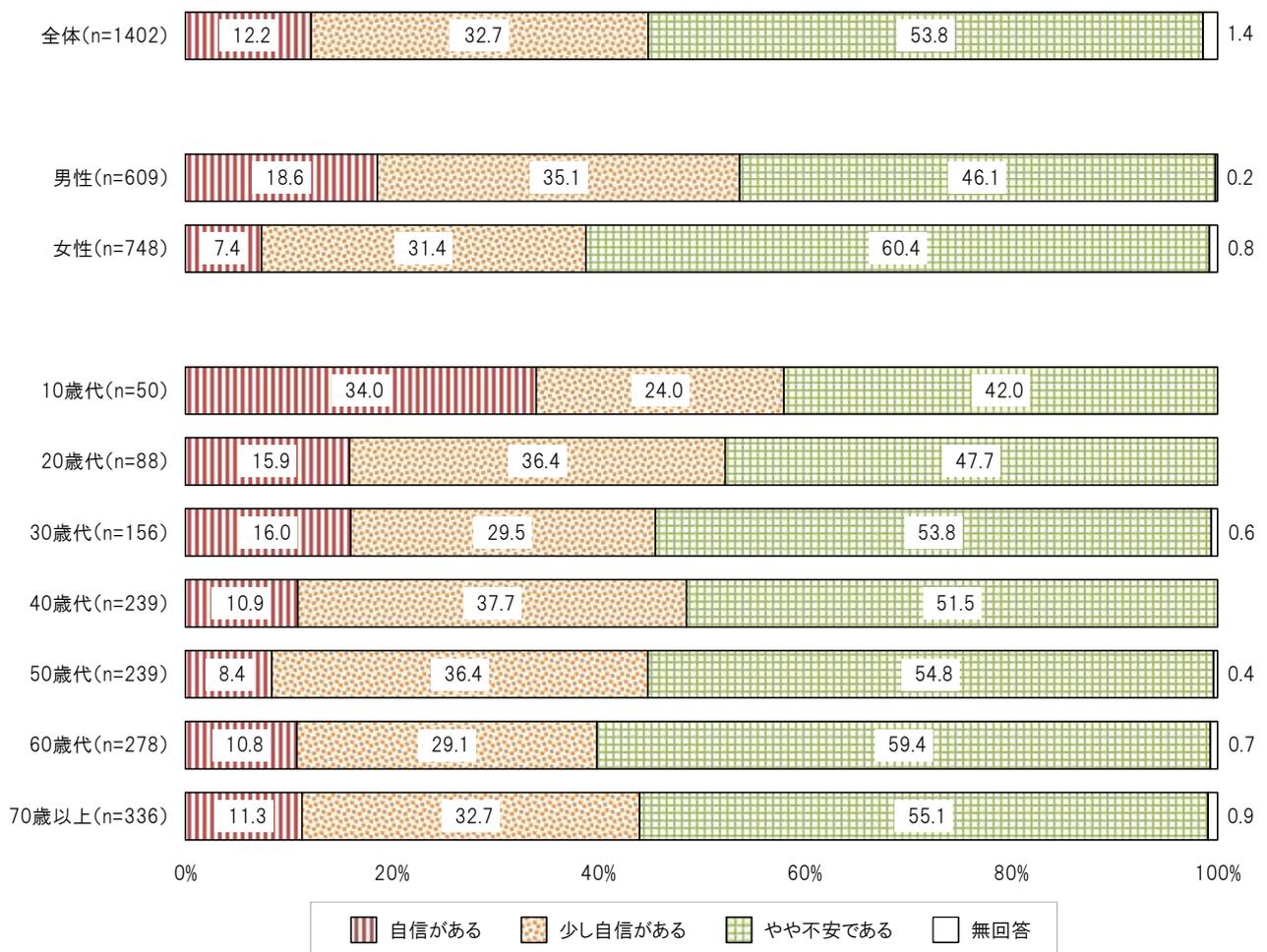
問2. あなたはご自身の体力についてどのように思いますか。（○は1つだけ）

体力についての自信については、「やや不安である」が53.8%と過半数を占めている。次いで「少し自信がある」が32.7%、「自信がある」が12.2%の順となっている。「自信がある」と「少し自信がある」を合わせた『自信あり』とされている人は4割強となっており、体力について「やや不安である」と思っている人が『自信あり』とされている人を上回っている。

性別にみると、『自信あり』とされている人は男性が53.7%と、女性より14.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、60歳代では他の年代に比べて『自信あり』とされている人の割合が最も低くなっている。反対に、10歳代では『自信あり』とされている人の割合が最も高くなっている。

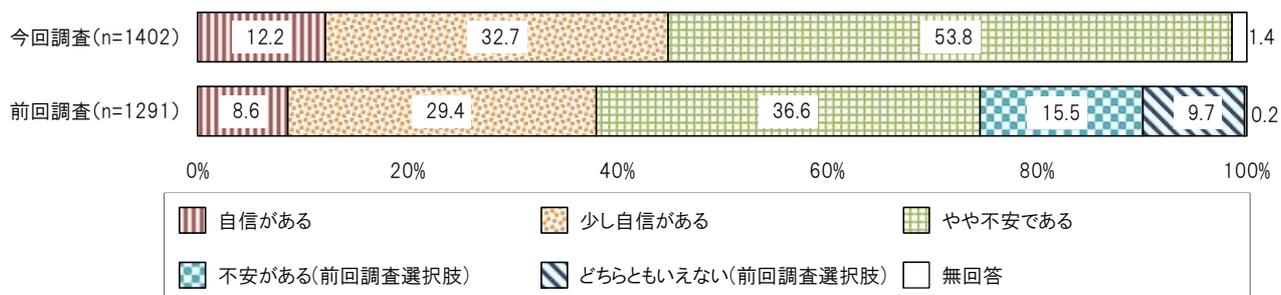
問2 体力に対する自信



【参考】

前回調査と比較すると、『自信あり』と思っている人の割合は、前回調査が 38.0%であったのに対し今回調査では 44.9%と、6.9 ポイント増加している。

問2 体力に対する自信



2. スポーツ活動の状況について

2-1 運動・スポーツに対する関心度【問3】

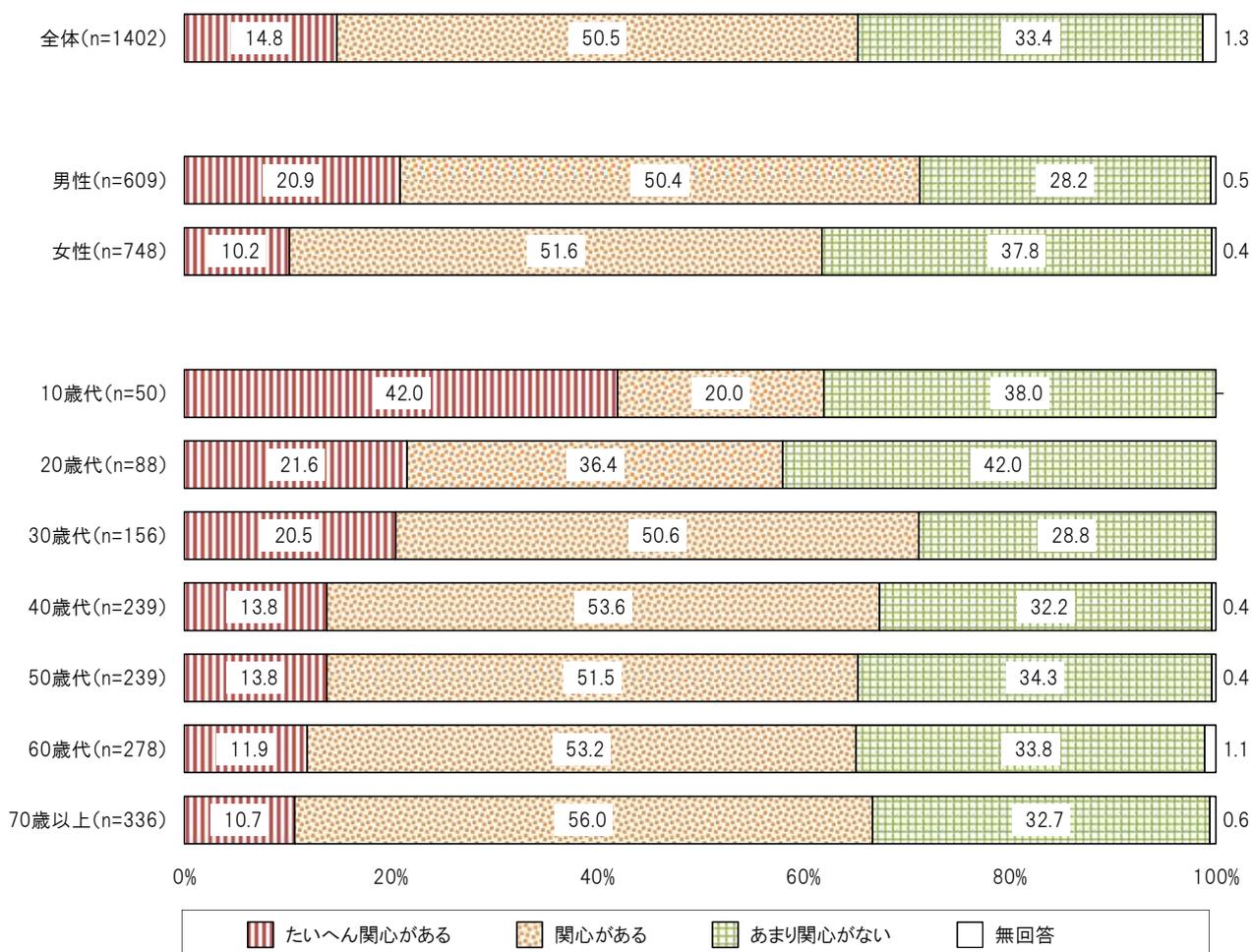
問3. あなたは、運動・スポーツに関心がありますか。（○は1つだけ）

運動・スポーツに対する関心度については、「関心がある」が50.5%と約半数を占めている。次いで「あまり関心がない」が33.4%、「たいへん関心がある」が14.8%の順となっている。「関心がある」と「たいへん関心がある」を合わせると6割強の人が『関心あり』と答えている。

性別にみると、男性の方が女性よりも『関心あり』の割合が9.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、30歳代では『関心あり』の割合が71.1%で最も高くなっており、次いで40歳代となっている。また、「たいへん関心がある」の割合は年齢が低いほど高く、10歳代では42.0%と最も高くなっている。

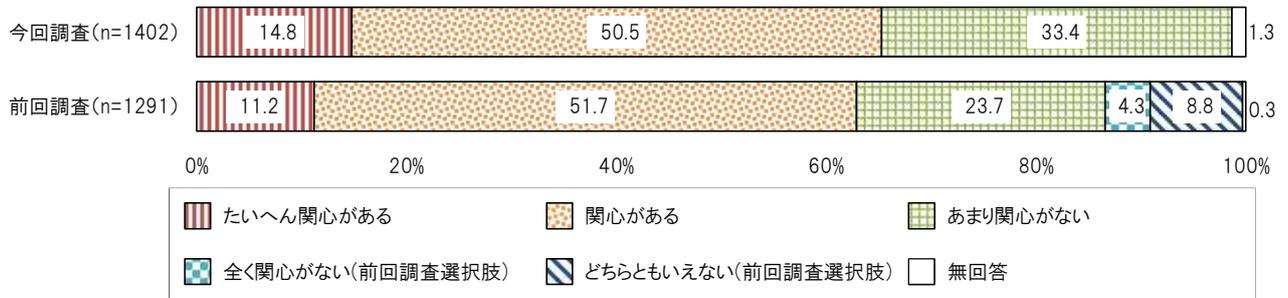
問3 運動・スポーツに対する関心度



【参考】

前回調査と比較すると、『関心あり』の割合は、前回調査が 62.9%であったのに対し今回調査では 65.3%と、2.4 ポイント増加している。

問3 運動・スポーツに対する関心度



2-2 運動・スポーツの実施状況【問4】

問4. この1年間で、下記に示すような運動やスポーツを行っていますか。(〇はいくつでも)

この1年間で行った運動・スポーツについては、「ウォーキング（散歩含む）」が47.4%で最も高くなっている。次いで、「体操（健康体操・美容体操など）」が12.8%、「ランニング、ジョギング」が9.3%、「登山、ハイキング」が8.8%、「ゴルフ」が8.7%の順となっており、手軽にできるスポーツが多くなっている。また、「特にない」と答えた運動・スポーツを行っていない人の割合は30.7%となっている。

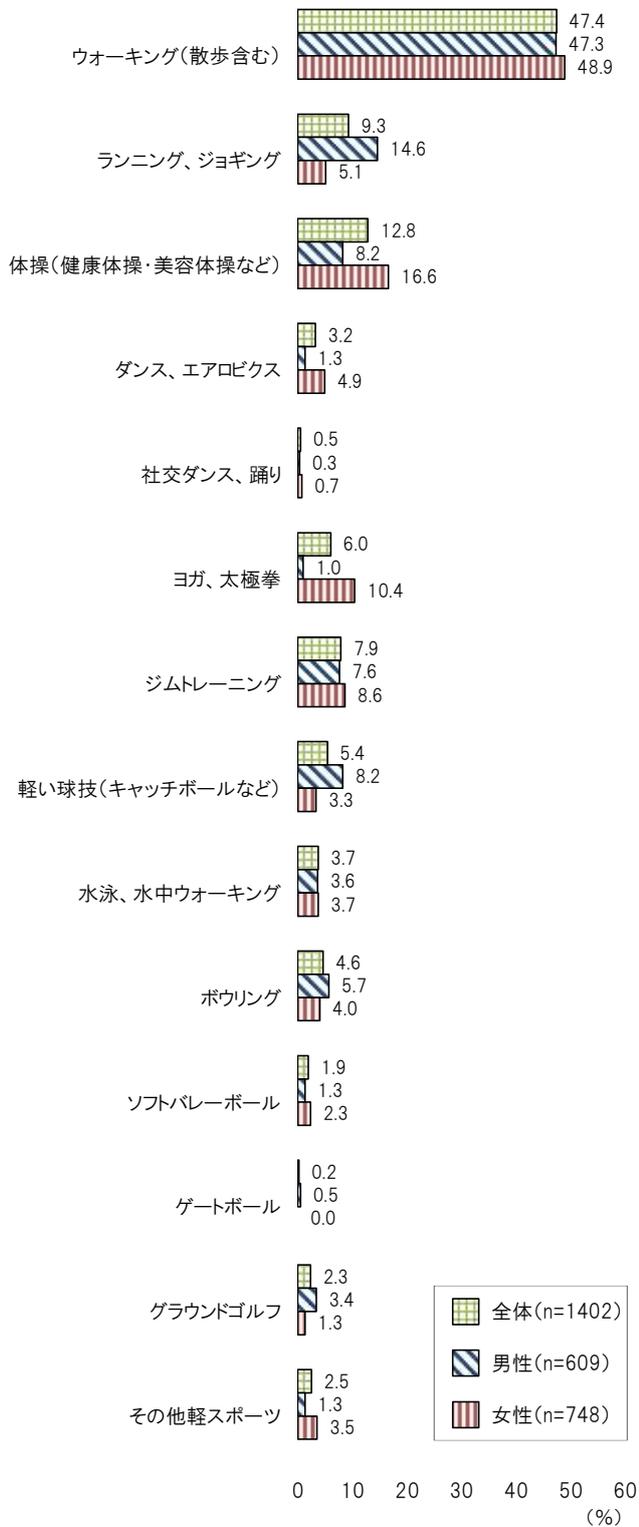
性別にみると、「ウォーキング（散歩含む）」は男女ともに最も高く、40%を超えている。次いで、男性では「ゴルフ」、「ランニング・ジョギング」、「登山、ハイキング」、「体操（健康体操・美容体操など）」、「軽い球技（キャッチボールなど）」の順となっている。女性では「体操（健康体操・美容体操など）」、「ヨガ、太極拳」、「ジムトレーニング」、「登山、ハイキング」、「ランニング・ジョギング」の順となっている。

一方、運動・スポーツを行っていない人の割合は、女性の方が男性よりも6ポイント高くなっている。

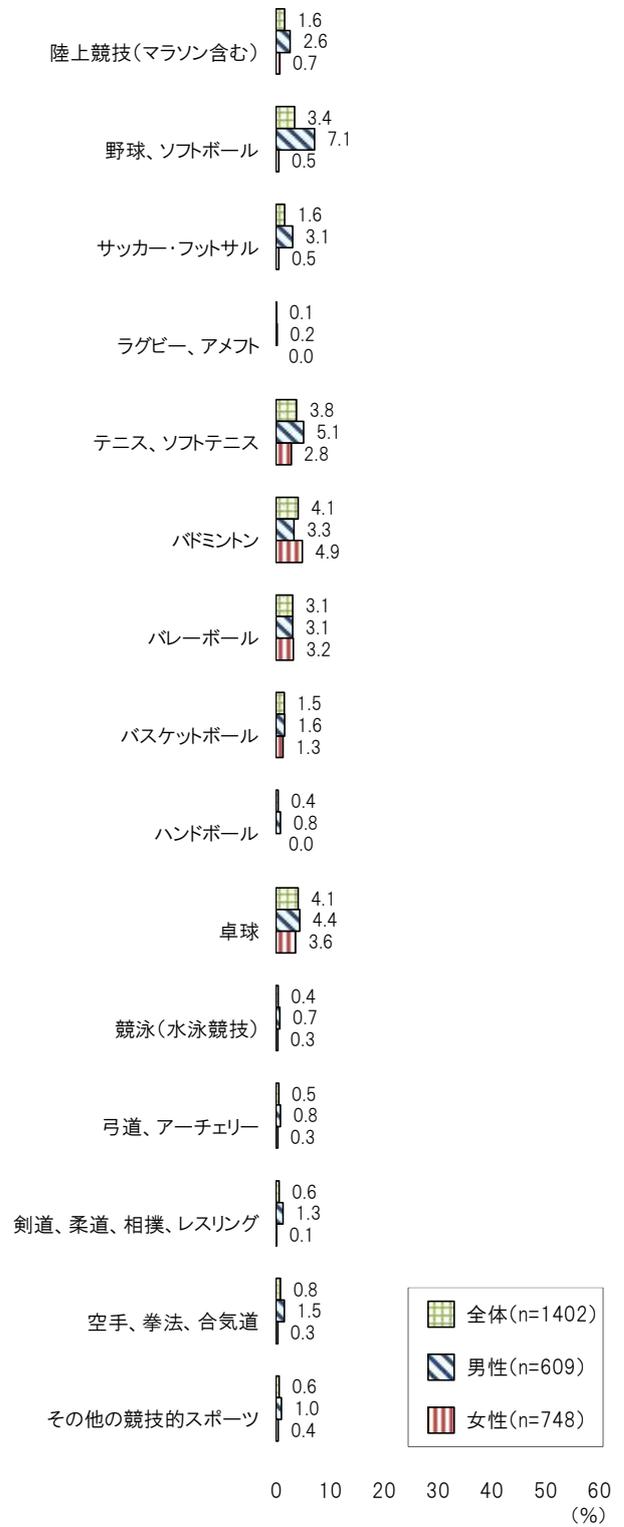
【主な「その他」の回答】

- 自転車
- トランポリン
- フィッシング

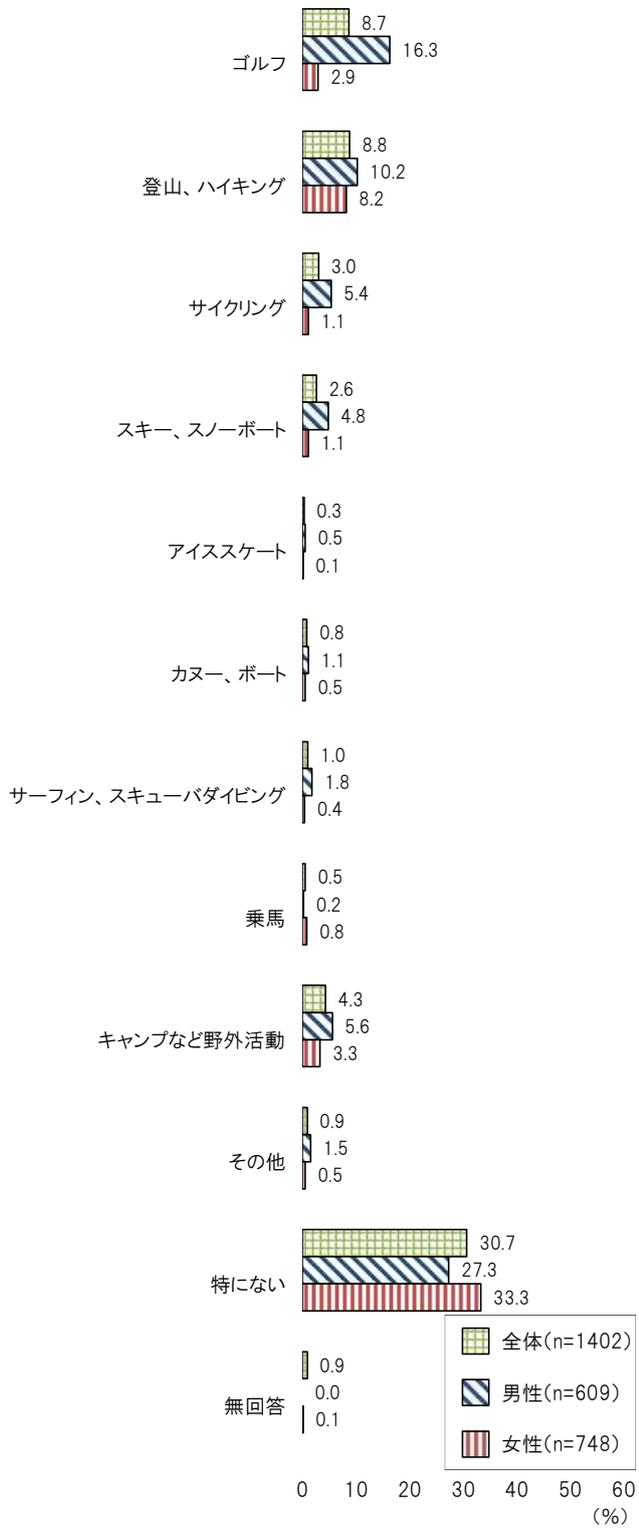
◆手軽にできる運動やスポーツ



◆競技的スポーツ

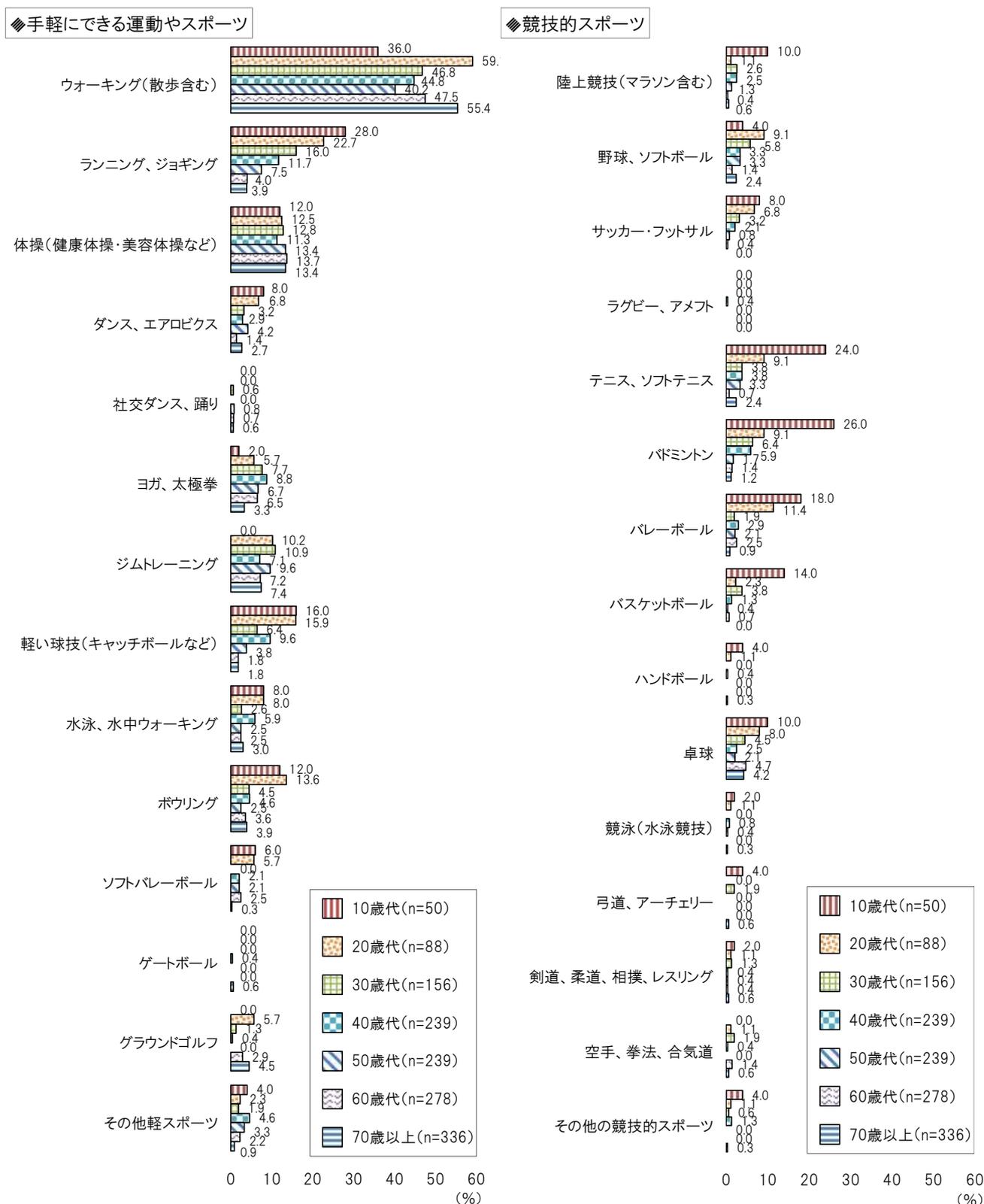


◆ 野外スポーツ

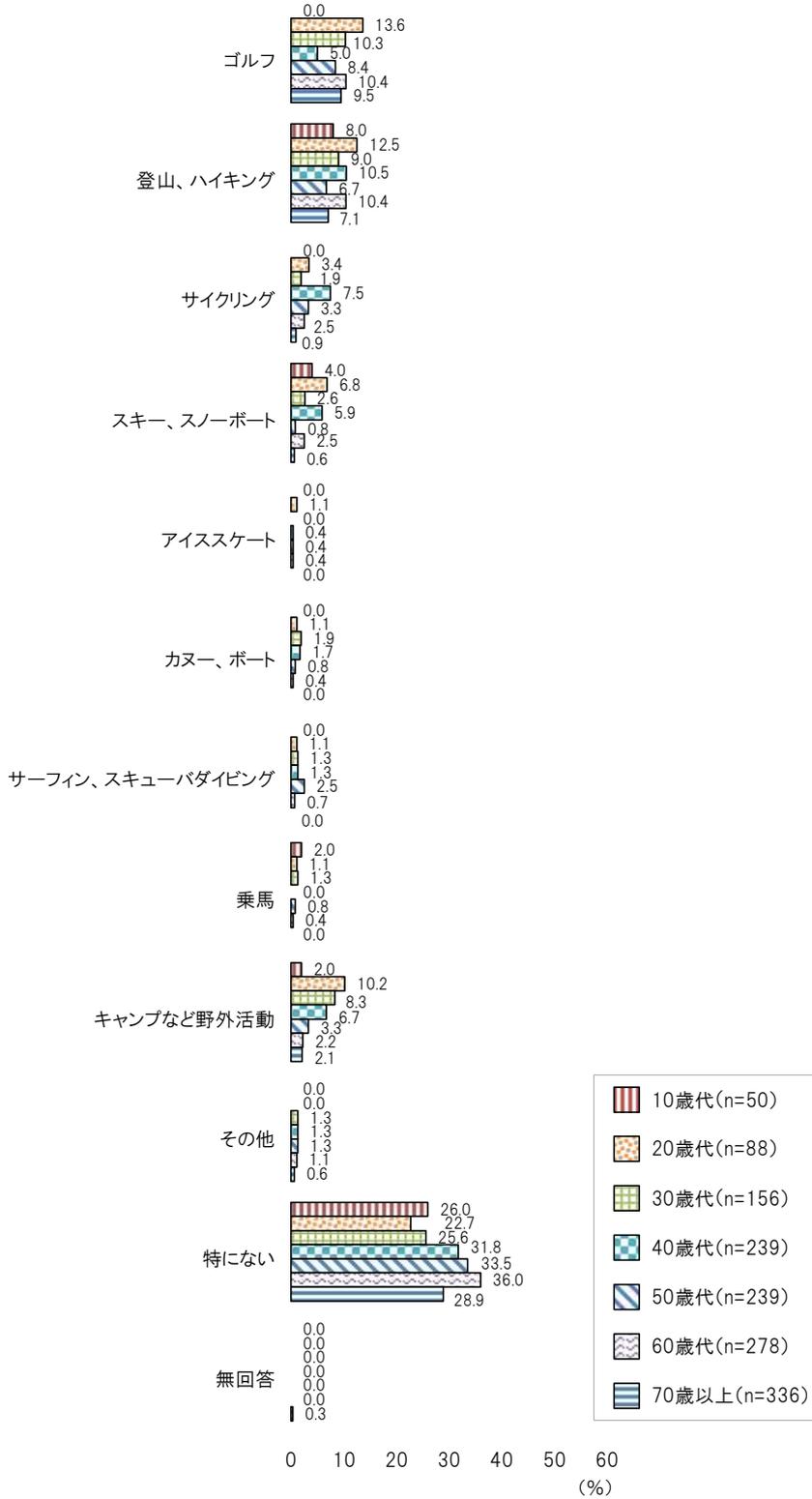


年代別にみると、「ウォーキング（散歩含む）」はいずれの年代でも最も高くなっている。次いで、40歳代以下では「ランニング・ジョギング」が、50歳代以上では「体操（健康体操・美容体操など）」が続いている。

一方、運動・スポーツを行っていない人の割合は、40歳代から60歳代では30%を超えており、特に60歳代では36.0%と高くなっている。



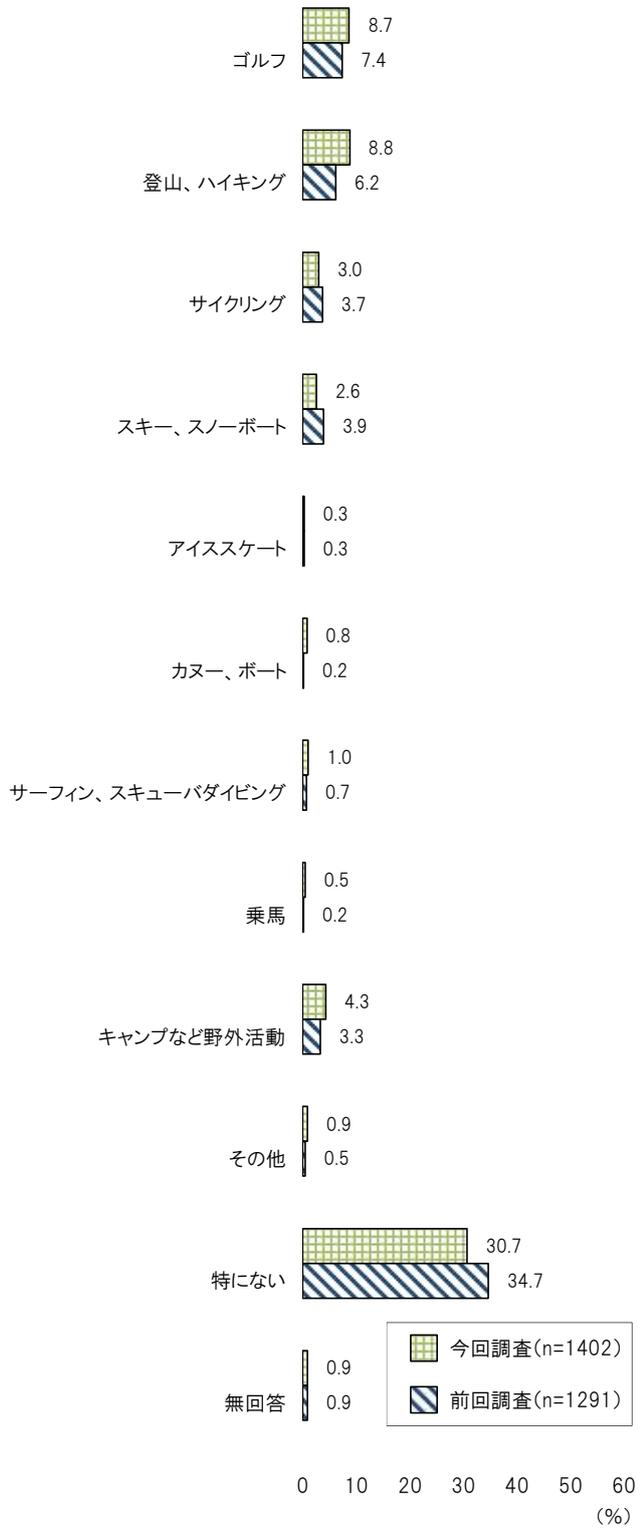
◆ 野外スポーツ



前回調査と比較すると、「ウォーキング（散歩含む）」が6.1ポイント増加している。また、「登山、ハイキング」は2.6ポイント、「バドミントン」は1.5ポイント、「ヨガ、太極拳」、「卓球」は1.4ポイント、「ゴルフ」は1.3ポイント、それぞれ増加している。
一方、運動・スポーツを行っていない人の割合は、4ポイント減少している。



◆ 野外スポーツ



2-3 運動・スポーツの実施頻度【問 4-1】

問 4 で運動・スポーツを行っているとお答えした人にお聞きします。

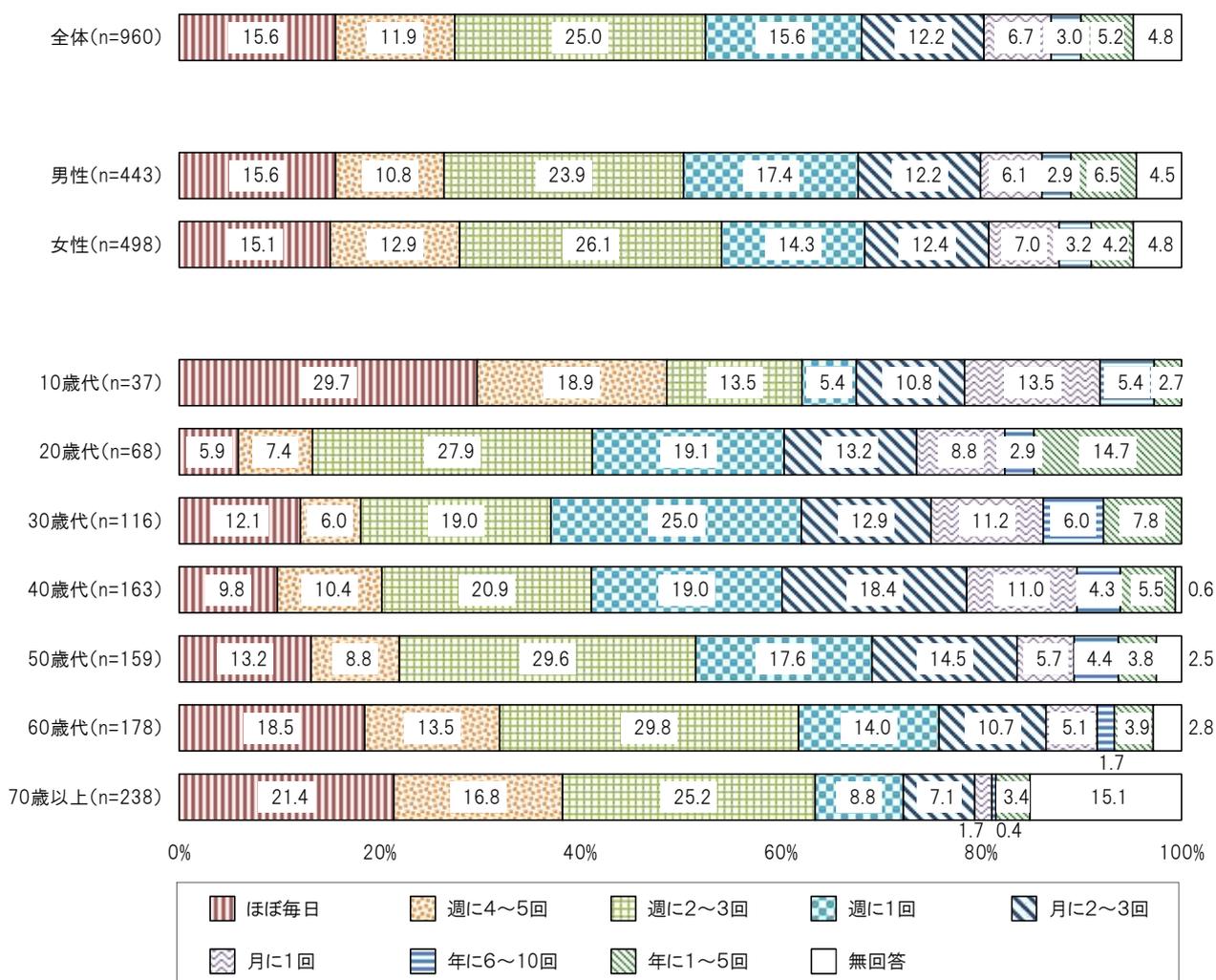
問 4-1. あなたは普段、問 4 であげられるような運動・スポーツを、どの程度行っていますか。いろいろなスポーツを行っている人は、トータルで（合わせて）お答えください。（○は1つだけ）

運動やスポーツを行っている人の実施している頻度については、「週に2～3回」が25.0%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」、「週に1回」が15.6%、「月に2～3回」が12.2%、「週に4～5回」が11.9%の順となっている。『週に1回以上運動やスポーツを実施している人』の割合は7割弱となっている。

性別にみると、『週に1回以上運動やスポーツを実施している人』の割合は、女性の方が男性よりも若干高くなっている。

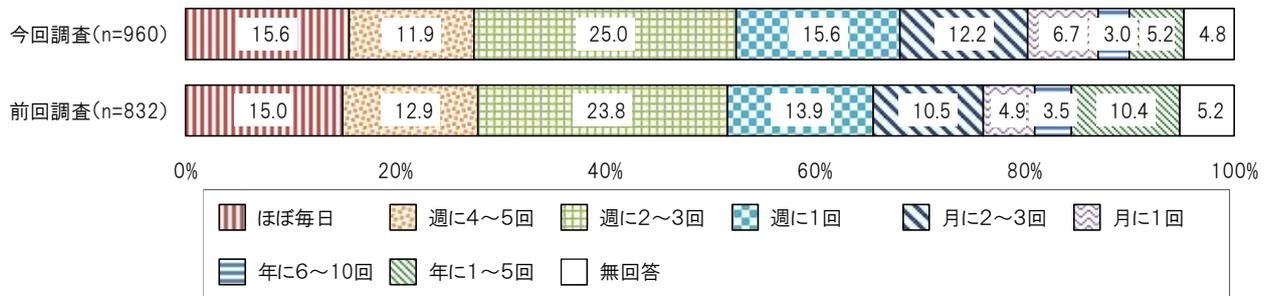
年代別にみると、『週1回以上運動やスポーツを実施している人』の割合が最も高い年代は60歳代で、次いで70歳以上となっている。反対に最も低い年代は40歳代で、僅差で20歳代が続いている。

問4-1 運動・スポーツの実施頻度



前回調査と比較すると、『週に1回以上運動やスポーツを実施している人』の割合は、前回調査では65.6%であったが、今回調査では68.1%と2.5ポイント増加している。

問4-1 運動・スポーツの実施頻度



2-4 運動・スポーツを行う主な目的【問 4-2】

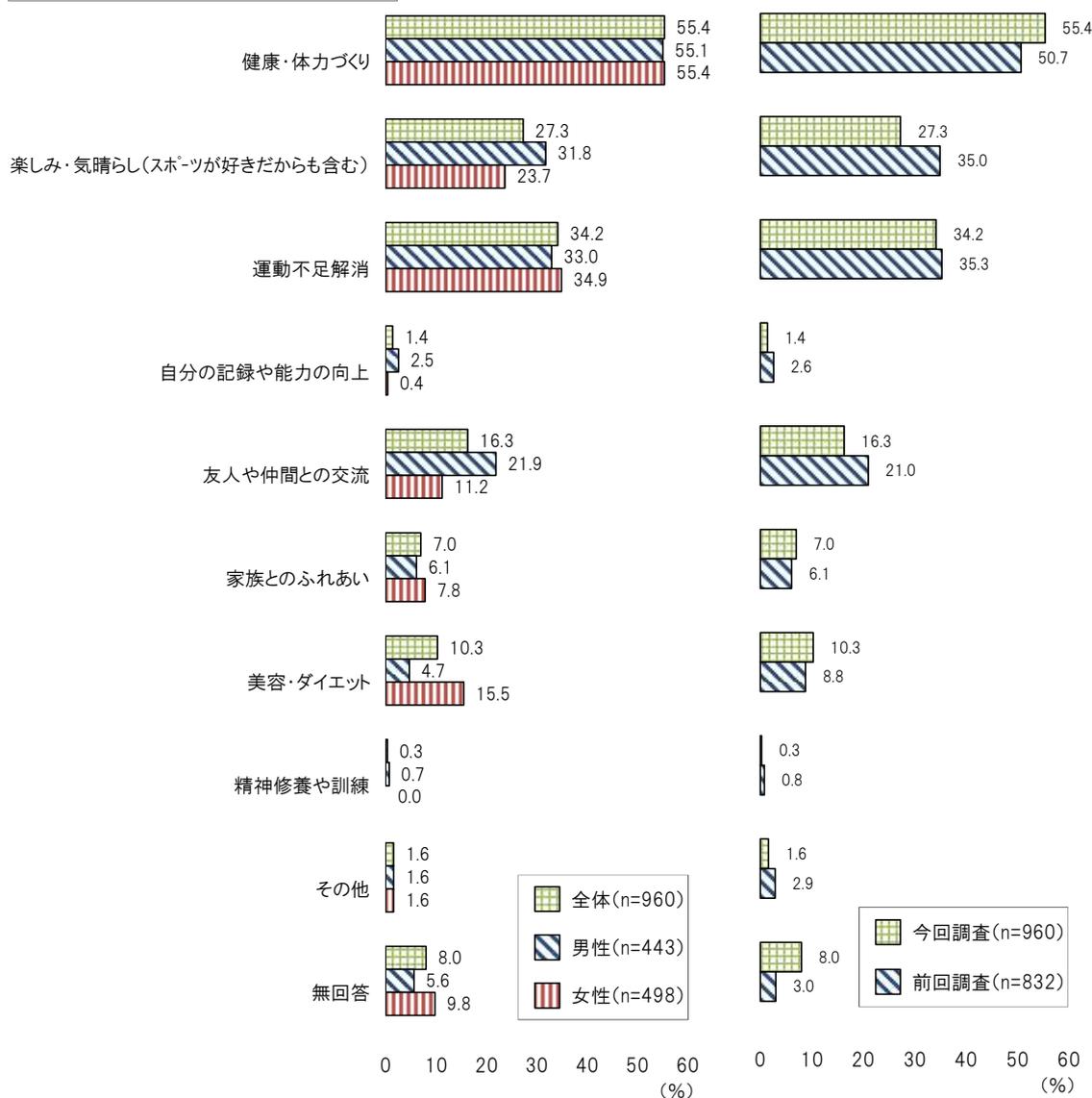
問 4-2. 運動やスポーツを行う主な目的は何ですか。（○は2つまで）

運動やスポーツを行っている主な目的は、「健康・体力づくり」が55.4%で最も高く、次いで「運動不足解消」が34.2%、「楽しみ・気晴らし」が27.3%、「友人や仲間との交流」が16.3%の順となっている。

性別にみると、男女ともに上位3位までの順位に変わりはないが、「楽しみ・気晴らし」については男性の方が女性より8.1ポイント高くなっている。また、「友人や仲間との交流」では男性の方が10.7ポイント高く、「美容・ダイエット」では女性の方が10.8ポイント高くなっている。

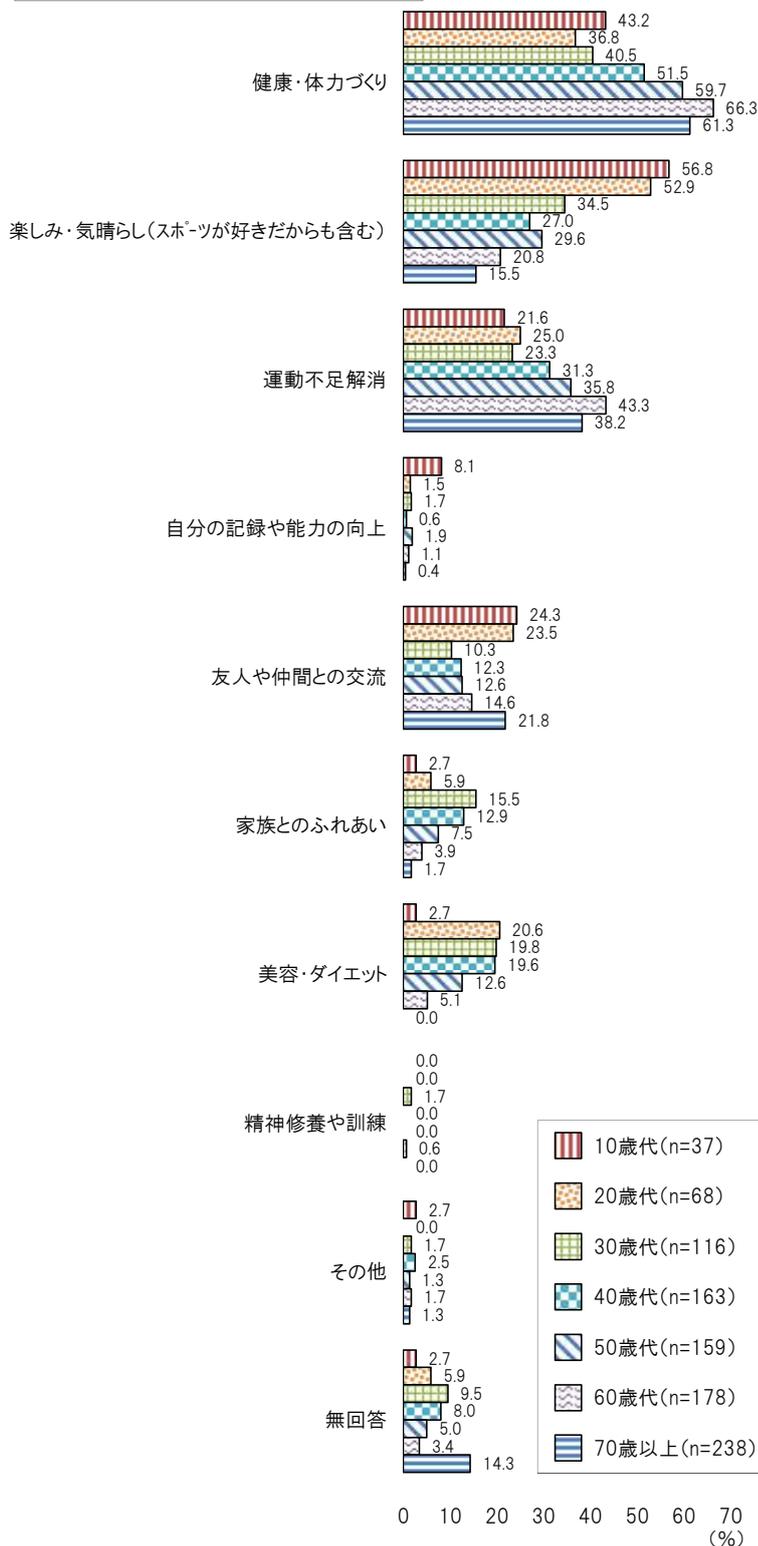
前回調査と比較すると、順位に変わりはないが、「健康・体力づくり」は4.7ポイント増加した一方、「楽しみ・気晴らし」は7.7ポイント、「友人や仲間との交流」は4.7ポイント減少している。

問4-2 運動・スポーツを行う主な目的



年代別にみると、20歳代以下では「楽しみ・気晴らし」が最も高く、30歳代以上では「健康・体力づくり」が最も高くなっている。次いで、20歳代以下では「健康・体力づくり」、30歳代では「楽しみ・気晴らし」、40歳代以上では「運動不足解消」の順となっている。

問4-2 運動・スポーツを行う主な目的



2-5 運動・スポーツを行う主な相手【問 4-3】

問 4-3. あなたは、主に誰と運動・スポーツをしていますか。（〇は2つまで）

運動やスポーツを主に行う相手については、「自分ひとり」が54.1%で最も高く、次いで「家族・親戚」が28.2%、「学校・職場以外の友人や知人」が15.3%、「学校・職場の友人や知人」、「クラブ・サークルの仲間」が13.4%の順となっている。

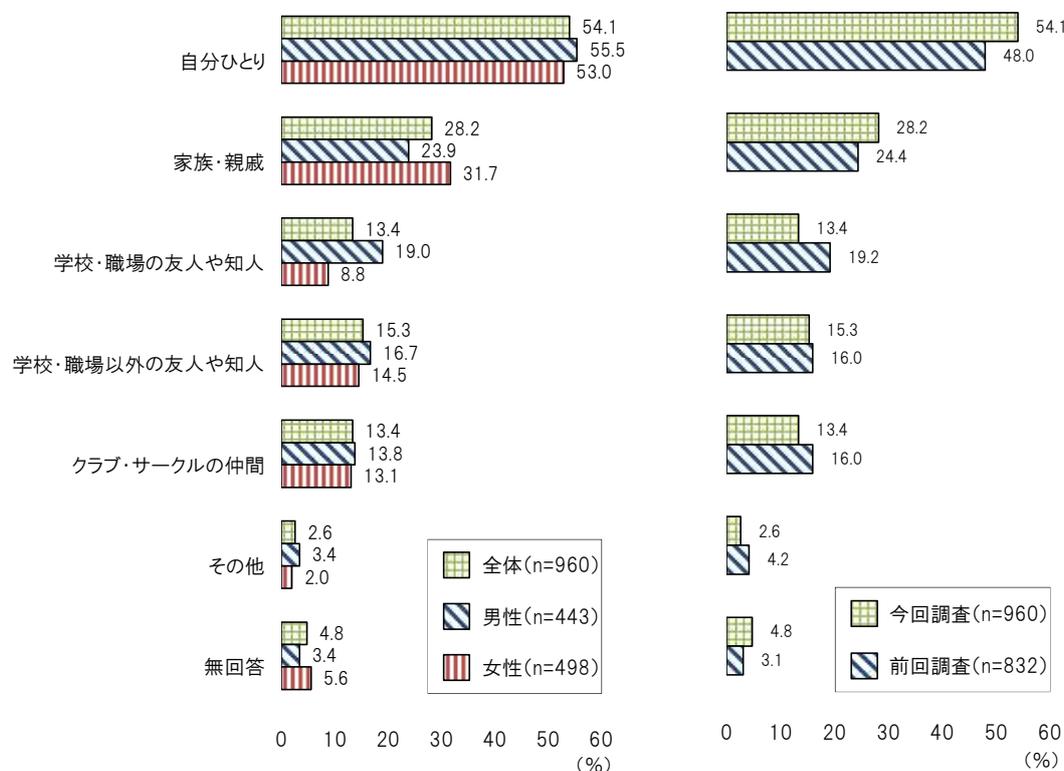
性別にみると、男女ともに上位2位までの順位に変わりはないが、「家族・親戚」については女性の方が男性より7.8ポイント高くなっている。また、男性では「学校・職場の友人や知人」が女性より10.2ポイント高く、男女間で若干違いがみられる。

前回調査と比較すると、上位2位までの順位に変わりはないが、「自分ひとり」は6.1ポイント、「家族・親戚」は3.8ポイント増加している。一方、前回3位だった「学校・職場の友人や知人」は5.8ポイント減少している。

【主な「その他」の回答】

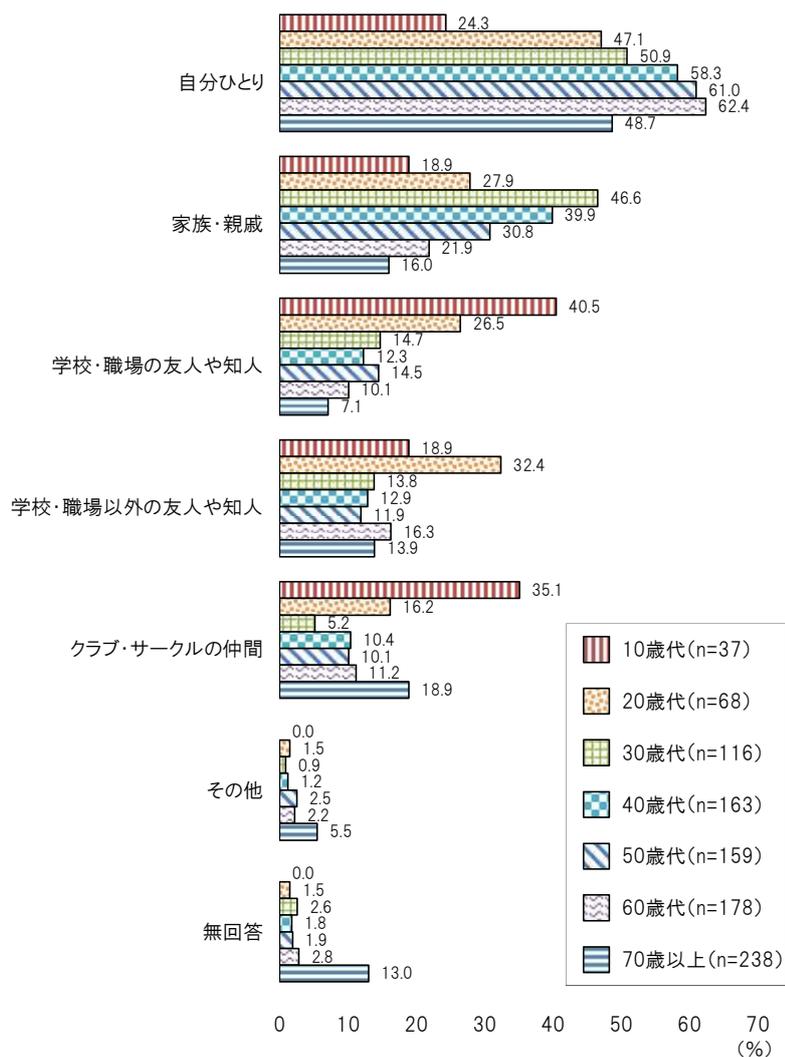
- 自治会（町内）
- 町内の人と
- 隣人

問4-3 運動・スポーツを行う主な相手



年代別にみると、「自分ひとり」は、50歳代、60歳代では60%を超えて高くなっている。一方、10歳代では「自分ひとり」は低くなり、「学校・職場の友人や知人」や「クラブ・サークルの仲間」のように誰かと一緒にスポーツ・運動をしている割合が30~40%と高い。また、30歳代では「家族・親戚」が46.6%と、他の年代と比較して高くなっている。

問4-3 運動・スポーツを行う主な相手



2-6 運動・スポーツを行わない理由【問5】

問5. 運動やスポーツを行わない理由は何ですか。（○は3つまで）

運動やスポーツを行っていない人に運動やスポーツを行わない理由について訊いたところ、「仕事などで忙しく時間がない」が43.3%で最も高く、次いで「始めるきっかけがない」が21.2%、「病気、高齢などの身体的な理由」が20.2%、「苦手、嫌い、興味がない」が19.1%、「新型コロナウイルスに感染することが心配だから」が15.6%の順となっている。一方、「特に理由はない」は10.5%となっている。

性別にみると、男女ともに「仕事などで忙しく時間がない」が最も高く、次いで、男性では「病気、高齢などの身体的な理由」が、女性では「始めるきっかけがない」が続いている。「新型コロナウイルスに感染することが心配だから」では女性が男性よりも9.7ポイント、「お金がかかる」では6.9ポイント高くなっており、男女間で差がみられる。

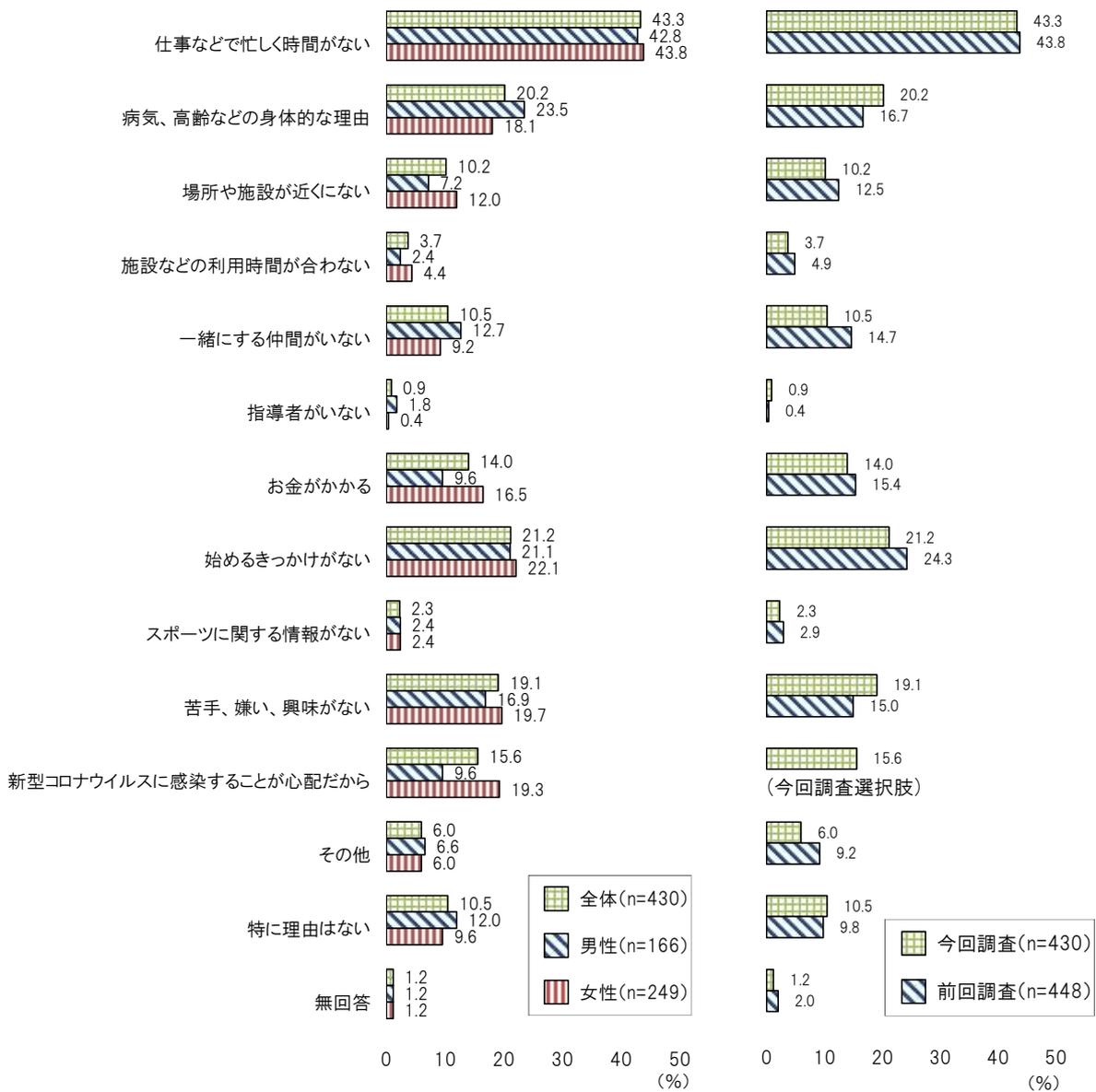
【参考】

前回調査と比較すると、上位3位までの順位に変わりはないが、「苦手、嫌い、興味がない」は4.1ポイント、「病気、高齢などの身体的な理由」は3.5ポイント増加している。一方、「一緒にする仲間がない」は4.2ポイント減少している。

【主な「その他」の回答】

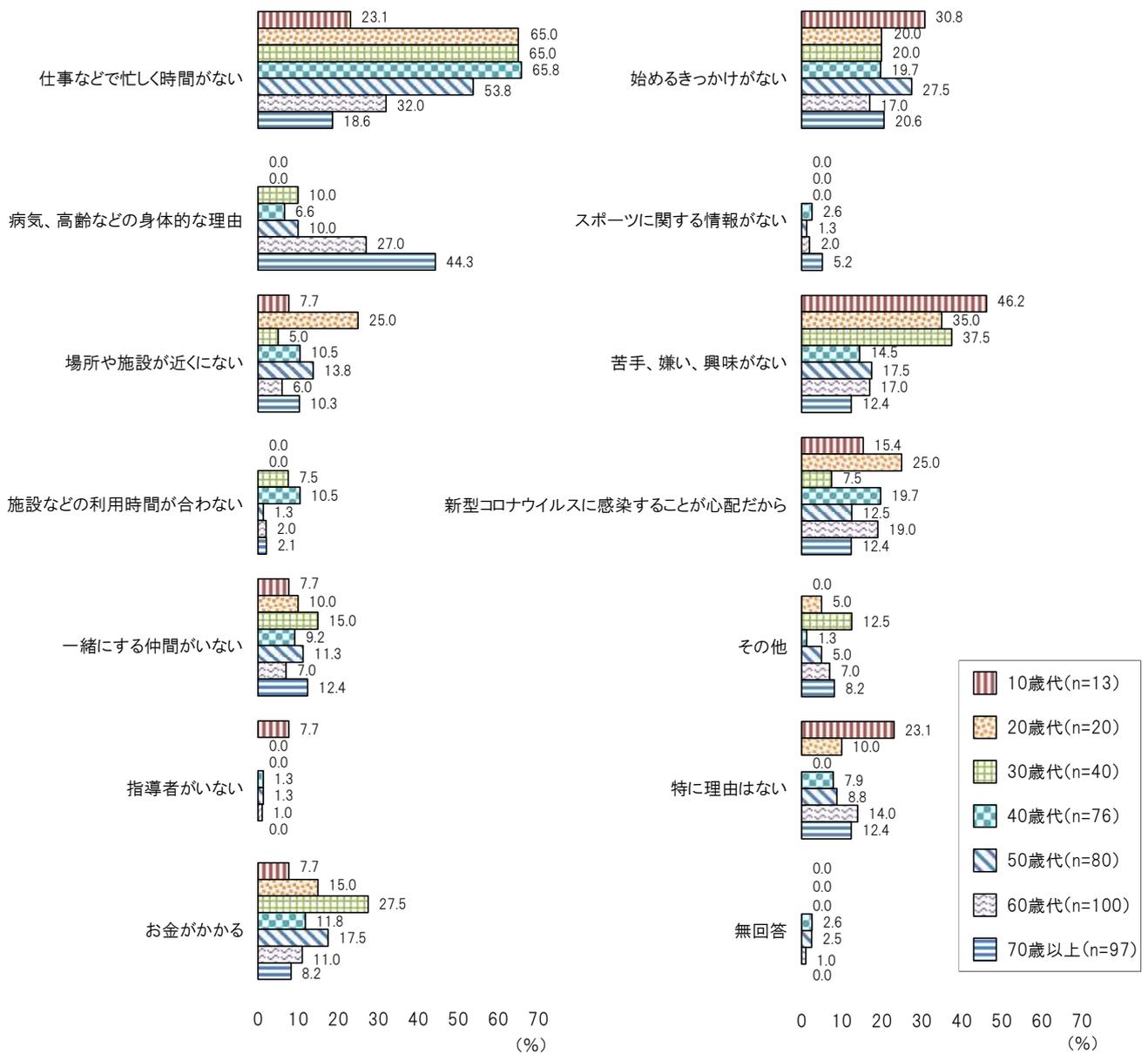
- 子育て
- 介護

問5 運動・スポーツを行わない理由



年代別にみると、「仕事などで忙しく時間がない」の割合は、20歳代～40歳代では60%を超えて高くなっている。一方、10歳代では「苦手、嫌い、興味がない」が46.2%、70歳以上では「病気、高齢などの身体的な理由」が44.3%と、他の年代と比較して高くなっている。

問5 運動・スポーツを行わない理由



2-7 今後、運動・スポーツを行うための条件【問6】

問6. 今後、どのような点が変われば運動やスポーツを行うようになると思いますか。
(○は3つまで)

運動やスポーツを行っていない人に、今後、運動やスポーツを行う条件について訊いたところ、「休暇が増えれば」が24.4%で最も高く、次いで「一人で気軽にできれば」が19.5%、「新型コロナウイルスに感染するリスクが下がれば」が18.1%、「体力や健康に不安がなくなれば」が16.7%の順となっている。一方、「特にない」も16.7%となっているが、これは今後も運動やスポーツを行うつもりはないと考えている人の意見も含まれている。

性別にみると、男性では「休暇が増えれば」が最も高く、次いで「特にない」、「一人で気軽にできれば」、「勤務時間が減れば」の順となっている。女性では「一人で気軽にできれば」、「新型コロナウイルスに感染するリスクが下がれば」が同率で最も高く、次いで「休暇が増えれば」、「近所で通いやすい場所でできれば」の順となっている。

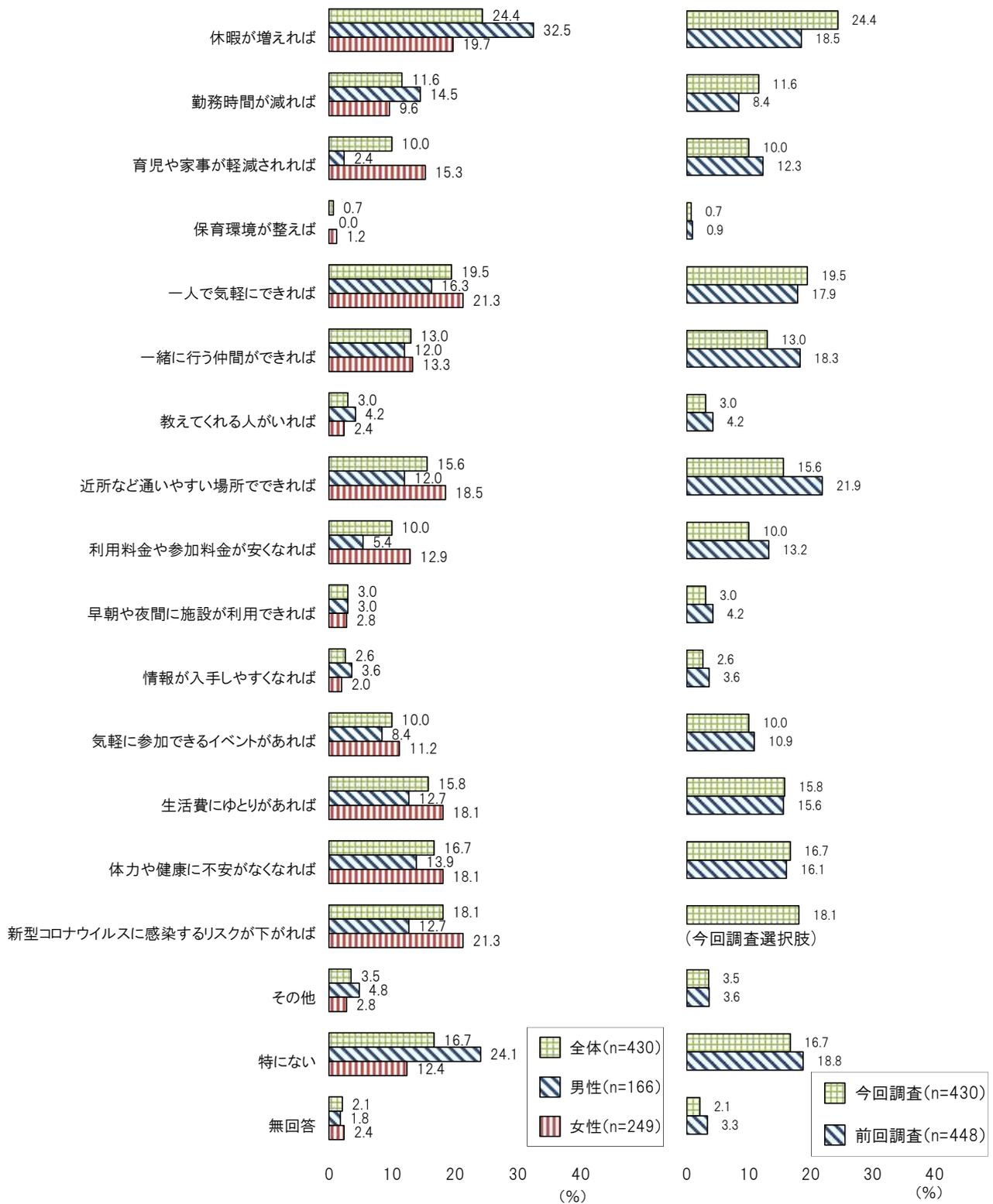
【参考】

前回調査と比較すると、「近所で通いやすい場所でできれば」が6.3ポイント減少する一方、「休暇が増えれば」が5.9ポイント増加している。

【主な「その他」の回答】

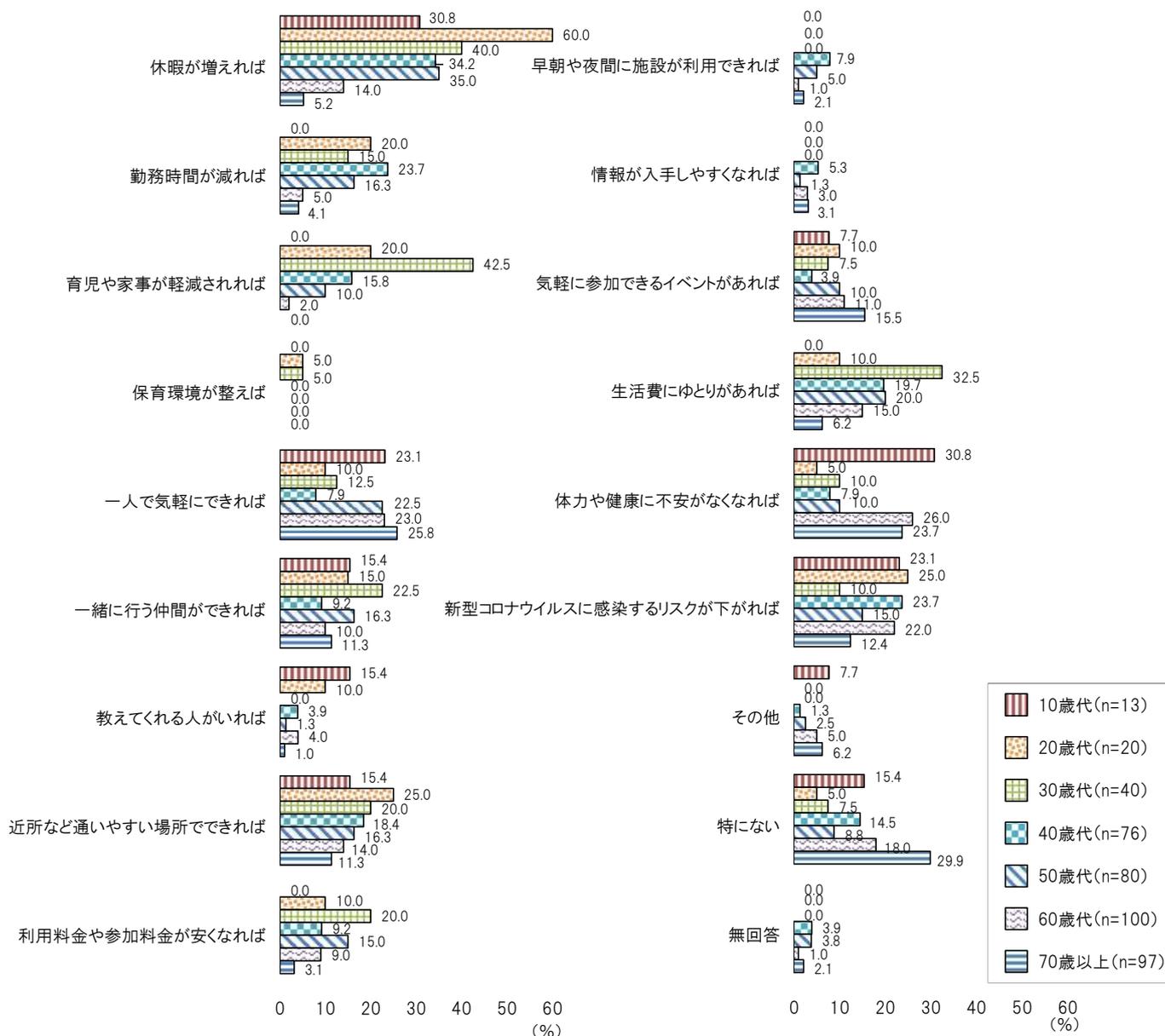
- 介護
- 親の介護をしている
- やる気が出れば

問6 今後、運動・スポーツを行うための条件



年代別にみると、30歳代では「育児や家事が軽減されれば」が42.5%と、他の年代と比較して特に高くなっている。また、60歳代では「体力や健康に不安がなくなれば」が、70歳以上では「特にない」が最も高くなっている。10歳代では「休暇が増えれば」と「体力や健康に不安がなくなれば」が同率で最も高くなっている。その他の年代では「休暇が増えれば」が最も高く、20歳代では60.0%と特に高くなっている。

問6 今後、運動・スポーツを行うための条件



2-8 今後、行いたい主な運動・スポーツと主な目的【問7・問7-1】

問7. 今後、主に行いたい（続けていきたい）運動やスポーツは何ですか。（○は3つまで）

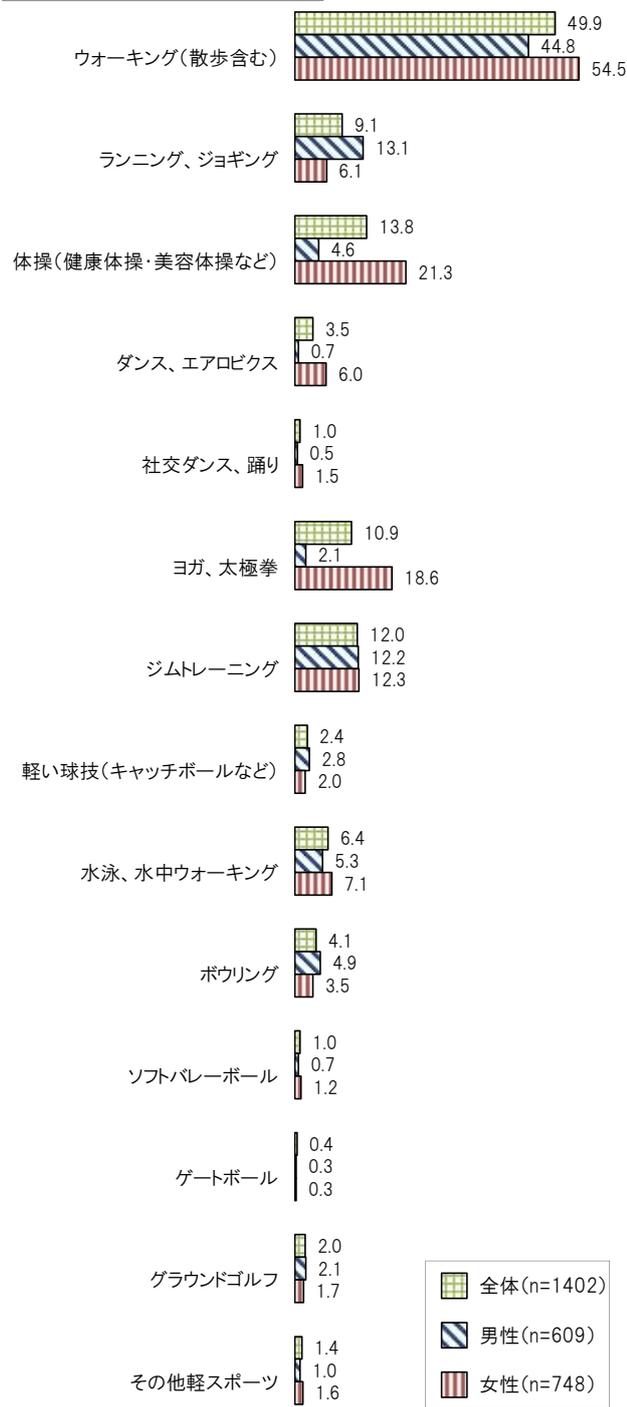
今後、主に行いたい運動・スポーツについては、「ウォーキング（散歩含む）」が49.9%で最も高くなっている。次いで、「体操（健康体操・美容体操など）」が13.8%、「ジムトレーニング」が12.0%、「ヨガ、太極拳」が10.9%、「ランニング・ジョギング」が9.1%の順となっている。一方、今後、行いたい運動・スポーツが「特にない」人の割合は9.4%となっている。

性別にみると、「ウォーキング（散歩含む）」は男女ともに最も高く、女性では54.5%と50%を超えている。次いで、男性では「ゴルフ」、「ランニング・ジョギング」、「ジムトレーニング」の順となっており、女性では「体操（健康体操・美容体操など）」、「ヨガ、太極拳」、「ジムトレーニング」の順となっている。「ウォーキング（散歩含む）」を除けば、男女間で行いたいスポーツ種目で若干違いがみられる。一方、今後、行いたい運動・スポーツが「特にない」人の割合は、男性の方が女性よりも2.7ポイント高くなっている。

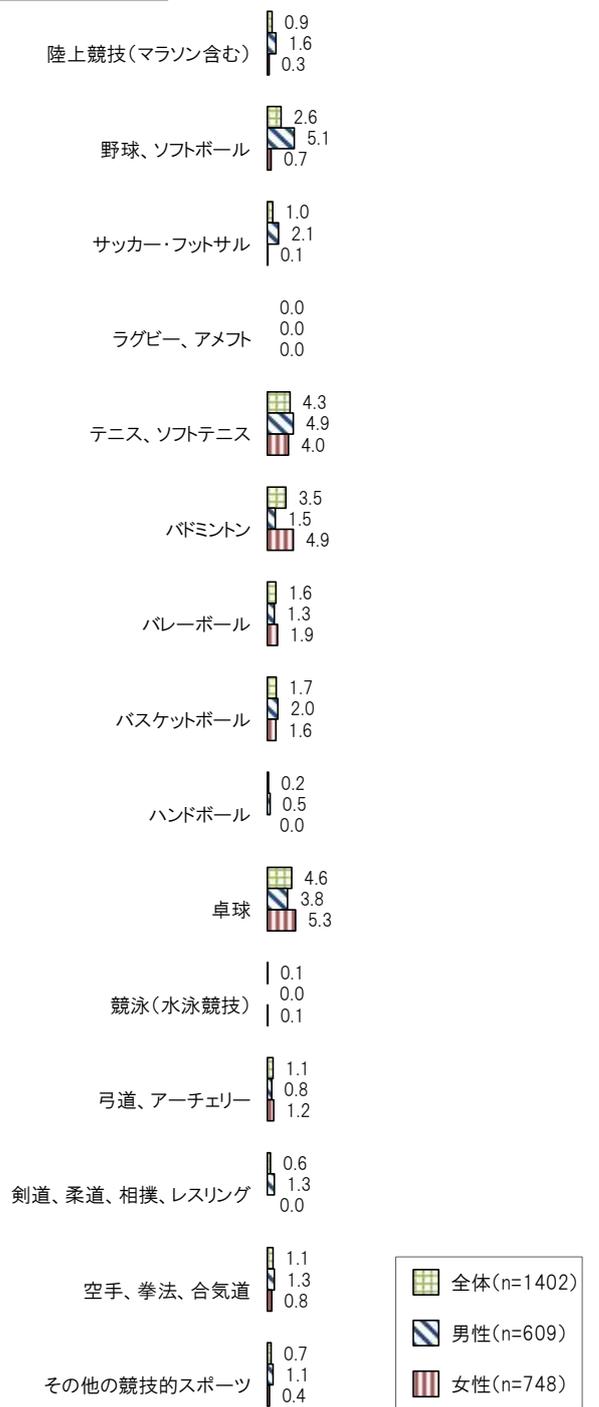
【主な「その他」の回答】

- トライアスロン
- ボルダリング

◆手軽にできる運動やスポーツ



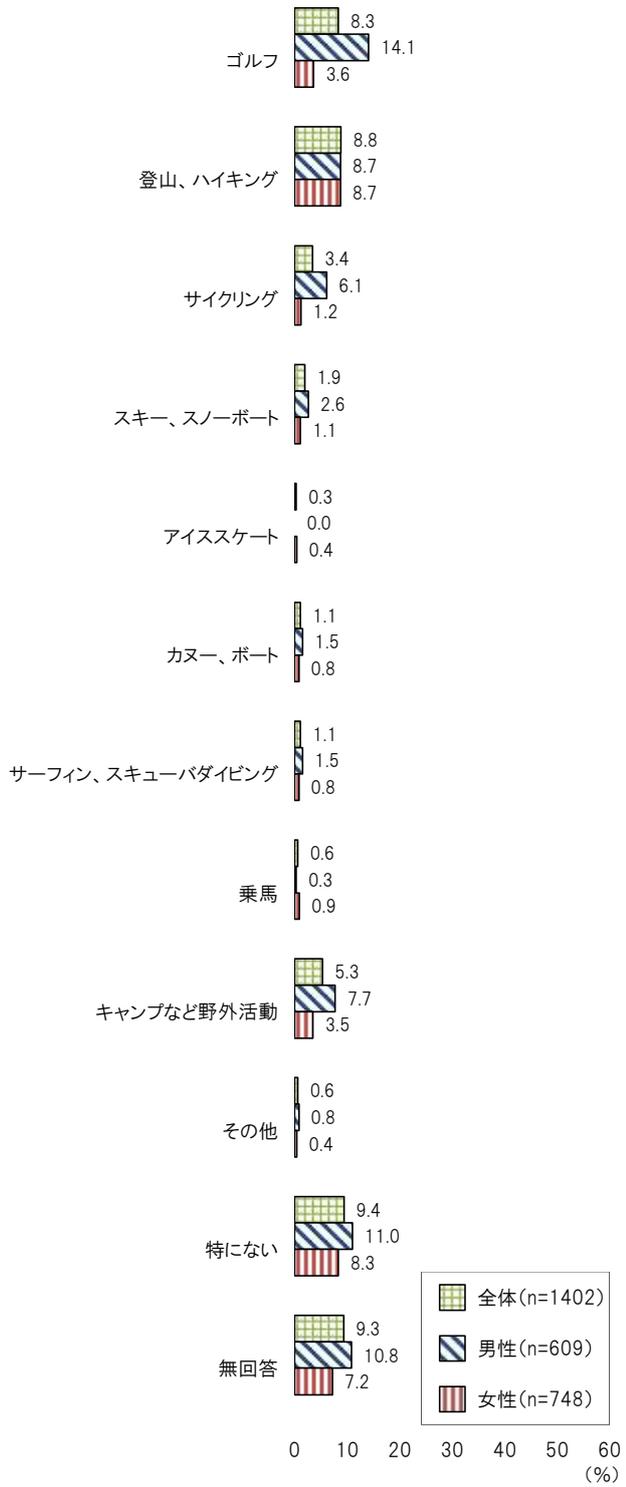
◆競技的スポーツ



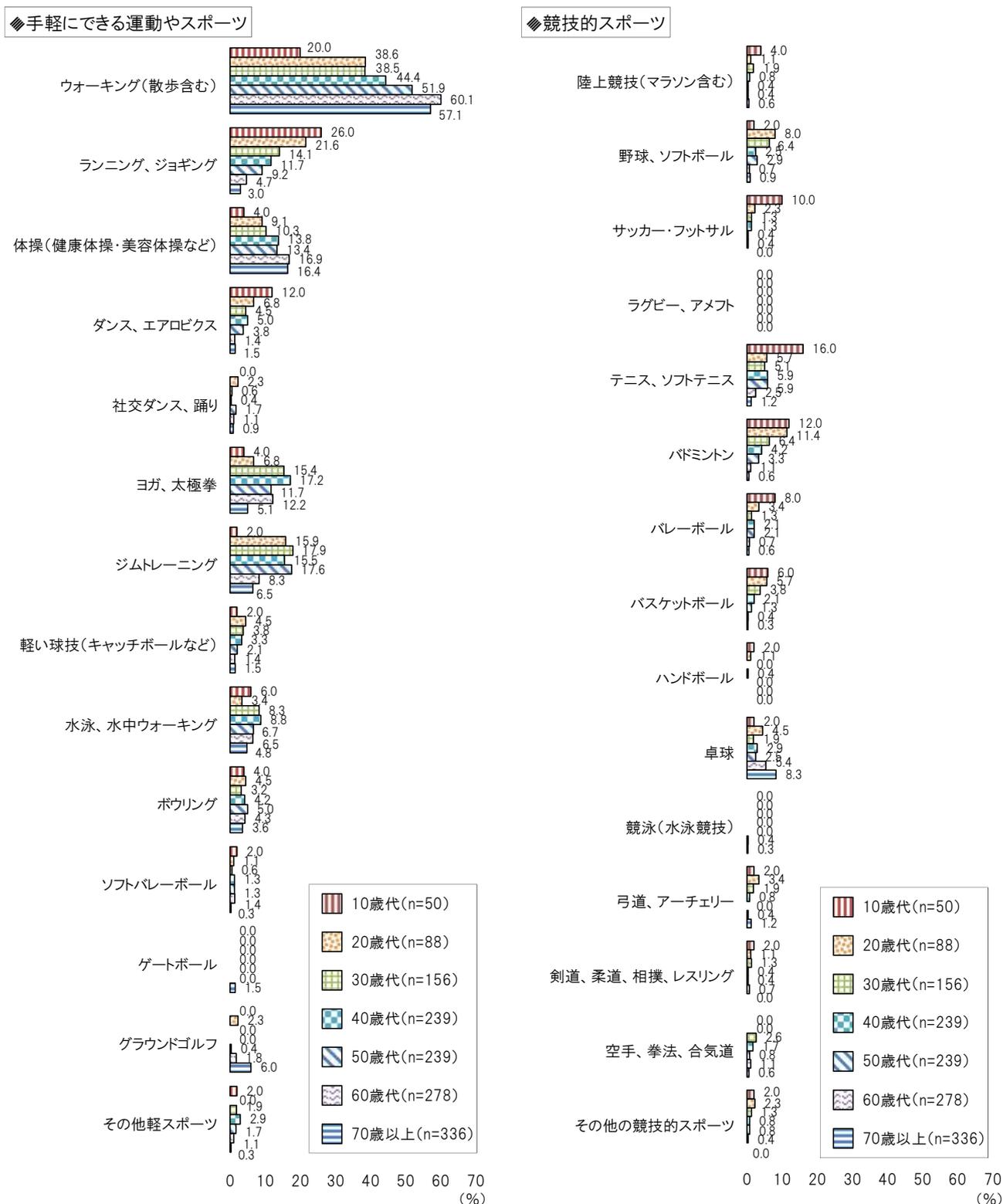
0 10 20 30 40 50 60 (%)

0 10 20 30 40 50 60 (%)

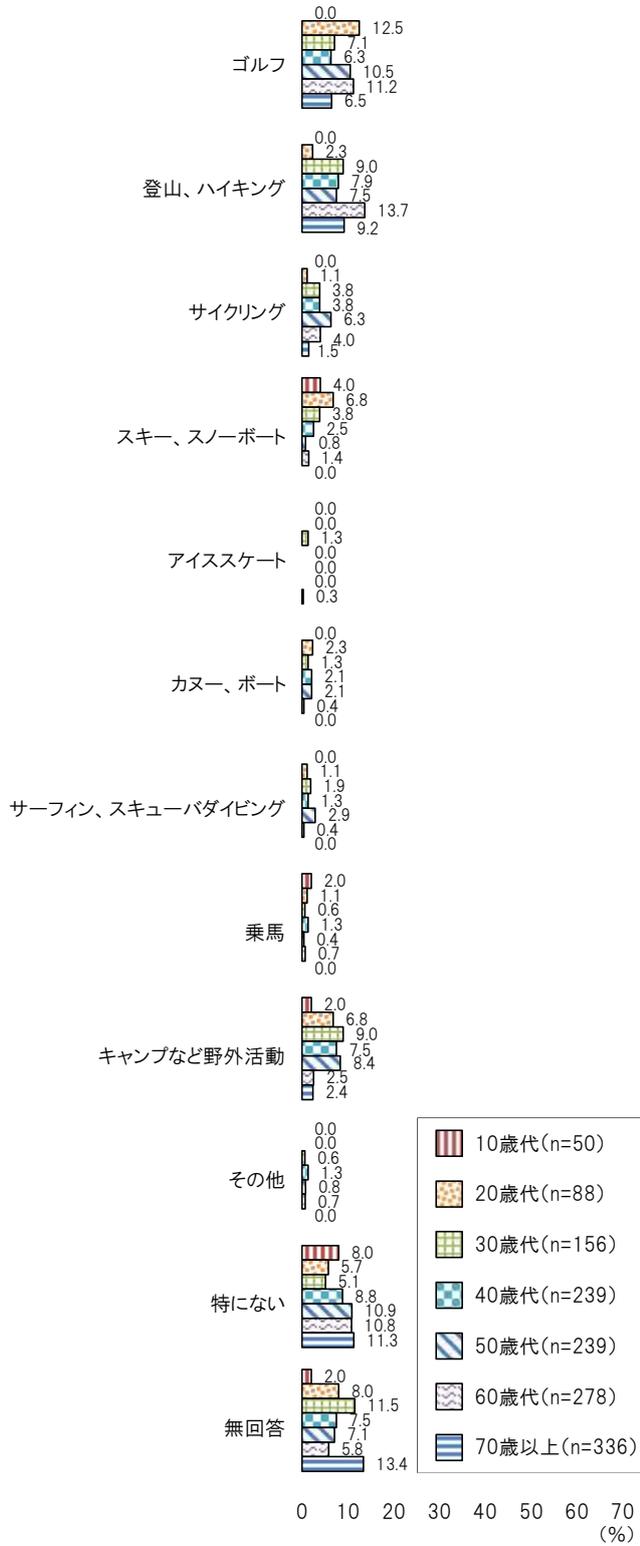
◆ 野外スポーツ



年代別にみると、10歳代では「ランニング、ジョギング」が最も高くなっているが、その他の年代ではいずれも「ウォーキング（散歩含む）」が最も高くなっている。次いで、10歳代では「ウォーキング（散歩含む）」が、20歳代では「ランニング・ジョギング」が、30歳代、50歳代では「ジムトレーニング」が、40歳代では「ヨガ、太極拳」が、60歳代以上では「体操（健康体操・美容体操など）」が続いている。一方、今後、行いたい運動・スポーツが「特にない」人の割合は、50歳代以上では約1割となっている。

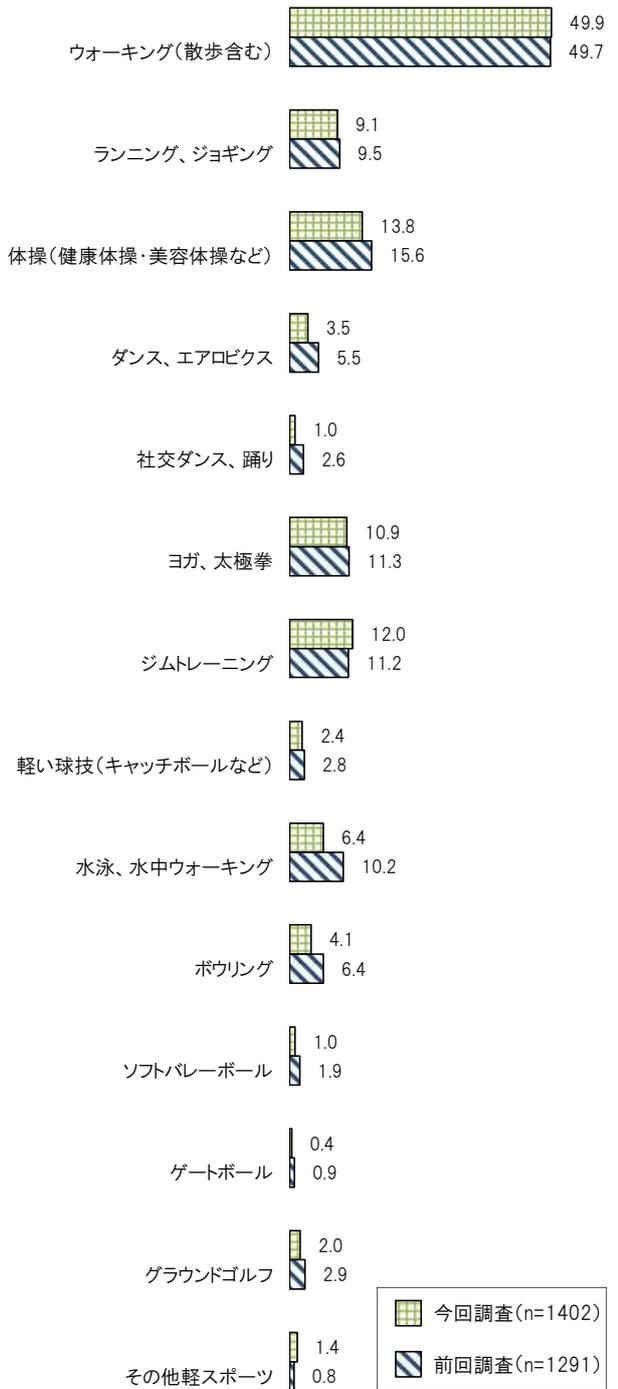


◆ 野外スポーツ

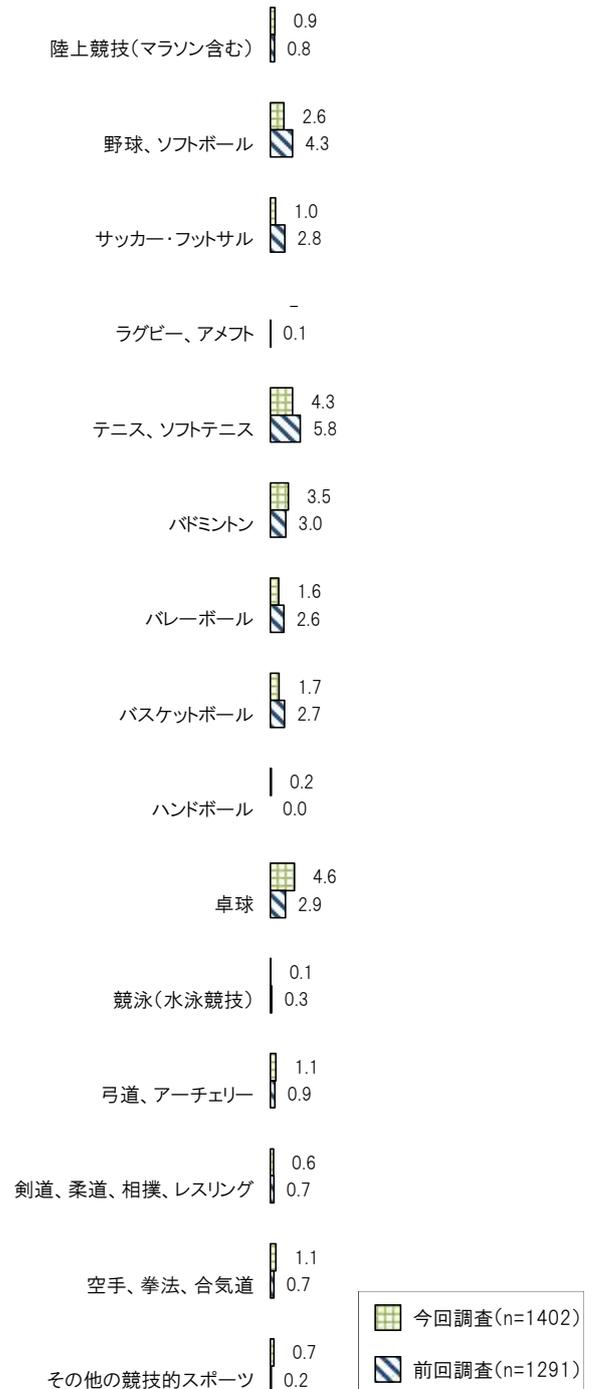


前回調査と比較すると、「キャンプなど野外活動」が2.5ポイント、「卓球」が1.7ポイントそれぞれ増加している。一方、今後、行いたい運動・スポーツが「特にない」人の割合は、2.5ポイント減少している。

◆手軽にできる運動やスポーツ



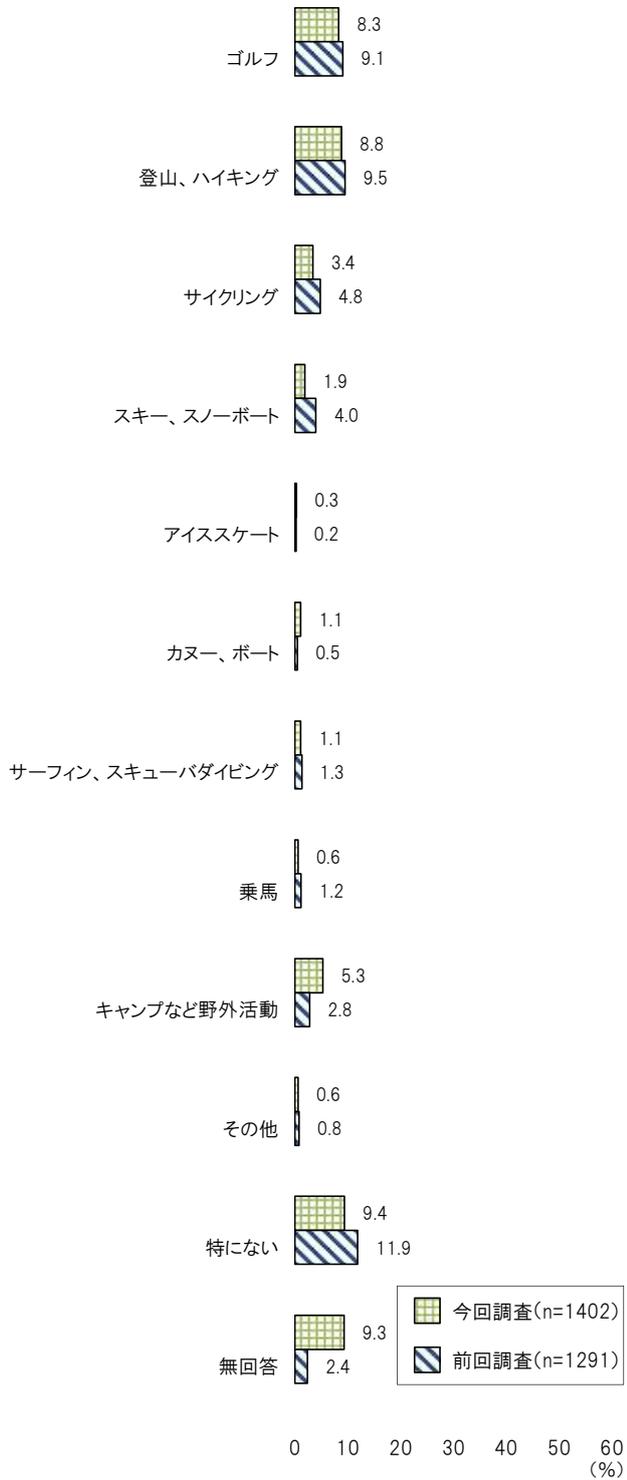
◆競技的スポーツ



0 10 20 30 40 50 60 (%)

0 10 20 30 40 50 60 (%)

◆ 野外スポーツ



問7で運動・スポーツを行いたいと回答した人にお聞きします。

問7-1. 今後、運動やスポーツを行う場合に、重要と考える点（目的）は何ですか。（〇は2つまで）

今後、運動やスポーツを行う場合に重視する点（目的）については、「健康・体力づくり」が66.0%で最も高く、次いで「運動不足解消」が34.7%、「楽しみ・気晴らし」が29.1%の順となっている。

性別にみると、男女ともに上位3位までの順位に変わりはない。次いで男性では「友人や仲間との交流」が続いているが、女性よりも11.3ポイント高くなっている。また、女性では「美容・ダイエット」が続いているが、男性よりも6.9ポイント高くなっている。

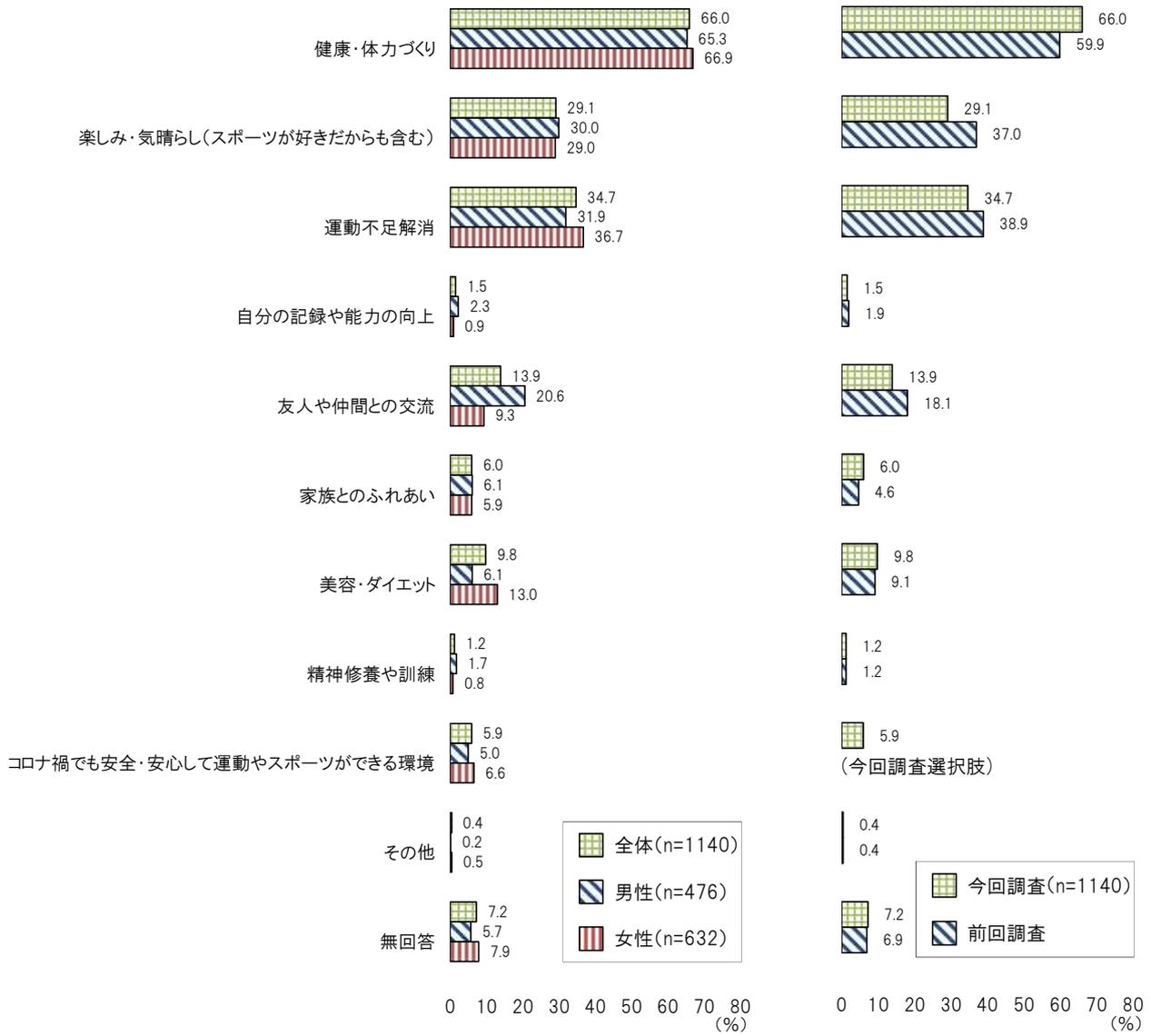
【参考】

前回調査と比較すると、「健康・体力づくり」が6.1ポイント増加する一方、「楽しみ・気晴らし」は7.9ポイント減少している。

【主な「その他」の回答】

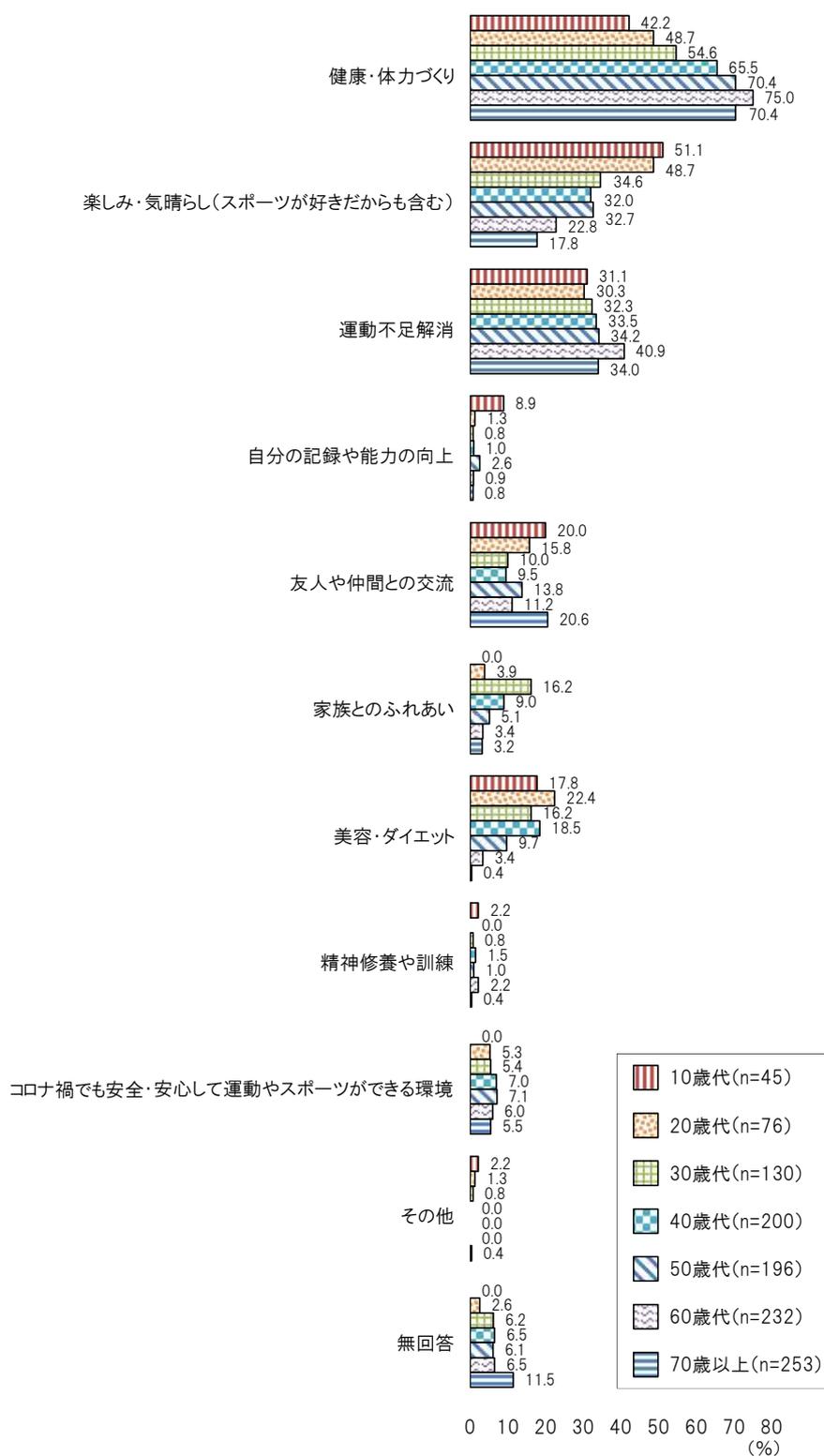
- 精神的修業

問7-1 今後、運動やスポーツを行う場合に重視する点(目的)



年代別にみると、30歳代以上では「健康・体力づくり」が最も高く、特に50歳代以上では70%を超えている。10歳代では「楽しみ・気晴らし」が、20歳代では「健康・体力づくり」と「楽しみ・気晴らし」が同率で最も高くなっている。

問7-1 今後、運動やスポーツを行う場合に重視する点(目的)



3. 公共スポーツ施設について

3-1 公共スポーツ施設の利用状況【問8】

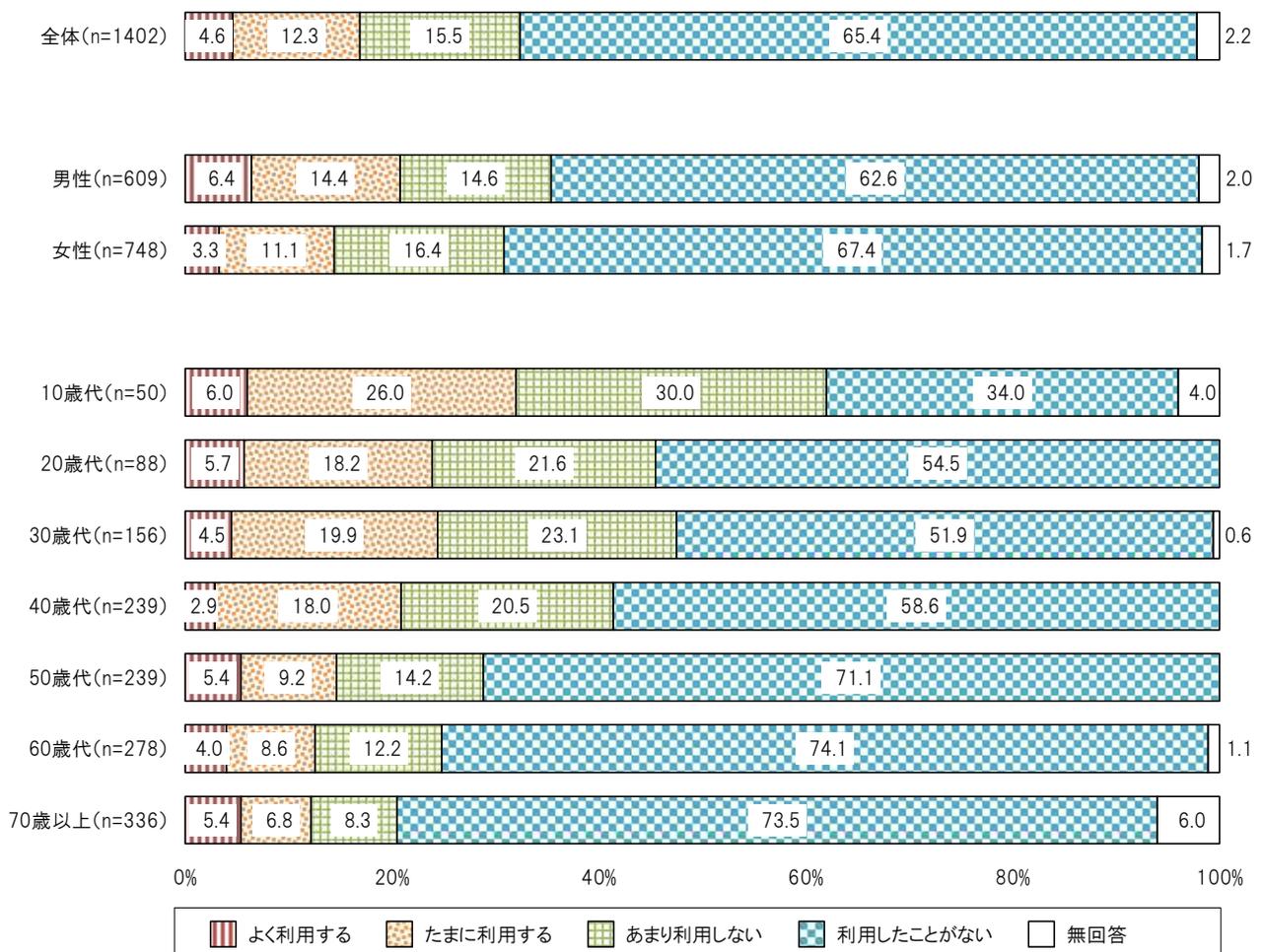
問8. 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（○は1つ）

最近の公共スポーツ施設（松阪市）の利用状況については、「利用したことがない」が65.4%で最も高く、次いで「あまり利用しない」が15.5%と、合わせて約8割の人が『利用していない』と答えている。反対に、「たまに利用する」は12.3%、「よく利用する」は4.6%と、合わせて『利用している』人の割合は1割弱となっている。

性別にみると、『利用している』人の割合は男性20.8%、女性14.4%と、男性の方が6.4ポイント高くなっている。

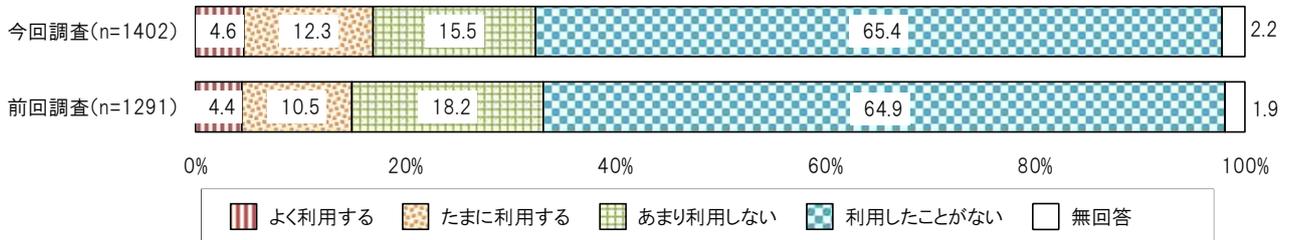
年代別にみると、学生が含まれる10歳代で『利用している』人の割合が32.0%で最も高く、次いで30歳代となっている。反対に、70歳以上では『利用している』人の割合が最も低く、次いで60歳代、50歳代となっており、50歳代以上で低い結果となっている。

問8 公共スポーツ施設の利用状況



前回調査と比較すると、『利用している』人の割合は、前回調査が 14.9%であったのに対し、今回調査では 16.9%と、2ポイント増加している。

問8 公共スポーツ施設の利用状況



3-2 公共スポーツ施設に対する満足度【問9】

問9. 松阪市の公共スポーツ施設についてどのように思いますか。（それぞれに○は1つずつ）

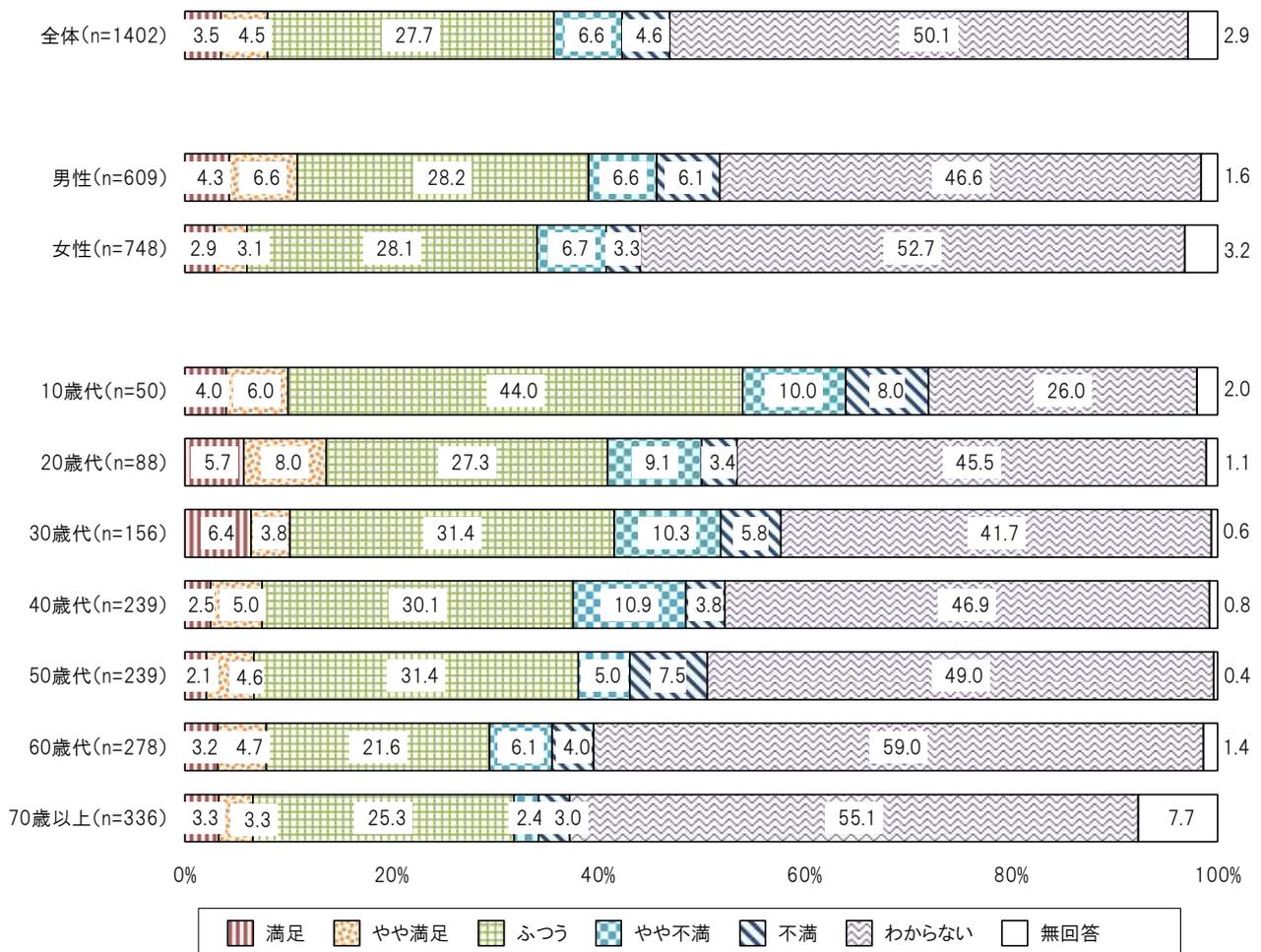
(1) 公共スポーツ施設・設備の内容（質）

松阪市の公共スポーツ施設の施設・設備の内容について満足度を訊いたところ、「ふつう」が3割弱、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』が約1割、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足である』が1割を下回り、半数の人が「わからない」と答えている。

性別にみると、『満足である』は男性の方が女性より3.1ポイント高くなっている。

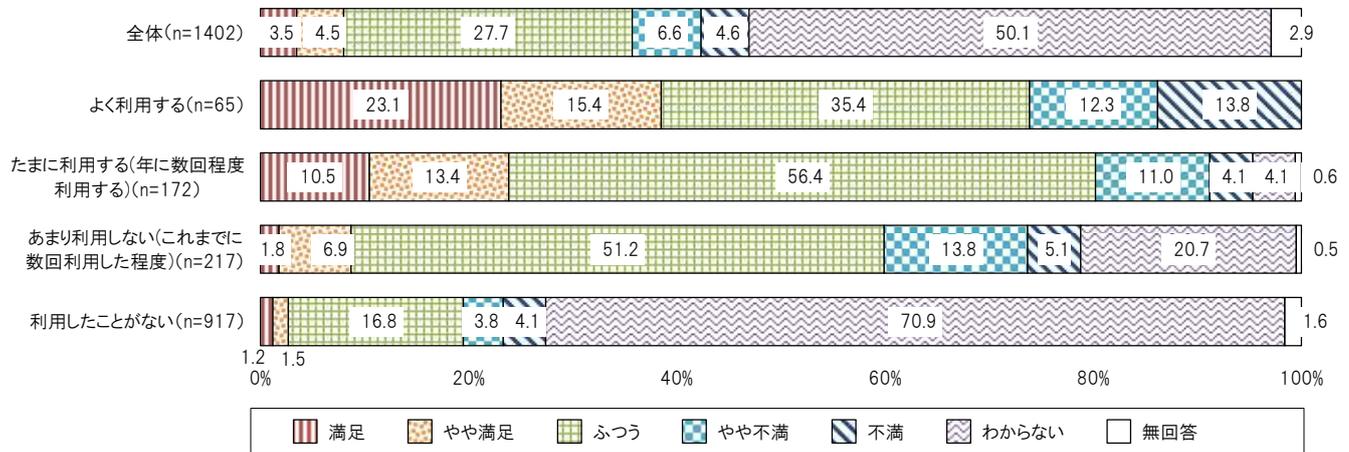
年代別にみると、『満足である』は20歳代で13.7%と最も高くなっている。反対に、『不満である』は10歳代で18.0%と最も高くなっている。

問9(1) 公共スポーツ施設・設備の内容(質)に対する満足度



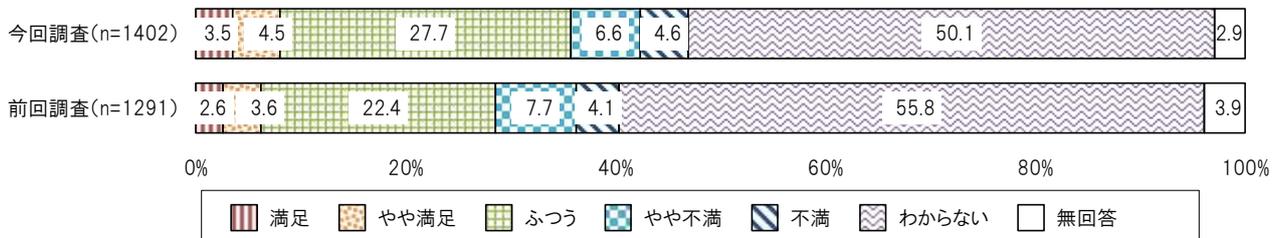
「問8 公共スポーツ施設の利用状況」でみると、利用頻度が上がるほど施設・設備の内容の満足度が上がる傾向がみられる。

問9(1) 公共スポーツ施設・設備の内容(質)に対する満足度



前回調査と比較すると、『満足である』は前回調査が6.2%であったのに対し、今回調査では8.0%と、1.8ポイント増加している。

問9(1) 公共スポーツ施設・設備の内容(質)に対する満足度



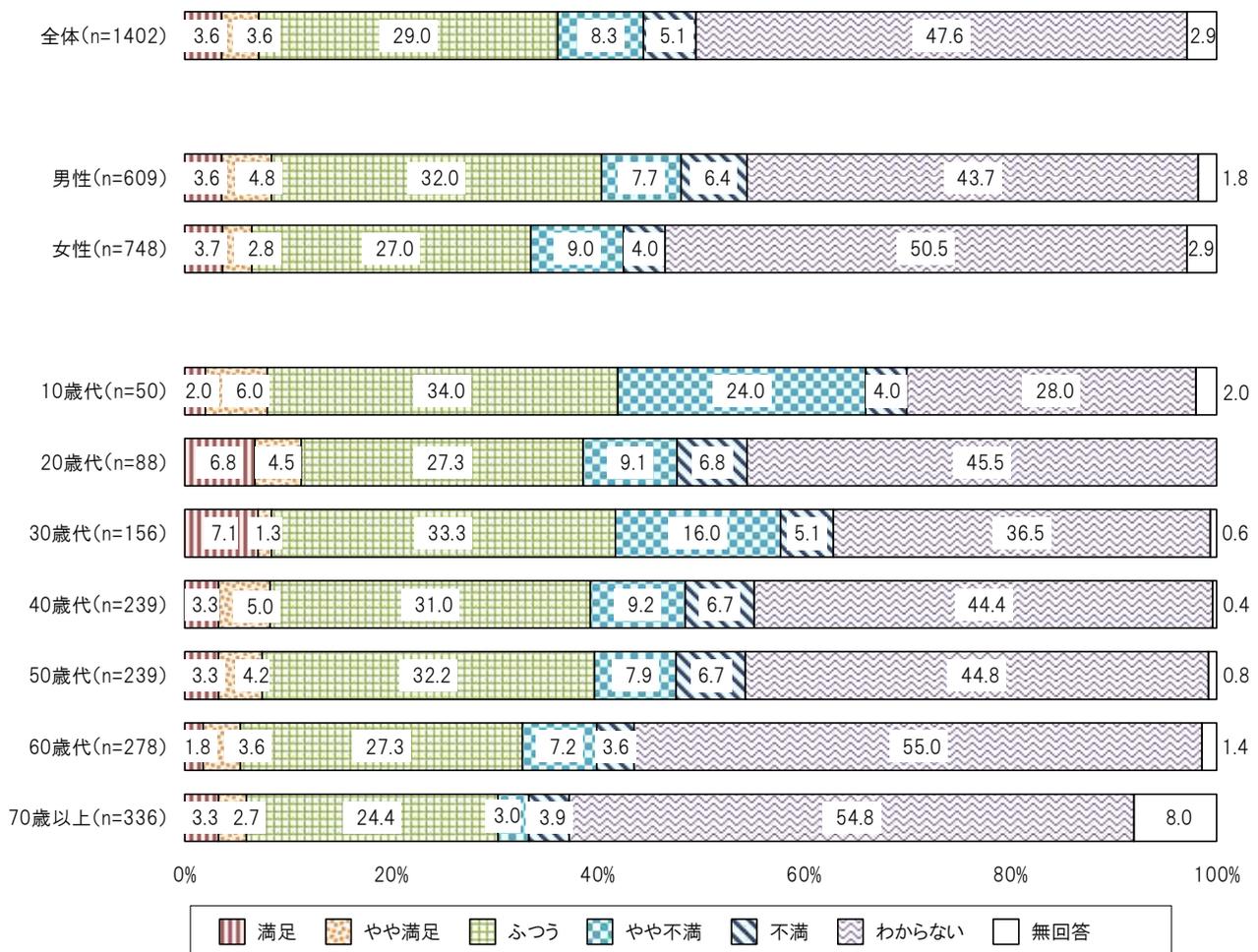
(2) 公共スポーツ施設の数

松阪市の公共スポーツ施設の施設について満足度を訊いたところ、「ふつう」が約3割、『不満である』が1割強、『満足である』が1割を下回り、5割弱の人が「わからない」と答えている。

性別にみると、『満足である』は男性の方が女性より1.9ポイント高くなっている。

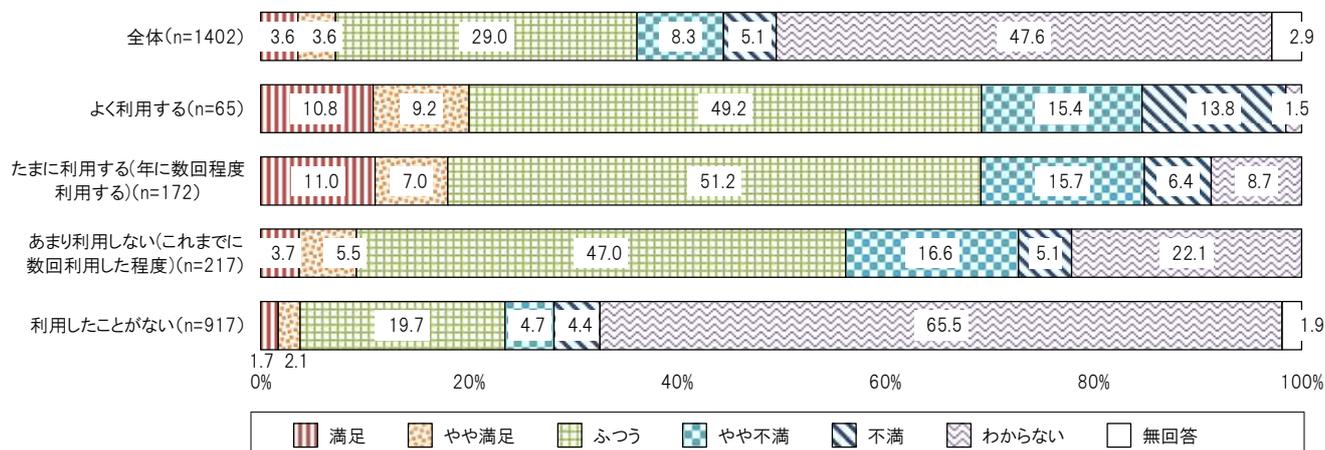
年代別にみると、『満足である』は20歳代で11.3%と最も高くなっている。反対に、『不満である』は10歳代で28.0%と最も高くなっている。

問9(2) 公共スポーツ施設の数に対する満足度



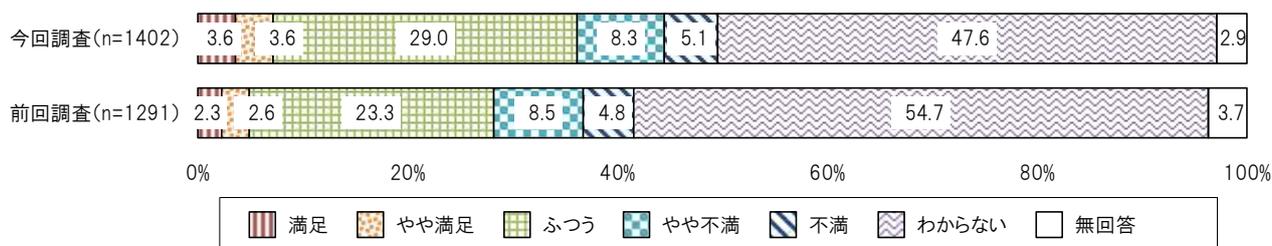
「問8 公共スポーツ施設の利用状況」でみると、施設・設備の数については、施設を利用したことがない人は回答した人の約6割が「わからない」と回答し、利用したことがある人については、利用頻度に関係なく回答した人の半数が「ふつう」と回答している。

問9(2) 公共スポーツ施設・設備の数に対する満足度



前回調査と比較すると、『満足である』は前回調査が4.9%であったのに対し、今回調査では7.2%と、2.3ポイント増加している。

問9(2) 公共スポーツ施設の数に対する満足度



3-3 市営プールについて【問 10～問 12】

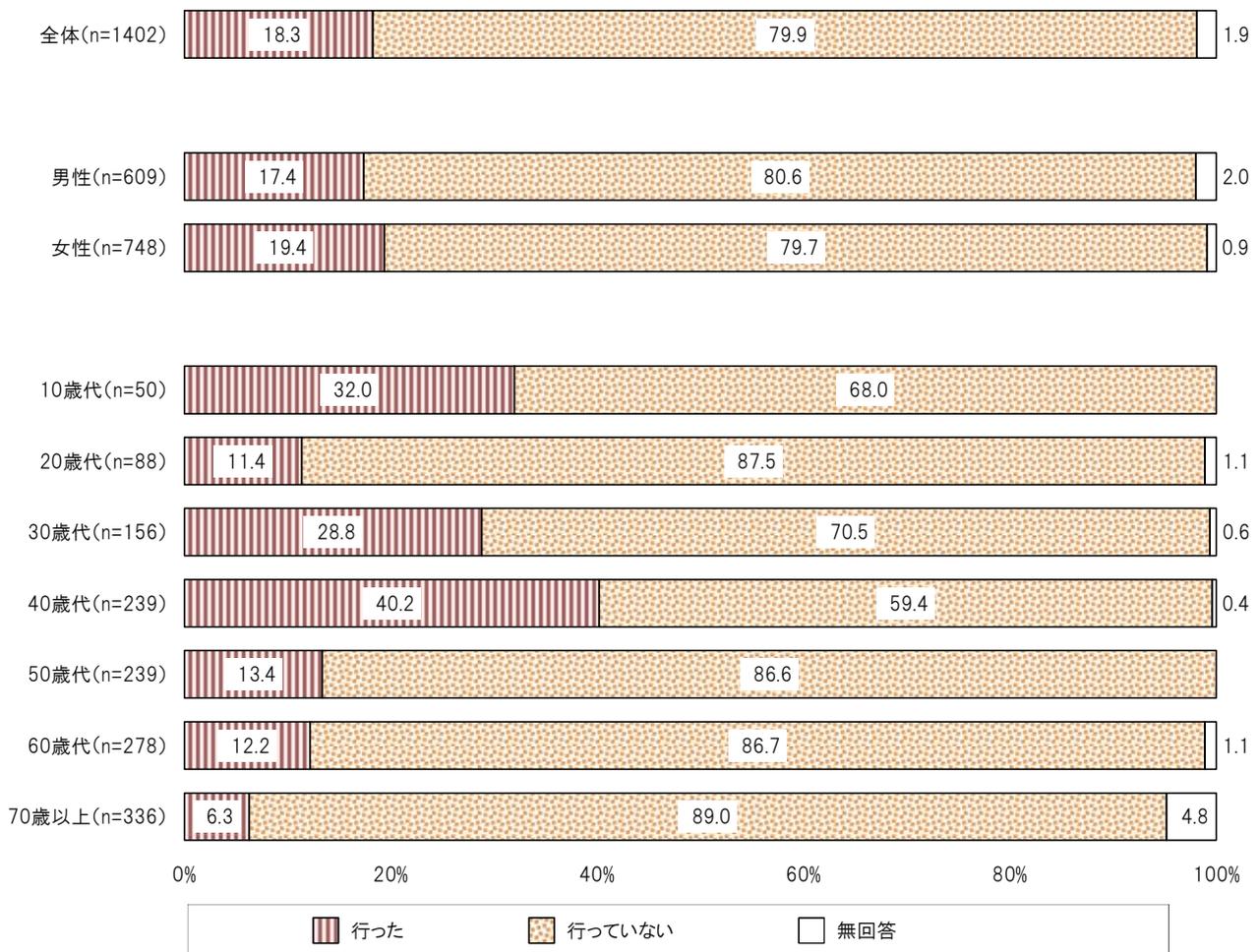
問 10. あなた（またはあなたの家族）は、過去5年間でプール（民営プールも含む）に行きましたか。（○は1つ）

過去5年間のプールの利用状況を訊いたところ、約8割の人が「行っていない」と答えており、「行った」と答えた人は約2割となっている。

性別にみると、「行った」と答えた人は女性の方が2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「行った」と答えた人は40歳代で40.2%と最も高く、次いで10歳代、30歳代の順となっている。

問10 過去5年間のプールの利用状況



【「行った」回数】

回数	1回	2回	3回	4～5回	6～10回	11～20回	21～50回	50回以上	その他
回答数	26	35	26	35	21	8	5	1	18

問10でプールに「1. 行った」と回答した人にお聞きします。

問 10-1. プールに行く目的は何ですか。(〇は1つ)

プールに行った人に対し、プールに行く目的を訊いたところ、「家族や友人と水遊びをするため」と答えた人が74.6%と7割強を占めている。次いで「健康づくりや体力維持のため」が9.8%、「水泳技術の向上のため」が6.6%、「暑い日に涼みにいくため」が4.7%の順となっている。

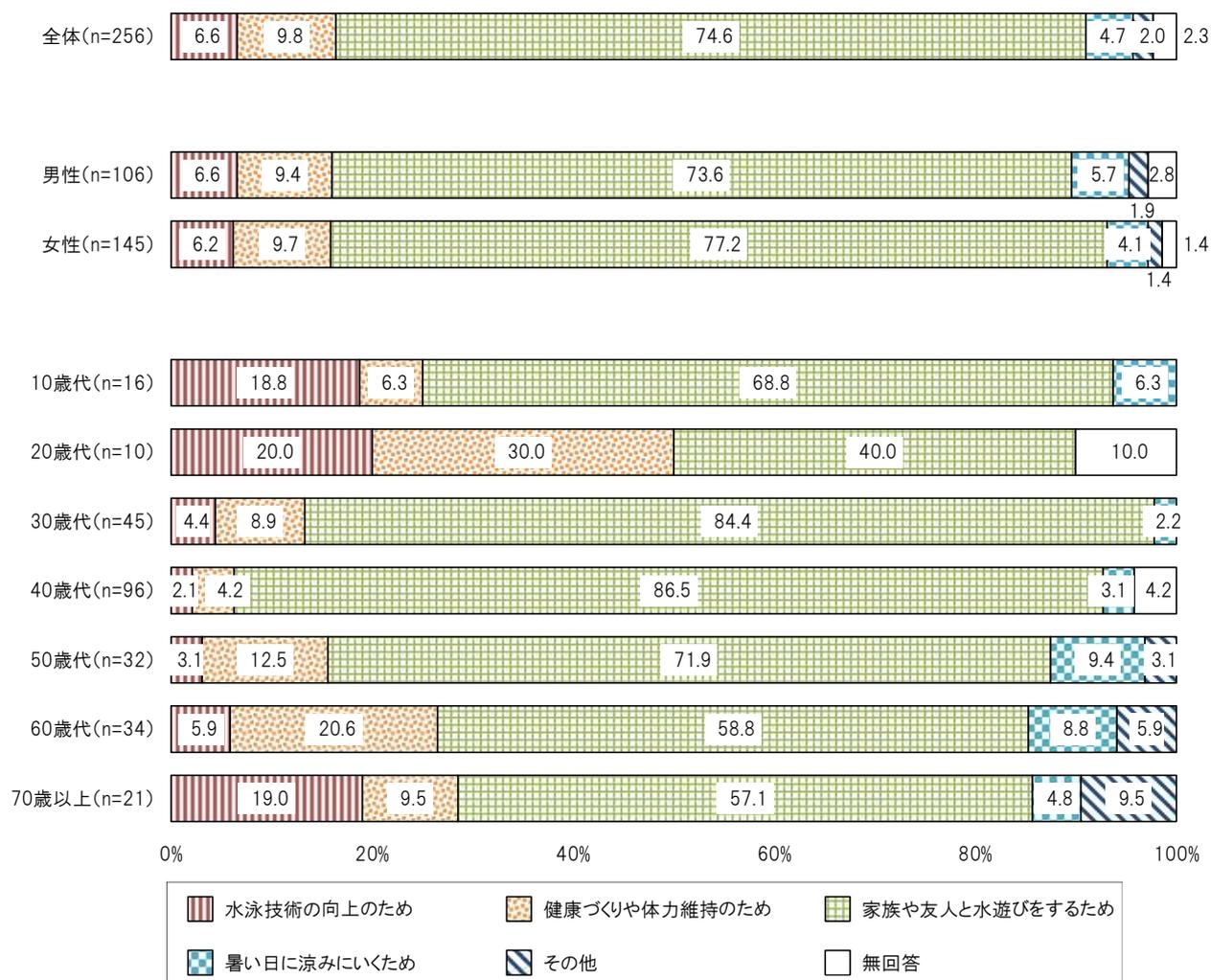
性別にみると、「家族や友人と水遊びをするため」と答えた人は女性の方が男性より3.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、30歳代、40歳代では「家族や友人と水遊びをするため」と答えた人が8割を超えて高くなっている。20歳代では「健康づくりや体力維持のため」と答えた人が3割と他の年代に比べて特に高くなっている。また、10歳代、20歳代、70歳以上では「水泳技術の向上のため」と答えた人が約2割を占めている。

【主な「その他」の回答】

- 孫と遊ぶ為

問10-1 プールに行く目的



問 10-2. よく利用するプールはどこですか。（〇は1つ）

よく利用するプールについては、「松阪市流水プール」が32.4%で最も高く、次いで「松阪公園プール」が23.8%、「市外の市営プール」が13.3%、「市内のスポーツクラブ、スイミングスクール等の民営プール」が10.2%、「飯高B&G海洋センタープール」が6.3%の順となっている。また、松阪市の市営プールを利用している人は合わせて6割強を占めている。

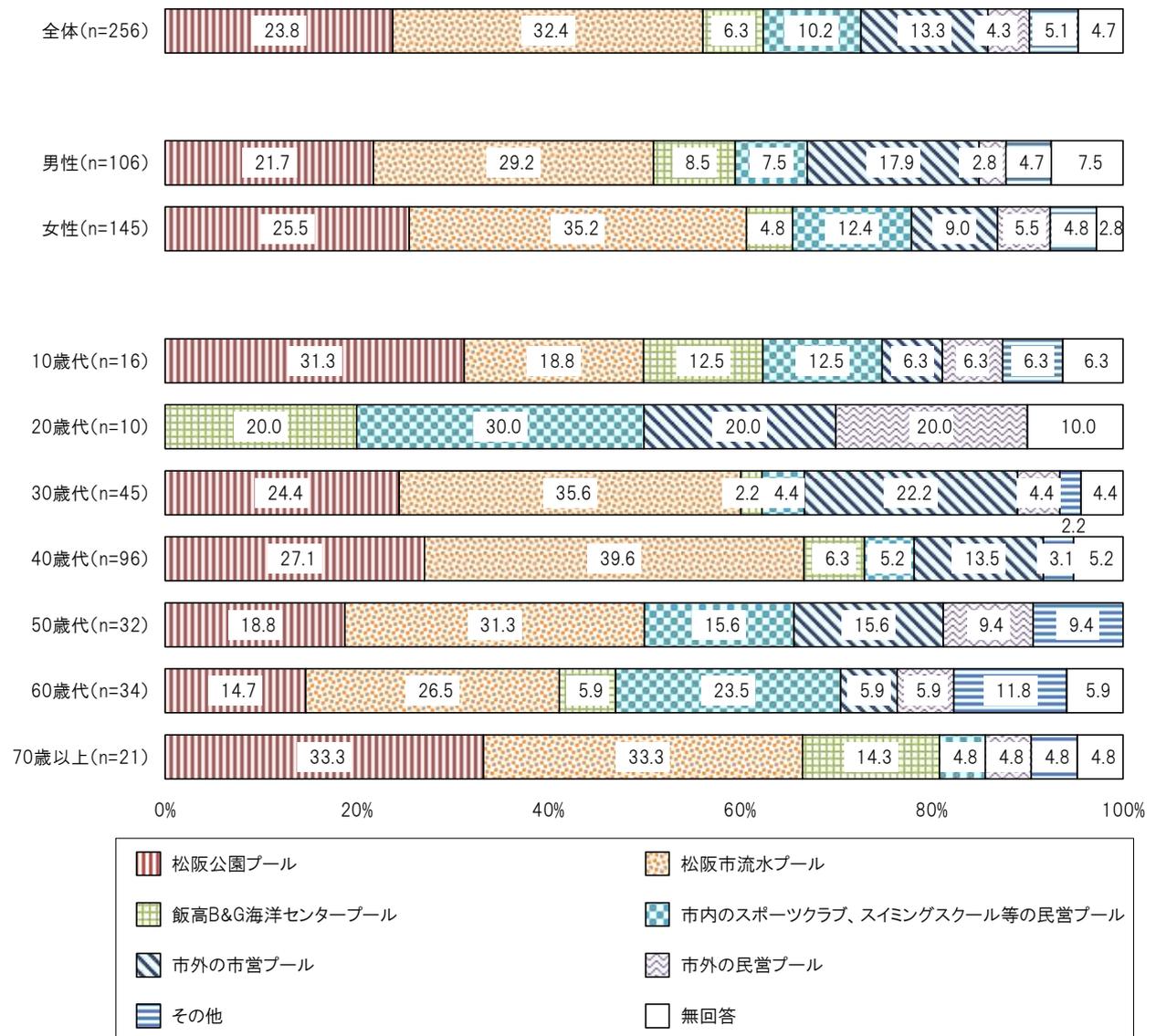
性別にみると、男女とも上位2位までの順位に変わりはないが、男性では「市外の市営プール」が、女性では「市内のスポーツクラブ、スイミングスクール等の民営プール」が続いている。また、松阪市の市営プールを利用している人は女性の方が6.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「松阪公園プール」が、20歳代では「市内のスポーツクラブ、スイミングスクール等の民営プール」が、30歳代から60歳代では「松阪市流水プール」がそれぞれ最も高くなっている。70歳以上では「松阪公園プール」と「松阪市流水プール」が同率で高くなっている。また、松阪市の市営プールを利用している年代は70歳以上では8割を超え、40歳代でも7割強と他の年代に比べて高くなっている。

【主な「その他」の回答】

- サオリーナ
- ナガシマスパーランド

問10-2 よく利用するプール



問10-2で松阪市の市営プールに行くとは回答した人にお聞きします。

問 10-3. 松阪市の市営プールに行く理由を教えてください。（〇はいくつでも）

松阪市の市営プールに行く理由について訊いたところ、「家から近いから」が58.8%で最も高く、次いで「使用料金が安いから」が48.1%、「親子で遊べるから」が44.4%、「昔からよく行くから」が17.5%の順となっている。

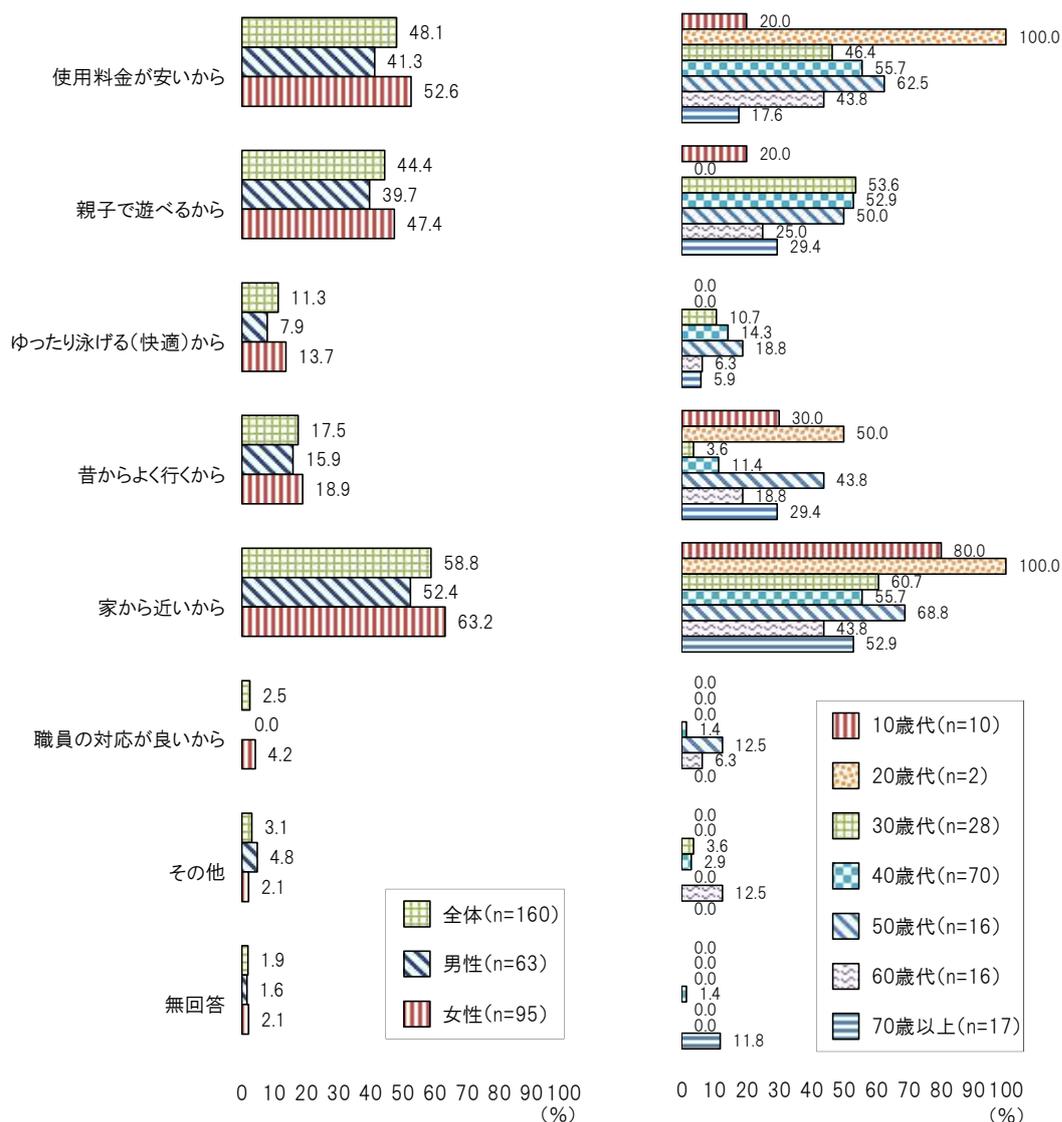
性別にみると、おおむね女性の方が男性よりも各項目で高くなっている。特に「使用料金が安いから」は女性の方が男性よりも11.3ポイント、「家から近いから」は10.8ポイント高くなっており、男女間で差がみられる。

年代別にみると、いずれの年代でも「家から近いから」が最も高くなっているが、20歳代、40歳代、60歳代では「使用料金が安いから」も同率で高くなっている。

【主な「その他」の回答】

- すべり台があるから

問10-3 市営プールに行く理由



問10-2でプールには行くが松阪市の市営プールには行かないと回答した人にお聞きします。

問 10-4. 松阪市の市営プールに行かない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

プールには行くが松阪市の市営プールには行かないと回答した人に松阪市の市営プールに行かない理由を訊いたところ、「その他」が32.1%で最も高く、次いで「施設や設備が古いから」が29.8%、「一年中利用できないから」が28.6%、「家から遠いから」が23.8%の順となっている。

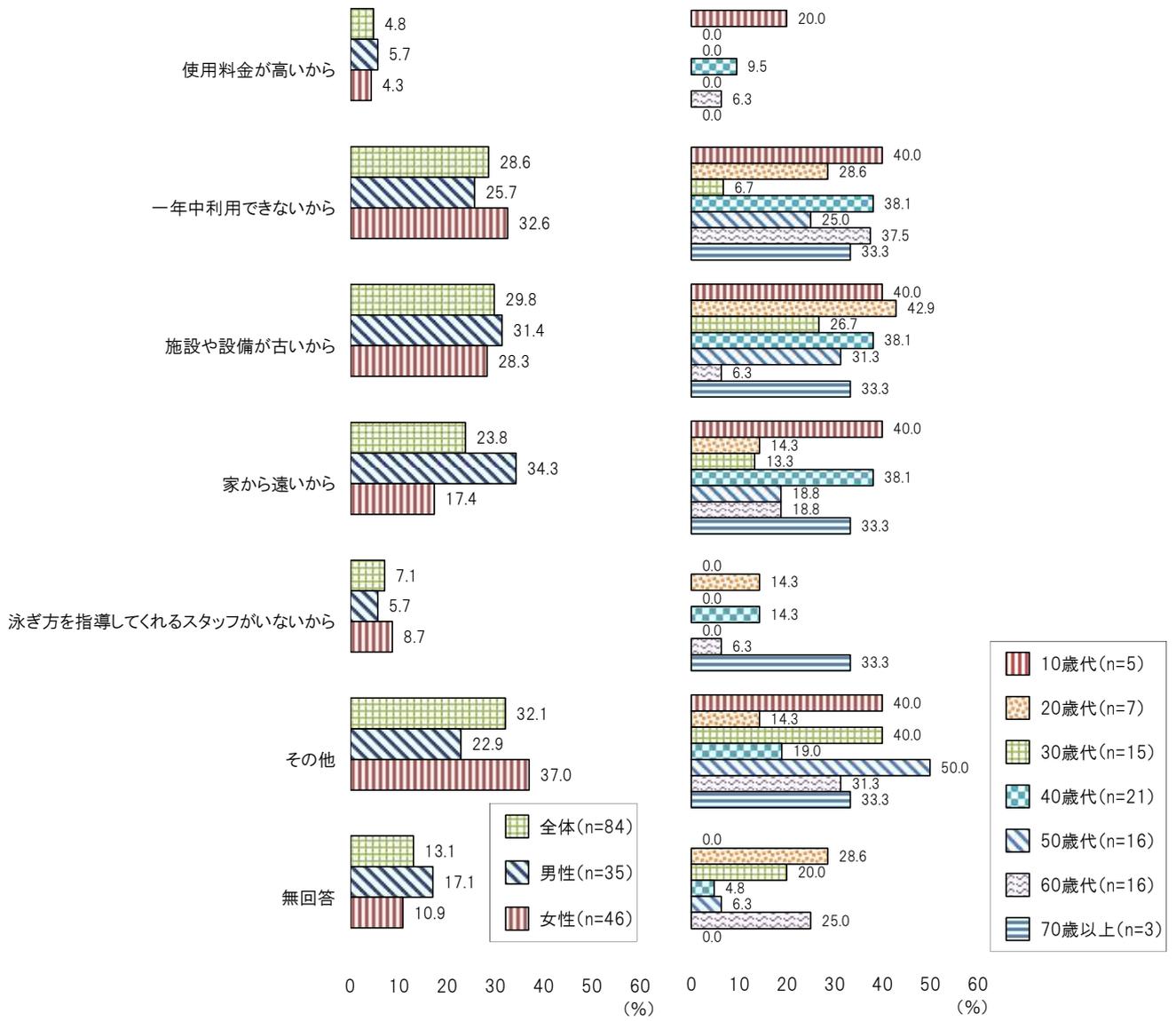
性別にみると、男性では「家から遠いから」が34.3%で最も高く、女性より16.9ポイント高くなっている。女性では「その他」が37.0%で最も高く、男性より14.1ポイント高くなっており、男女間で差がみられる。

年代別にみると、20歳代では「施設や設備が古いから」が、60歳代では「一年中利用できないから」が、30歳代と50歳代では「その他」がそれぞれ最も高くなっているが、10歳代、40歳代、70歳以上では回答が分散している。

【主な「その他」の回答】

- 屋外で暑いから
- 他のプールが遊ぶ遊具が多くあるから
- 松阪市内にプールがあることを知らなかった

問10-4 市営プールに行かない理由



問 11. 市営プールについて、あなたはどのようにお考えですか。（〇は1つ）

市営プールのあり方について訊いたところ、「市営プールを更新（建て替え）する際には、より多くの市民が楽しめる施設のあり方を検討し集約すべき」と答えた人が 66.3%と 7割弱を占めている。「市営プールを更新（建て替え）する際には、利用者のニーズに応え、集約せずに積極的に更新（建て替え）すべき」は 14.6%、「市営プールは必要ない」は 6.6%、「市営プールを更新（建て替え）する際には、水泳技術の向上に重点をおいた施設のあり方を検討し集約すべき」は 3.1%となっている。

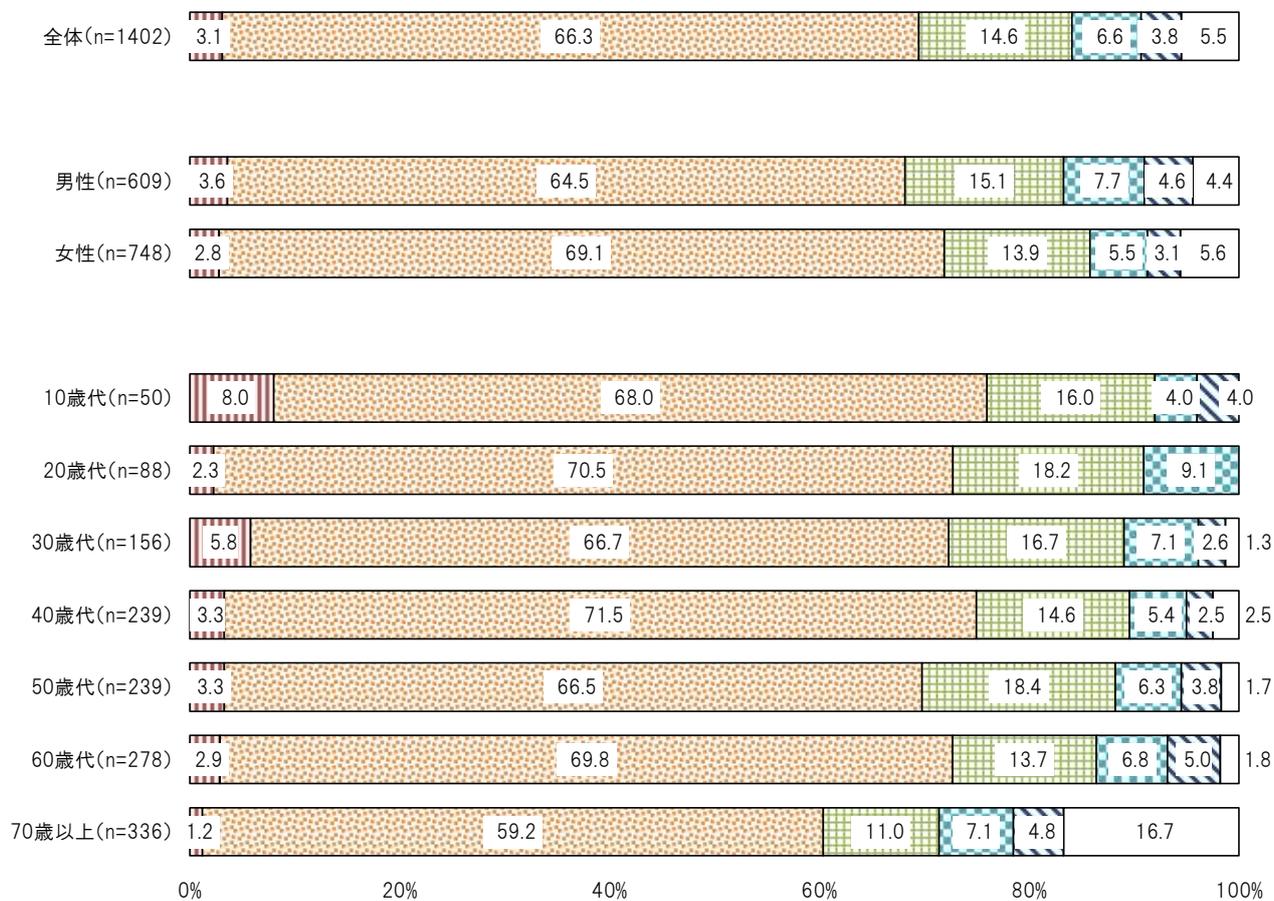
性別にみると、「市営プールを更新（建て替え）する際には、より多くの市民が楽しめる施設のあり方を検討し集約すべき」と答えた人は女性の方が 4.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「市営プールを更新（建て替え）する際には、より多くの市民が楽しめる施設のあり方を検討し集約すべき」と答えた年代は 20 歳代と 40 歳代では 7割を超えて高くなっている。

【主な「その他」の回答】

- 年間を通し利用する為、温水プール化を望みます。
- 安く安全に利用できるようにすべき
- 松阪市の負担額が大きいので利益まではいかなくても負担額が無いように努力するべきです。
- 度会の宮リバーのようなものが良い

問11 市営プールのあり方



- 市営プールを更新(建て替え)する際には、水泳技術の向上に重点をおいた施設のあり方を検討し集約すべき
- 市営プールを更新(建て替え)する際には、より多くの市民が楽しめる施設のあり方を検討し集約すべき
- 市営プールを更新(建て替え)する際には、利用者のニーズに応え、集約せずに積極的に更新(建て替え)すべき
- 市営プールは必要ない
- その他
- 無回答

問 12. 松阪市の市営プールについて、ご意見等がありましたらお書きください。

【主な意見】

- 外ではなく室内プールで1年中できるようにしてほしいです。
- プールは性質上、夏の間しか利用できず、利用料収入もあまり期待できないので、今あるプールを集約し、松阪市の中心となるプール施設を1つ作る（あるいは更新）のが良いのではと思いました。
- 一カ所に集約してより多くの住民が利用できるようにすべき。
- 幼い頃は流水プールによく行っていました、家族連れ（小学生以下の子ども）が多く、中学生以上になってからは行かなくなりました。
更新する際には、中学生以上でも楽しめるプールになればと思います。
- 大人でも子どもでも楽しめて（プールの深さ広さなど）安価だと行きたくなる。清潔感も大切。
- 市営プールは私が小学生頃の記憶で止まっていますが、その頃からきれいな設備が整ったところだというには思ったことがありません。新しく建て替えて、大人も子どもも楽しめるプールにしてほしいです。
もう少し子どもが大きくなったら市営プール利用したいと思っているのでよろしくお願いします。
- 人口減少を考えると、レジャーとしてのプールの建設をお願いしたい。人が集まる（行きたいと思える）市営プールを作っていただきたい。
- 松阪公園プールを更新せずに駐車場にするなら、色々な楽しめる施設を作り、集約し、利用者が増える様にした方がいい。
- 市の負担が重いようですので、良い施設を作っていただいた上で使用料金の値上げをなさるとよいかと思えます。
- 市民の方が楽しめるプールにした方がいい。
水中ウォーキングや体づくりができるようにするとか。
- 今の、夏季だけ利用を止める。桂瀬クリーンセンターの焼却炉の熱を利用できる室内の温水プールの施設を新築してはどうでしょうか？
現在3ヶ所のプールは廃止し、桂瀬へ集約する。広告料（名義使用料?）、見込めると思えます。
- 収支のバランスが悪すぎる。
松阪公園プールが実質廃止となる。他のプールは使用料を上げるか、民間委託するのも良いのでは。
- 更新しても、利用者の増加は期待できず、管理費の増加が目に見えている。他の施設（利用者の多い）の充実を図る方がいい。
- 利用対象者の年齢層はどうかという事も、私設のプール（運動も）が利用できる時代なので、併せて検討してもらいたいと思います。

3-4 テニスコートについて【問 13～問 15】

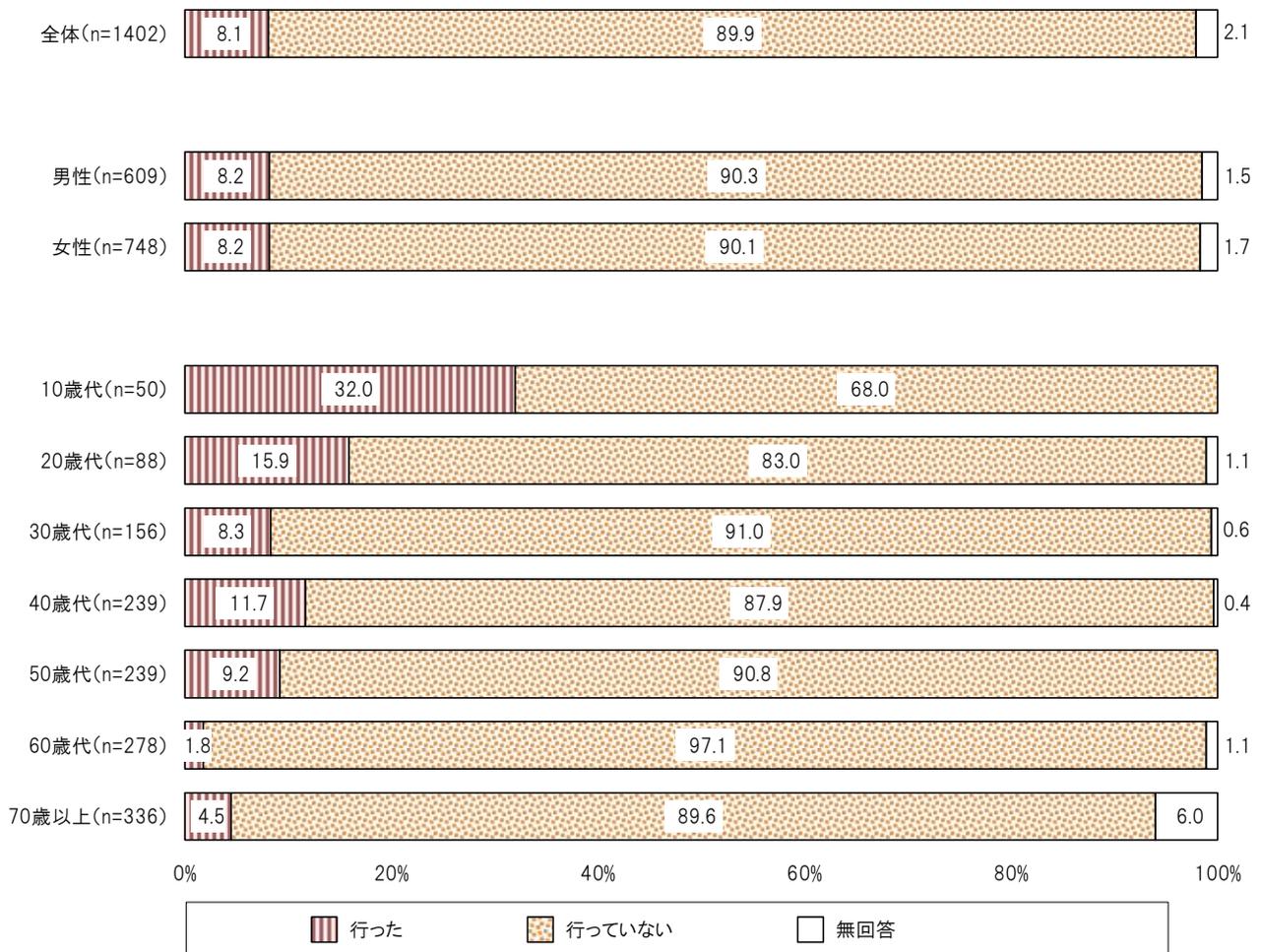
問 13. あなた（またはあなたの家族）は、過去5年間でテニスコート（民営テニスコートも含む）に行きましたか。（〇は1つ）

過去5年間のテニスコートの利用状況を訊いたところ、約9割の人が「行っていない」と答えており、「行った」と答えた人は1割弱となっている。

性別にみると、男女間で差はほとんどみられない。

年代別にみると、「行った」と答えた人は10歳代で32.0%と最も高く、次いで20歳代、40歳代の順となっている。

問13 過去5年間のテニスコートの利用状況



【「行った」回数】

回数	1回	2回	3回	4～5回	6～10回	11～20回	21～50回	50回以上	その他
回答数	14	10	9	5	8	3	2	6	3

問13でテニスコートに「1. 行った」と回答した人にお聞きします。

問 13-1. テニスコートに行く目的は何ですか。（〇は1つ）

テニスコートに行った人に対し、テニスコートに行く目的を訊いたところ、「家族や友人と交流をはかるため」と答えた人が58.4%と約6割を占めている。次いで「テニス技術の向上のため」と「健康づくりや体力維持のため」が15.0%、「その他」が8.0%の順となっている。

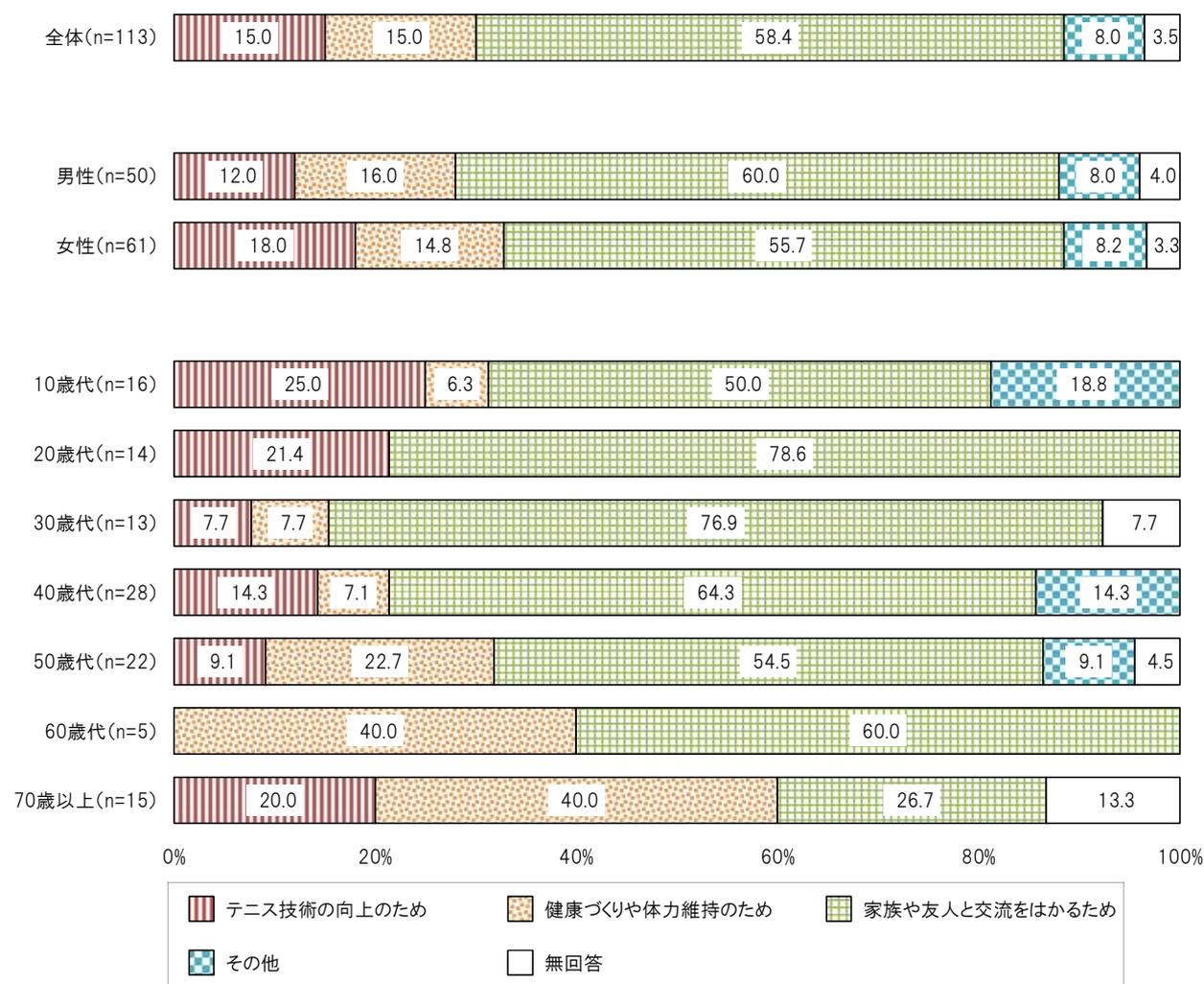
性別にみると、「テニス技術の向上のため」と答えた人は女性の方が男性より6ポイント高くなっている。また、「家族や友人と交流をはかるため」と答えた人は男性の方が女性より4.3ポイント高くなっており、男女間で若干違いがみられる。

年代別にみると、70歳以上では「健康づくりや体力維持のため」が最も高くなっている。その他の年代では「家族や友人と交流をはかるため」が最も高く、特に20歳代と30歳代では8割弱を占めている。

【主な「その他」の回答】

- 部活
- クラブ

問13-1 テニスコートに行く目的



問 13-2. よく利用するテニスコートはどこですか。（〇は1つ）

よく利用するテニスコートについては、「中部台テニスコート」が38.1%で最も高く、次いで「阪内川スポーツ公園テニスコート」が15.9%、「ハートフルみくもテニスコート」が12.4%、「民間テニスコート」が9.7%、「ワークセンター松阪テニスコート」が7.1%の順となっている。また、松阪市管理のテニスコートを利用している人は合わせて7割強を占めている。

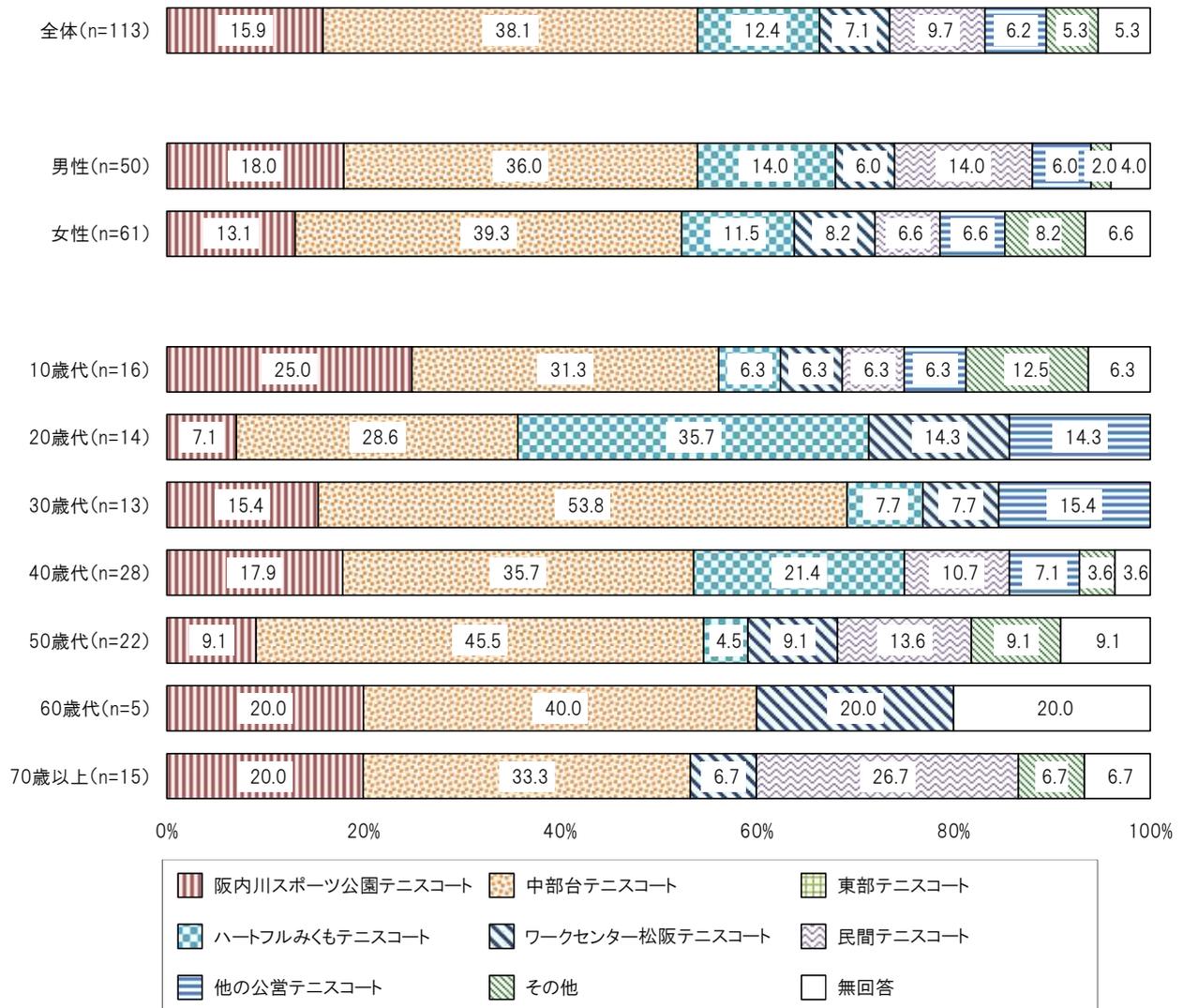
性別にみると、「民間テニスコート」、「阪内川スポーツ公園テニスコート」、「ハートフルみくもテニスコート」と答えた人は男性の割合が高く、「中部台テニスコート」、「ワークセンター松阪テニスコート」と答えた人は女性の割合が高くなっている。また、松阪市管理のテニスコートを利用している人は男性の方が若干高くなっている。

年代別にみると、20歳代では「ハートフルみくもテニスコート」が最も高くなっているが、その他の年代では「中部台テニスコート」が最も高くなっている。また、松阪市管理のテニスコートを利用している年代は20歳代、30歳代、60歳代で8割以上となっており、他の年代に比べて高くなっている。

【主な「その他」の回答】

- 嬉野農業大学校のテニスコート

問13-2 よく利用するテニスコート



問13-2で松阪市管理のテニスコートに行くとは回答した人にお聞きします。

問 13-3. 松阪市管理のテニスコートに行く理由を教えてください。(〇はいくつでも)

松阪市管理のテニスコートに行く理由について訊いたところ、「家から近いから」が50.6%で最も高く、次いで「使用料金が安いから」が45.8%、「昔からよく行くから」が16.9%、「予約がとりやすいから」が14.5%の順となっている。

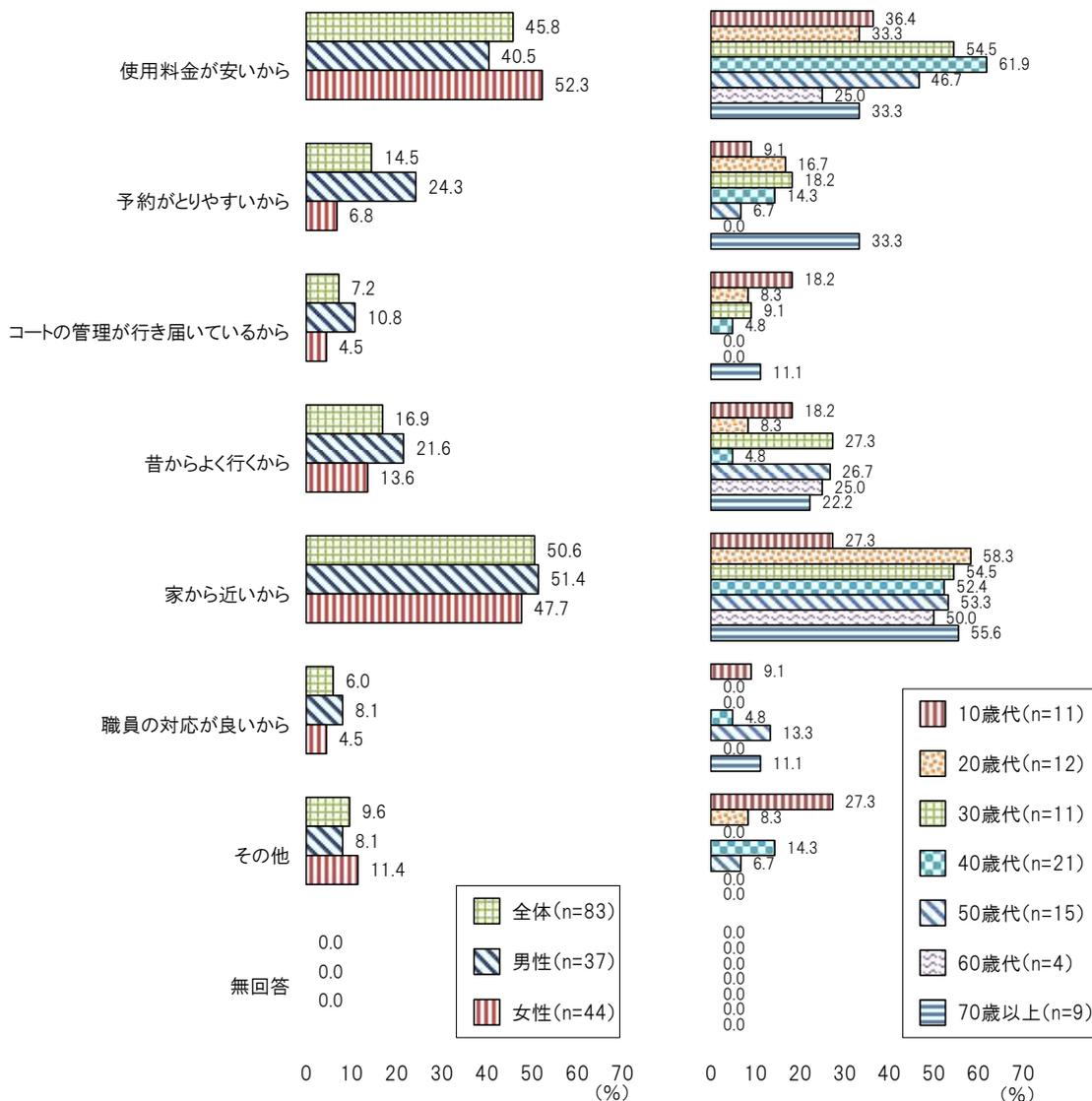
性別にみると、「予約がとりやすいから」は男性の方が女性より17.5ポイント高く、「使用料金が安いから」は女性の方が男性より11.8ポイント高くなっており、男女間で差がみられる。

年代別にみると、20歳代と50歳以上では「家から近いから」が最も高く、10歳代と40歳代では「使用料金が安いから」が最も高くなっている。また、30歳代では「使用料金が安いから」と「家から近いから」が同率で高くなっている。

【主な「その他」の回答】

- 部活
- クラブ

問13-3 松阪市管理のテニスコートに行く理由



問 14. あなたは、テニスコートの集約化についてどう思われますか。（〇は1つ）

テニスコートの集約化について訊いたところ、「わからない」と答えた人が55.7%と過半数を占めている。「コートを集約して設置すべき」は21.8%、「コートを集約して設置すべきでない」は15.3%、「その他」は1.9%となっている。

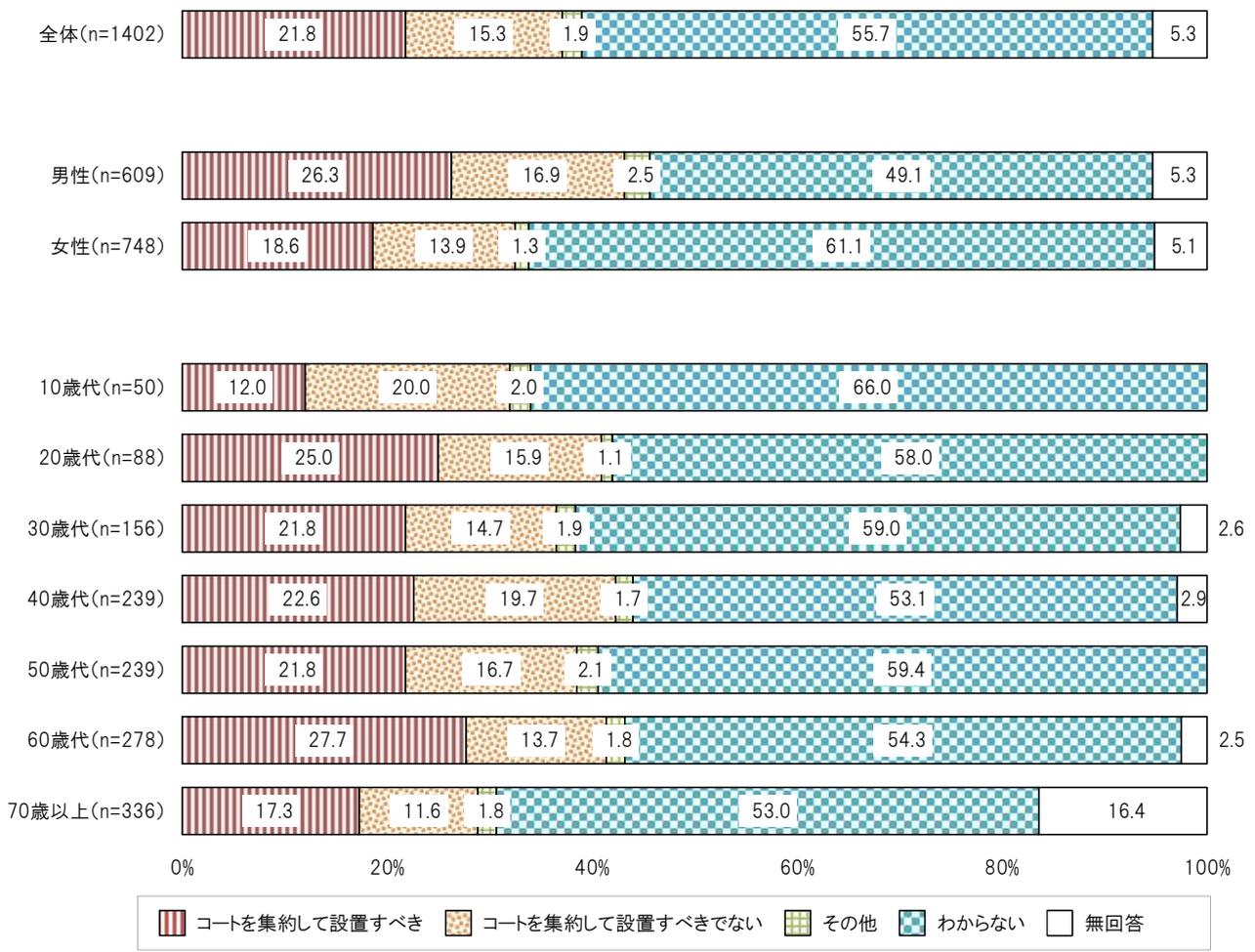
性別にみると、「コートを集約して設置すべき」と答えた人は男性の方が7.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「コートを集約して設置すべき」と答えた年代は20歳代から60歳代では2割を超えており、特に60歳代では27.7%と他の年代に比べて高くなっている。

【主な「その他」の回答】

- 室内コートを希望
- 徐々に集約すれば良い
- 費用面で必ずしも集約する必要はなし
- 費用対効果の見込めない所は無くす。（中部台以外は無くす）

問14 テニスコートの集約化について



問14で「1. コートを集約して設置すべき」と回答した人にお聞きします。

問 14-1. テニスコートの集約についてあなたの考えをお聞かせください。（○は1つ）

「コートを集約して設置すべき」と回答した人にテニスコートの集約についての考え方を聞いたところ、「費用対効果を高めるため、利用状況や利便性を踏まえて既存のテニスコートに隣接して新たに設置することが望ましい」と答えた人が43.1%で最も高く、僅差で「集約はすべきだが、具体的な方法はわからない」が40.5%で続いている。「新たに大規模な施設を既存のテニスコートとは別の場所に設置することが望ましい」と答えた人は14.7%となっている。

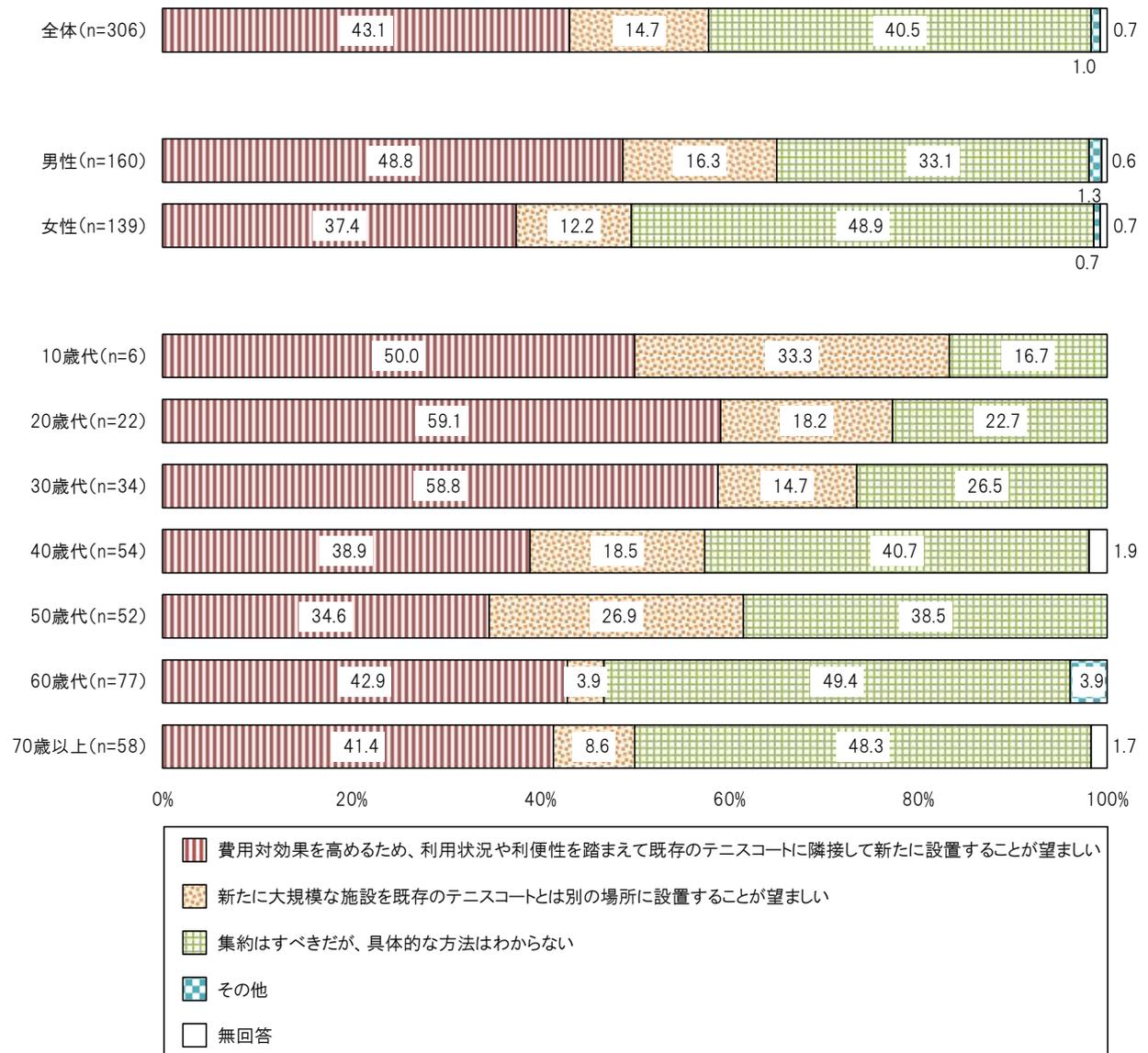
性別にみると、女性では「集約はすべきだが、具体的な方法はわからない」が男性より15.8ポイント高く、男性では「費用対効果を高めるため、利用状況や利便性を踏まえて既存のテニスコートに隣接して新たに設置することが望ましい」が女性より11.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、30歳代以下では「費用対効果を高めるため、利用状況や利便性を踏まえて既存のテニスコートに隣接して新たに設置することが望ましい」が最も高く、40歳代以上では「集約はすべきだが、具体的な方法はわからない」が最も高くなっている。また、10歳代では「新たに大規模な施設を既存のテニスコートとは別の場所に設置することが望ましい」が33.3%と、他の年代に比べて特に高くなっている。

【主な「その他」の回答】

- 1カ所に集約して維持管理経費を軽減すべきです。
- 今のまま

問14-1 テニスコートの集約についての考え方



問 15. 松阪市管理のテニスコートについて、ご意見等がありましたらお書きください。

【主な意見】

- 建設に多額の費用がかかるのであれば、今のままではだめなんではないでしょうか？ただ、利用者が多く、必要性があるのであれば、設置しても良いのかなと思います。
- 集約化することにより家からテニスコートが遠くなると、利用することがなくなってしまうので、集約しなくてよいと思う。
- 距離が集約するには遠い。利便性は悪くなる。
- プール、テニス、陸上など集約し、四日市の中央緑地公園のようにパーク PFI 船谷 HD グループのように管理運営してもらいたい。
- テニスをしないのでわからない。
- 私は高校生の頃にテニス部でテニスコートをよく利用していました。家の近くに中部台があり、松尾幼稚園近くにもコートがあつて、とても利用しやすかつたし、近くにあつて練習を好きなだけできる事はいい環境だつたと思います。
そのコートがなかつたり、遠くにしかないような状況だつたら、と思うと、今の子どもたちが自転車で自分で行けるところにコートがあればいいなと思つてしまいます。親や大人に連れて行つてもらわなければいけないくらい遠い場所だとなかなか利用できない子どももいるのではないかと。そう考えると集約する事がいい事かどうかわかりません。
- 集約するメリットがわかりません。
利用者が現状に不満が多数あるのなら別ですが、今のままで何がいけないのか、分散しているほうがより利用しやすいのではないですか？
- 3カ所に分散していると、それぞれに人件費がかかるので、これを節約できます。また、施設を1カ所に集約することに管理事務所も1カ所で済み、光熱費などが節約できます。
- まずテニスコートが5ヶ所もあることを初めて知つた。テニスコートの集約に数億円も使うのは現在の市の財政から考えてもおかしい。(テニスコートを使用する人は人口のどれくらいかを考えると)税金はもっと有意義に使用すべき。
- 大きな大会を開催するのであれば、集約も必要ですが、現状、分散で整備すれば十分では。
- 地域性や利用者数等良く考慮して、余り利用されていない施設は見直すのも良いと思う。
- 小さい頃からソフトテニスをやって来た者としては、伊勢の古市のテニスコートの様な規模のテニスコートが有つたら、テニスが盛り上がつて試合も行う事が可能かと思ひ希望しますが、集約すれば…とは思ひながらも具体案は浮かばず、残念な気持ちです。

3-5 今後、整備すべきスポーツ施設【問 16】

問 16. 松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか。（○は2つまで）

今後、どのようなスポーツ施設の整備や充実が必要かについて訊いたところ、「室内トレーニング施設」が30.2%で最も高く、次いで「専用競技場」が21.1%、「体育館」が20.7%、「室内・野外プール」が17.3%の順となっている。なお、「特に整備は必要ない」と考えている人は14.6%となっている。

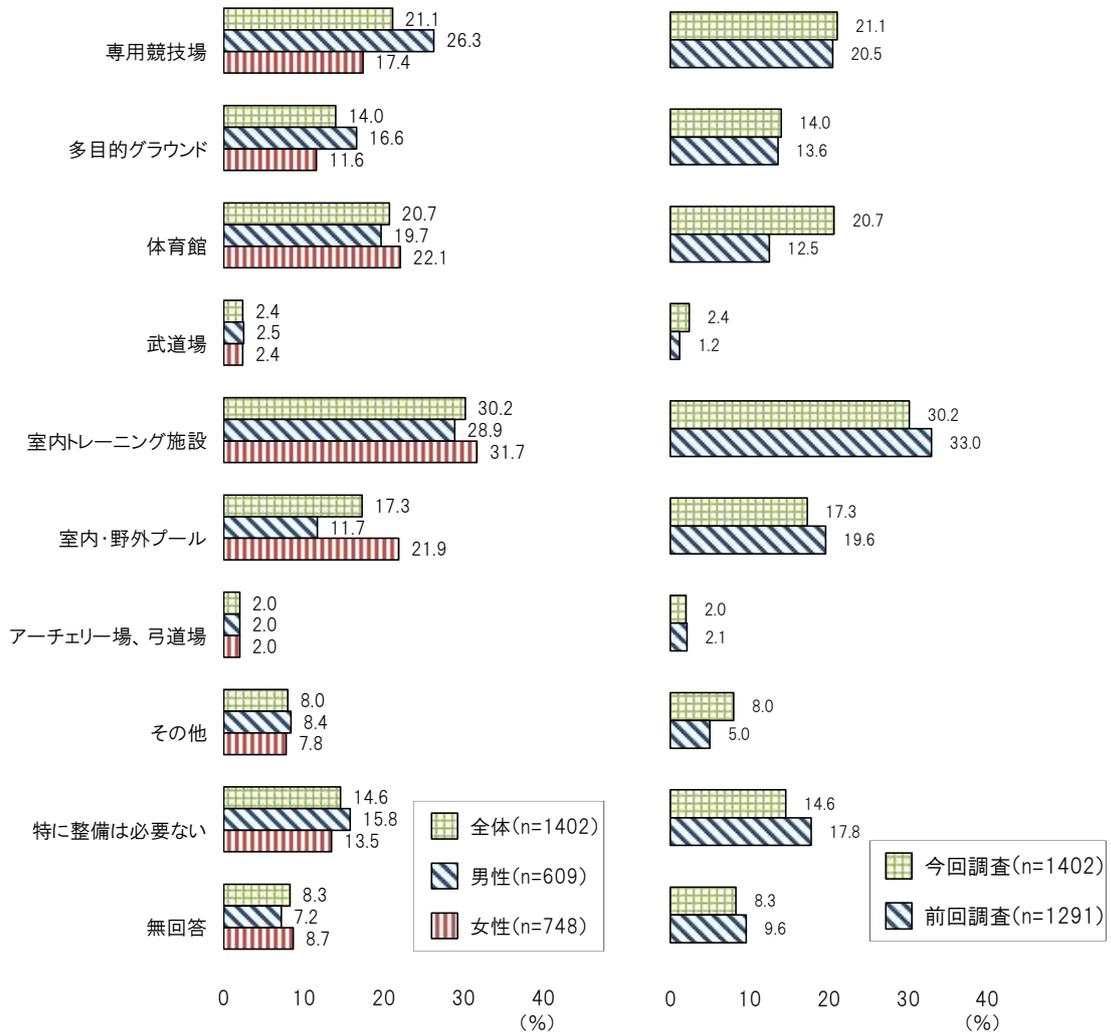
性別にみると、男女ともに「室内トレーニング施設」が最も高くなっているが、男性28.9%、女性31.7%と、女性が男性を2.8ポイント上回っている。また、「室内・屋外プール」についても、男性11.7%、女性21.9%と、女性が男性を10.2ポイント上回っている。反対に、「専用競技場」については、男性26.3%、女性17.4%と、男性が女性を8.9ポイント上回っており、男女間で整備・充実を望む施設に違いがみられる。

前回調査と比較すると、上位2位までの順位に変わりはないが、前回3位だった「室内・屋外プール」は2.3ポイント減少し、前回5位だった「体育館」が8.2ポイント増加し、3位となっている。一方、「特に整備は必要ない」と考えている人は3.2ポイント減少している。

【主な「その他」の回答】

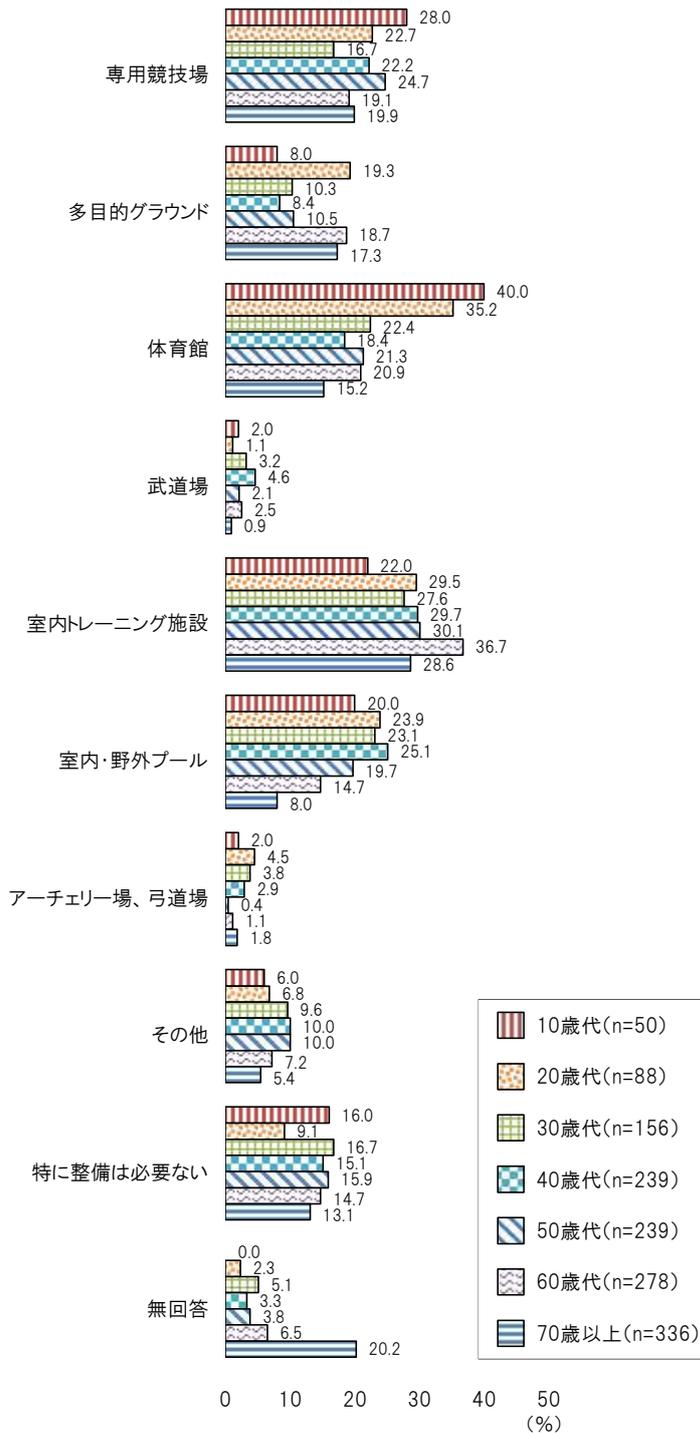
- アウトドア関係
- 競技用フィッシング場
- ウォーキングが楽しめる所、公園の様な場所
- サイクリングコース
- スケートボード等が可能な施設。山下公園があるが、更なる充実。
- ボルダリング
- 四日市中央緑地公園のような施設

問16 今後、整備すべきスポーツ施設



年代別にみると、30歳以上では「室内トレーニング施設」が最も高くなっている。一方、20歳以下では「体育館」が最も高くなっており、特に10歳代では40%と、他の年代に比べて高くなっている。

問16 今後、整備すべきスポーツ施設



3-6 松阪市体育施設予約システムの認知度【問 17】

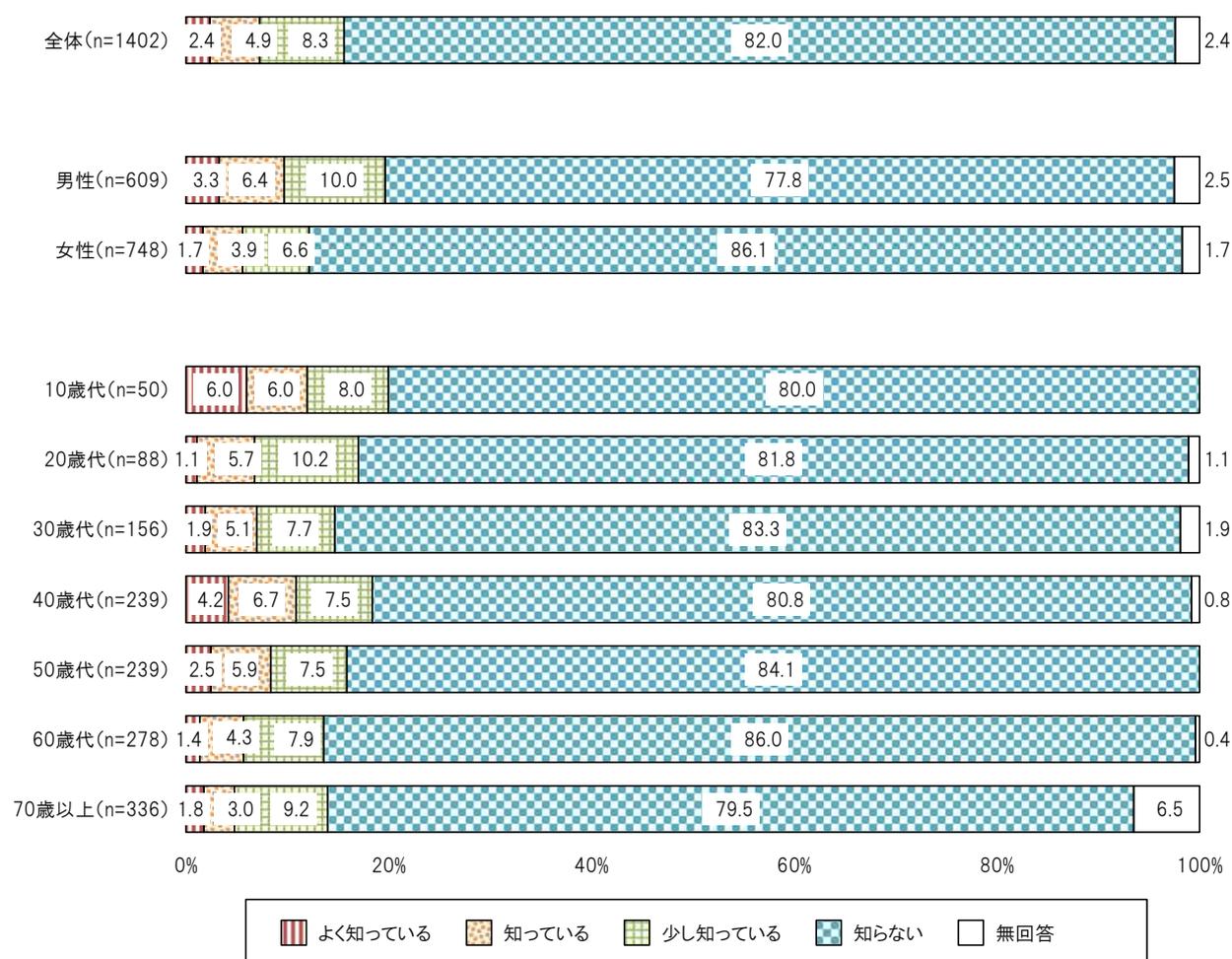
問 17. 松阪市公共施設予約システムを知っていますか。（○は1つ）

松阪市公共施設予約システムの認知度については、「知らない」が82.0%と約8割を占めている。次いで「少し知っている（名称は聞いたことがある程度）」が8.3%、「知っている（仮予約したことがない）」が4.9%、「よく知っている（仮予約したことがある）」が2.4%の順となっている。『知っている』人の割合は合わせて1割強となっており、実際に利用したことがある人は2%強に留まっている。

性別にみると、男性では『知っている』人の割合は19.7%、女性では12.2%となっており、男性の方が女性よりも『知っている』人の割合が7.5ポイント高くなっている。

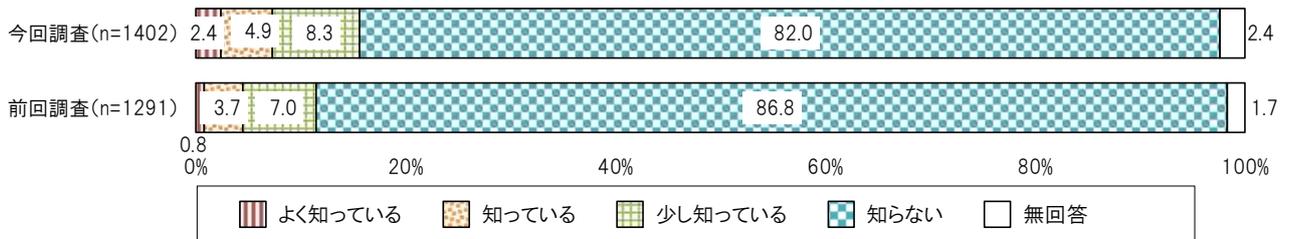
年代別にみると、10歳代では『知っている』人の割合が2割となっており、他の年代に比べて高くなっている。

問17 松阪市体育施設予約システムの認知度



前回調査と比較すると、『知っている』人の割合は、前回調査では 11.5%であったが、今回調査では 15.6%と 4.1 ポイント増加している。また、実際に利用したことがある人の割合は、前回調査より 1.6 ポイント増加している。

問17 松阪市体育施設予約システムの認知度



3-7 公共スポーツ施設で充実させる点【問 18】

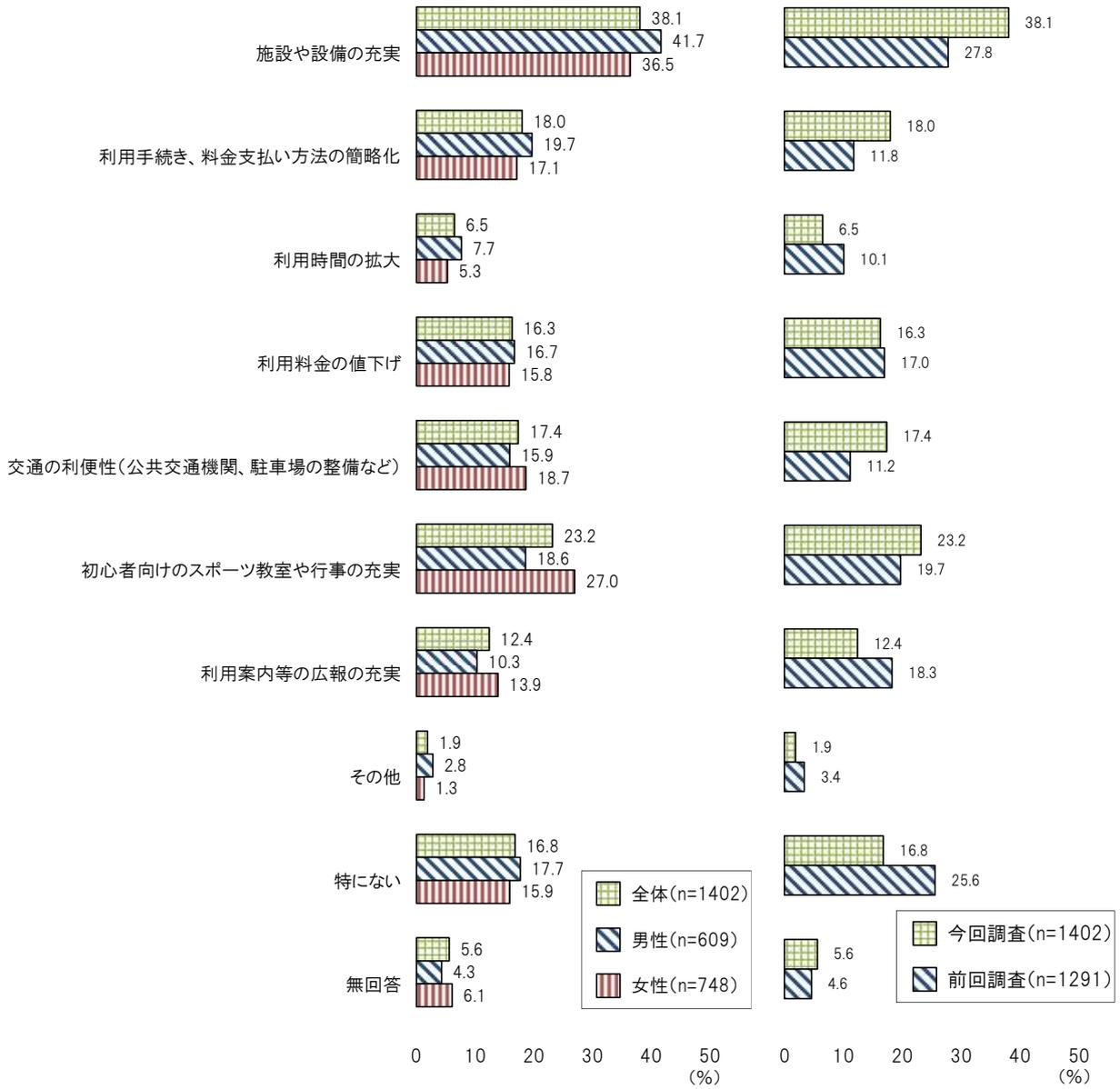
問 18. 公共スポーツ施設を利用する上で、主にどのような点の充実を望みますか。（○は2つまで）

公共スポーツ施設を利用する上で望むことを訊いたところ、「施設や設備の充実」が 38.1%で最も高く、次いで「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」が 23.2%、「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」が 18.0%、「交通の利便性（公共交通機関、駐車場の整備など）」が 17.4%の順となっている。また、「特にない」と答えた人は 16.8%となっている。

性別にみると、男女ともに「施設や設備の充実」が最も高くなっている。次いで、男性では「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」、女性では「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」となっており、男女間で差がみられる。また、「特にない」と答えた人の割合は男性の方が女性より 1.8 ポイント高くなっている。

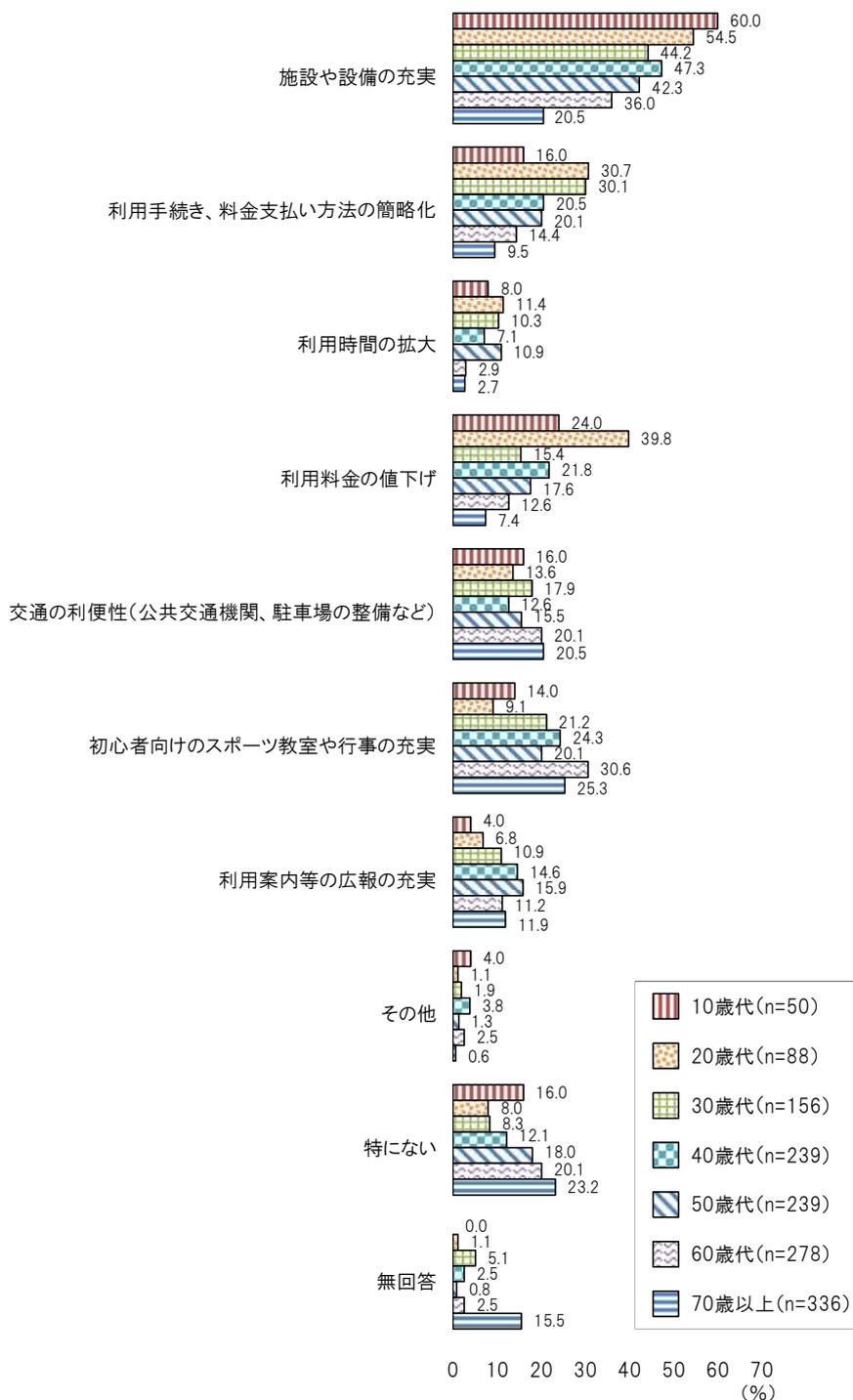
前回調査と比較すると、上位 2 位までの順位に変わりはないが、前回 3 位だった「利用案内等の広報の充実」は 5.9 ポイント減少し、前回 5 位だった「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」が 6.2 ポイント増加し、3 位となっている。一方、「特にない」と答えた人は 8.8 ポイント減少している。

問18 公共スポーツ施設で充実させる点



年代別にみると、70歳以上では「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」が最も高くなっている。一方、60歳以下では「施設や設備の充実」が最も高くなっており、特に10歳代では60%と、他の年代に比べて特に高くなっている。また、「特にない」と答えた年代は60歳以上では20%を超えており、他の年代に比べて高くなっている。

問18 公共スポーツ施設で充実させる点



4. クラブや同好会、教室について

4-1 総合型地域スポーツクラブの認知度【問 19】

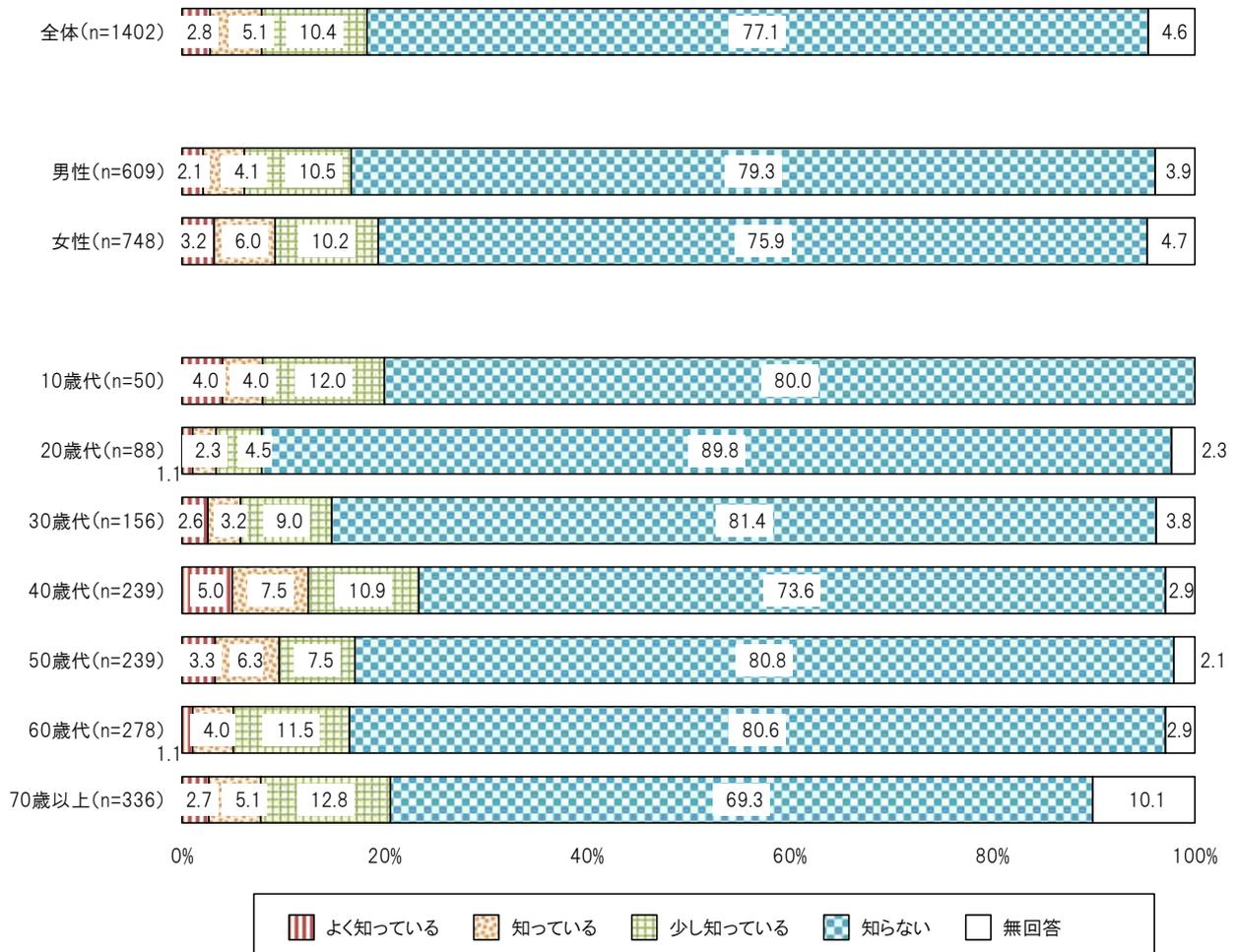
問 19. 総合型地域スポーツクラブを知っていますか。（○は1つ）

総合型地域スポーツクラブの認知度については、「知らない」が77.1%と約8割を占めている。次いで「少し知っている（名称は聞いたことがある程度）」が10.4%、「知っている（参加したことはない）」が5.1%、「よく知っている（参加したことがある）」が2.8%の順となっている。『知っている』人の割合は合わせて2割弱となっており、実際に参加したことがある人は3%弱となっている。

性別にみると、『知っている』人の割合は男性では16.7%、女性では19.4%となっており、女性の方が男性より2.7ポイント高くなっている。

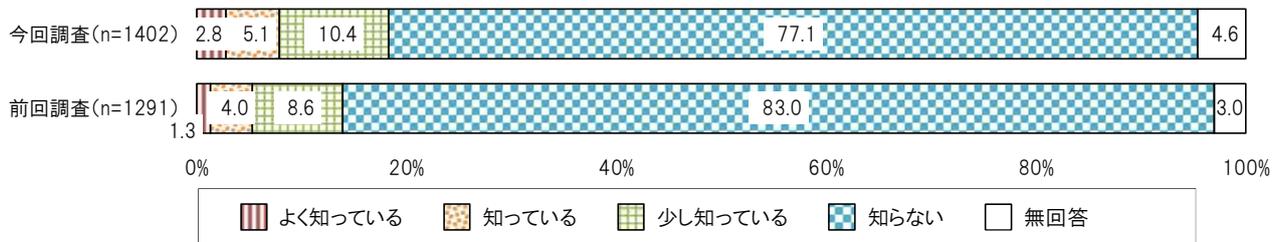
年代別にみると、40歳代では『知っている』人の割合が23.4%と最も高くなっており、次いで70歳以上、10歳代となっている。一方、20歳代では「知らない」人の割合が89.8%と最も高く、10歳代、30歳代、50歳代、60歳代でも「知らない」人の割合は8割以上と高くなっている。

問19 総合型地域スポーツクラブの認知度



前回調査と比較すると、『知っている』人の割合は、前回調査では13.9%であったが、今回調査では18.3%と4.4ポイント増加している。また、実際に参加したことがある人の割合は、前回調査より1.5ポイント増加している。

問19 総合型地域スポーツクラブの認知度



4-2 クラブや同好会、教室などの加入状況【問 20・問 20-1】

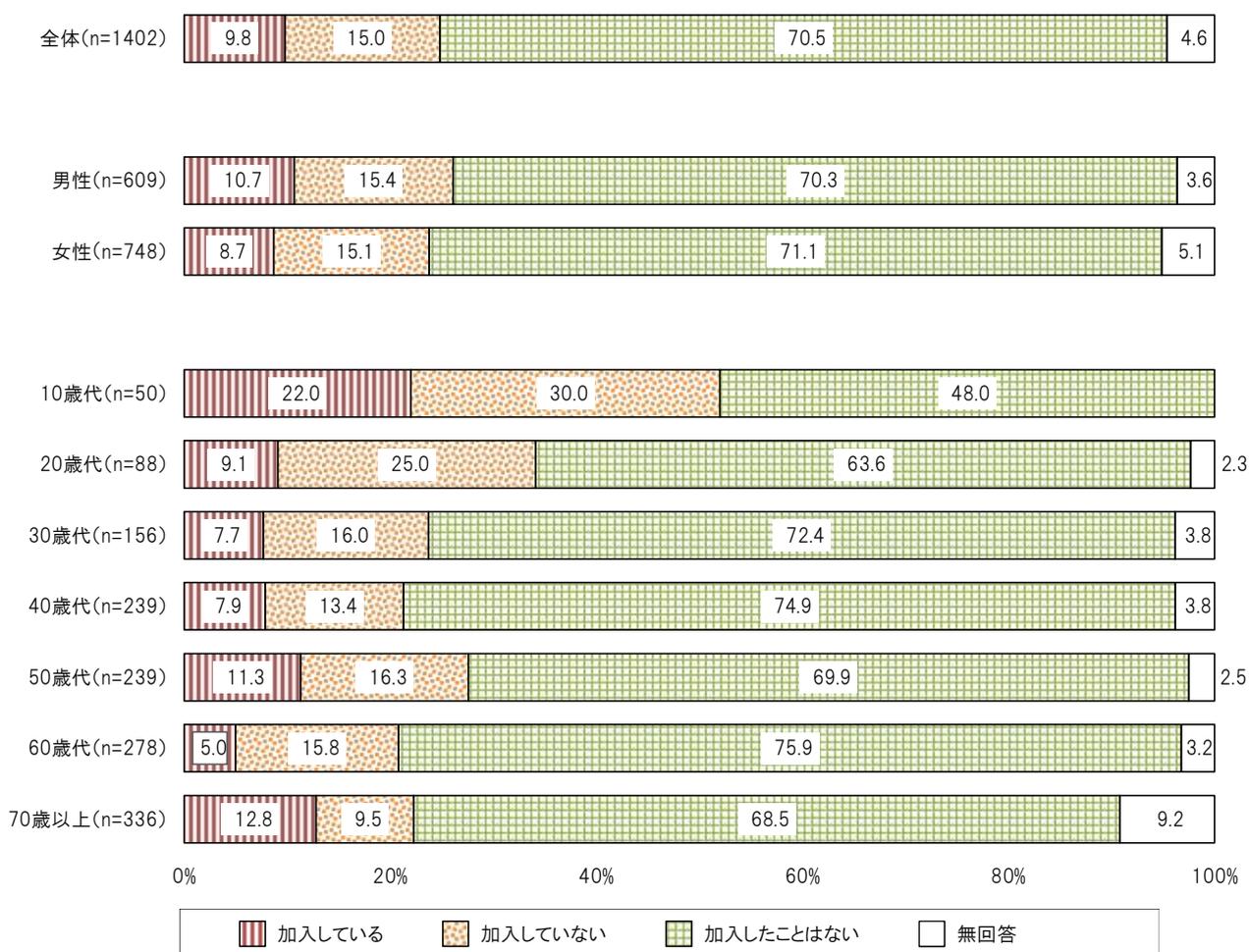
問 20. 現在、運動やスポーツのクラブや同好会（学校や職場なども含む）、教室などに加入していますか。（○は1つ）

運動やスポーツのクラブや同好会、教室などへの加入状況については、「加入したことはない（これまでも一度もない）」が70.5%で最も高く、「加入していない（以前は加入したことがある）」の15.0%と合わせて『加入していない』人の割合は8割強を占めている。一方、「加入している」人の割合は9.8%と約1割に留まっている。

性別にみると、男性では「加入している」人の割合は10.7%、女性では8.7%となっており、男性の方が女性よりも「加入している」人の割合が2ポイント高くなっている。

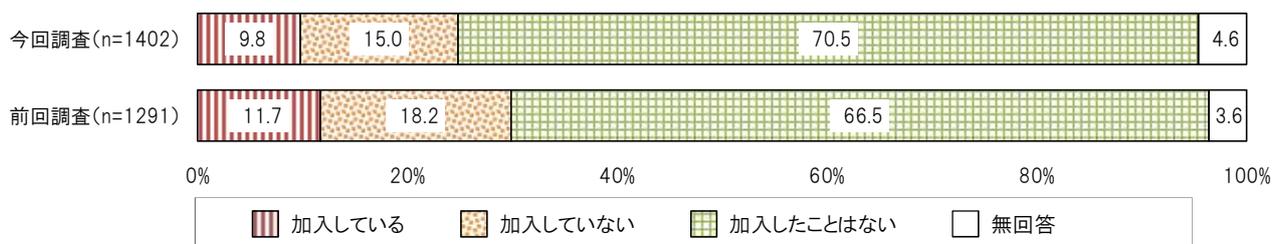
年代別にみると、学生が含まれる10歳代で「加入している」人の割合が22.0%と最も高く、次いで70歳以上の12.8%、50歳代の11.3%となっている。反対に、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代では「加入している」人の割合が低くなっている。

問20 クラブや同好会、教室などの加入状況



前回調査と比較すると、「加入している」人の割合は、前回調査では11.7%であったが、今回調査では9.8%と1.9ポイント減少している。また、「加入したことはない」人の割合は、前回調査より4ポイント増加している。

問20 クラブや同好会、教室などの加入状況



問20で「1. 加入している」と回答した人にお聞きします。

問 20-1. どのようなクラブや同好会、教室に加入していますか。（〇はいくつでも）

現在、加入しているクラブや同好会、教室について訊いたところ、「友人や仲間で構成しているクラブや同好会」が32.8%で最も高く、次いで「民間のスポーツ施設等が開設しているクラブや教室」が27.7%、「地区・地域のクラブや同好会」が25.5%、「職場または学校のクラブや同好会」が14.6%、「市が主催している講座や教室」が8.8%の順となっている。

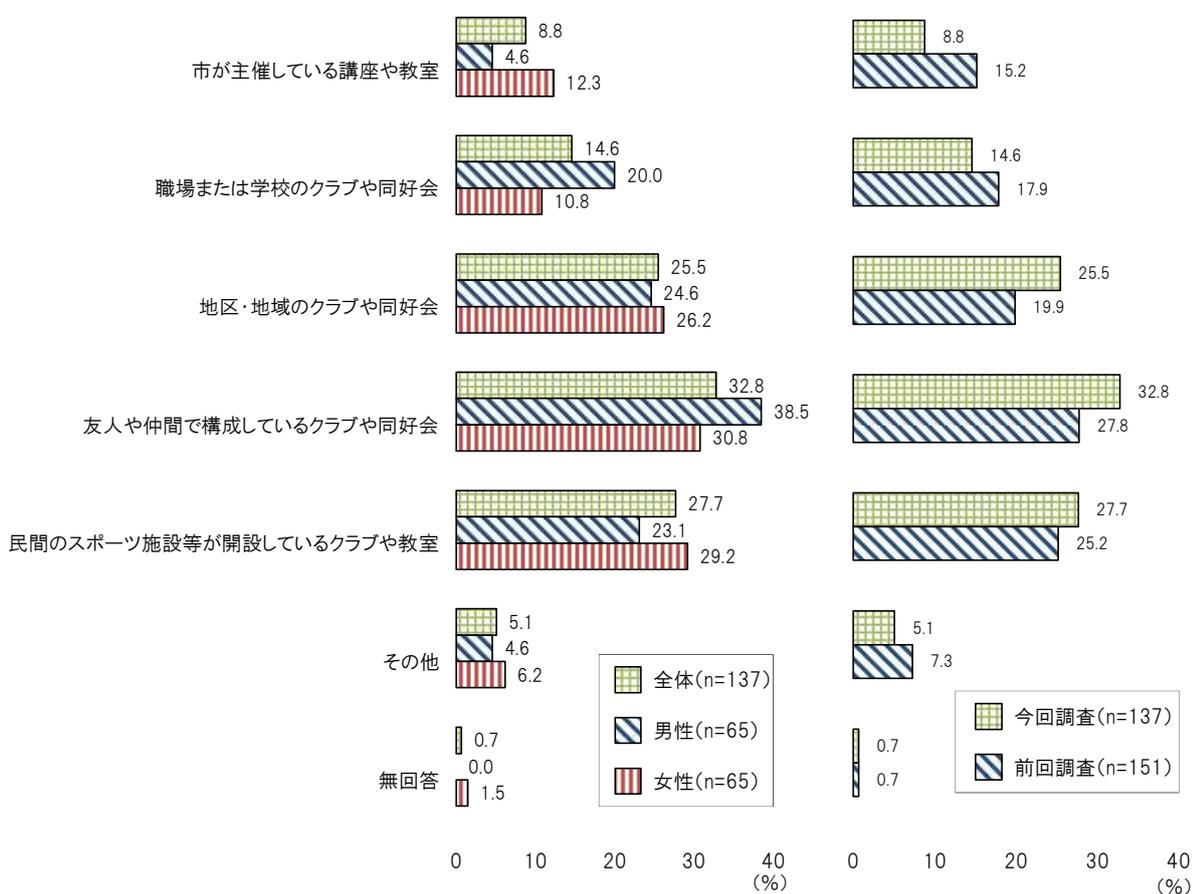
性別にみると、男女ともに「友人や仲間で構成しているクラブや同好会」が最も高くなっているが、男性が38.5%、女性が30.8%と、男性の方が女性より7.7ポイント高くなっている。また、「職場または学校のクラブや同好会」については、男性が女性より9.2ポイント高く、「市が主催している講座や教室」については女性が男性より7.7ポイント高くなっており、男女間で差がみられる。

前回調査と比較すると、各順位に変わりはないが、「市が主催している講座や教室」は6.4ポイント減少し、「地区・地域のクラブや同好会」が5.6ポイント、「友人や仲間で構成しているクラブや同好会」が5ポイント増加している。

【主な「その他」の回答】

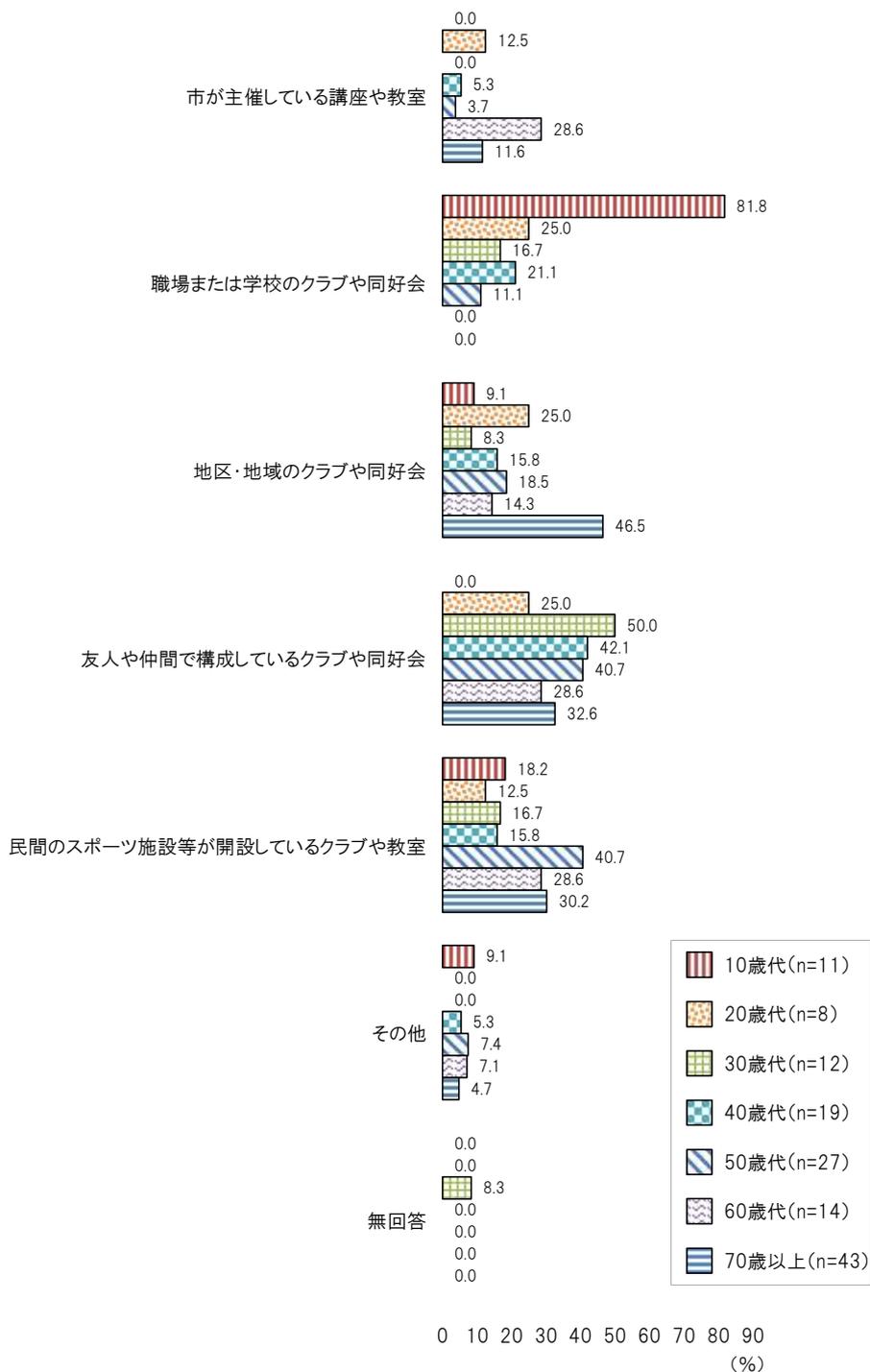
- スポーツジム
- ワークセンターの講座

問20-1 加入しているクラブや同好会、教室



年代別にみると、学生が含まれる10歳代では「職場または学校のクラブや同好会」が81.8%と、突出して高くなっている。70歳以上では「地区・地域のクラブや同好会」が、30歳代と40歳代では「友人や仲間」で構成しているクラブや同好会」が最も高くなっているが、その他の年代では回答が分散している。

問20-1 加入しているクラブや同好会、教室



4-3 今後のクラブや同好会、教室などへの加入意向【問 21・問 21-1】

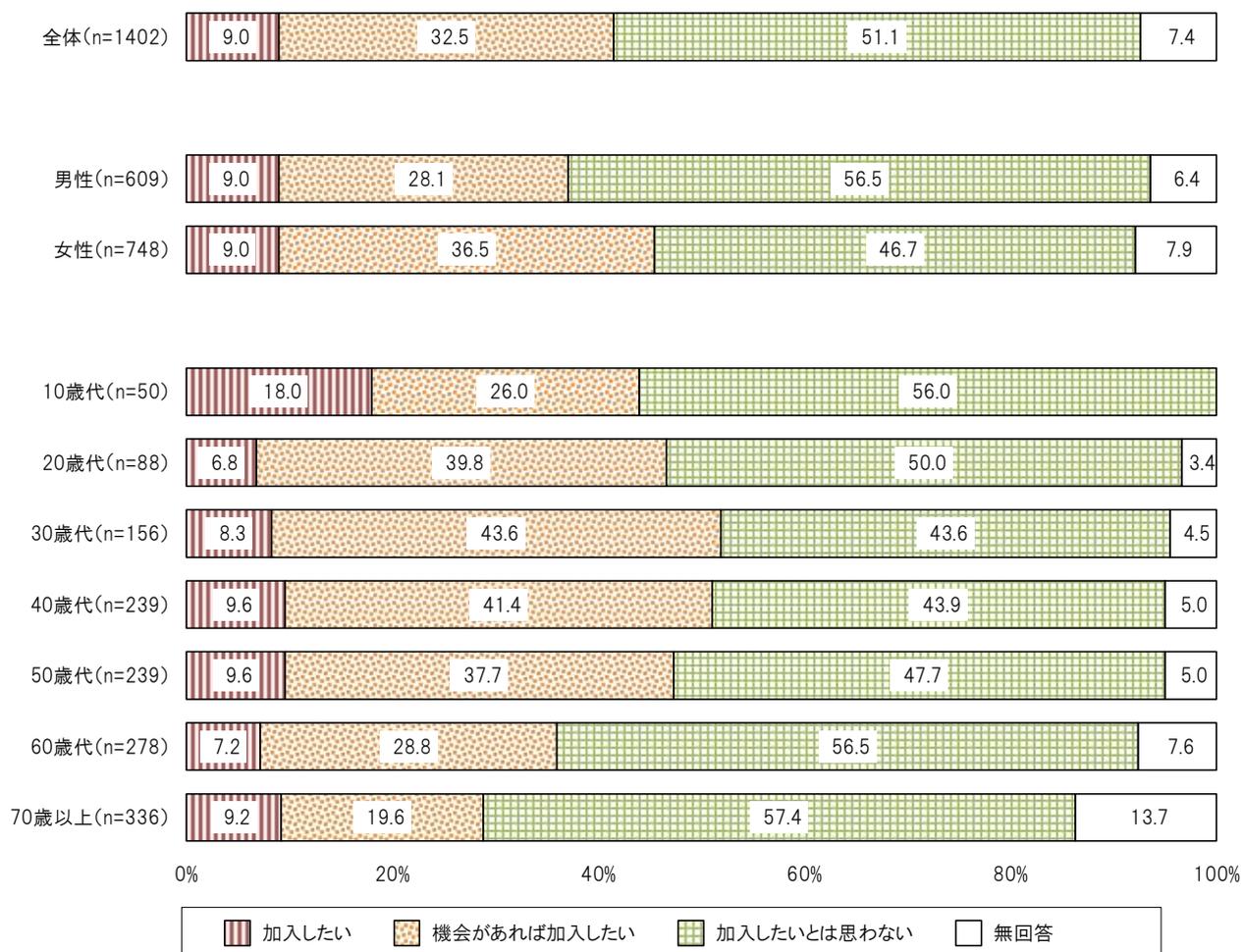
問 21. 今後、運動やスポーツのクラブや同好会、教室などに加入したい（現在、加入している人は加入し続けたい）と思いますか。（○は1つ）

今後の運動やスポーツのクラブや同好会、教室などへの加入意向を聞いたところ、「加入したいとは思わない」が51.1%と過半数を占めている。「機会があれば加入したい」は32.5%、「加入したい」は9.0%と、合わせて『加入したい』と考えている人は約4割となっており、「加入したいとは思わない」と答えた人が上回っている。

性別にみると、男性では『加入したい』と考えている人の割合は37.1%、女性では45.5%となっており、女性の方が男性より8.4ポイント高くなっている。

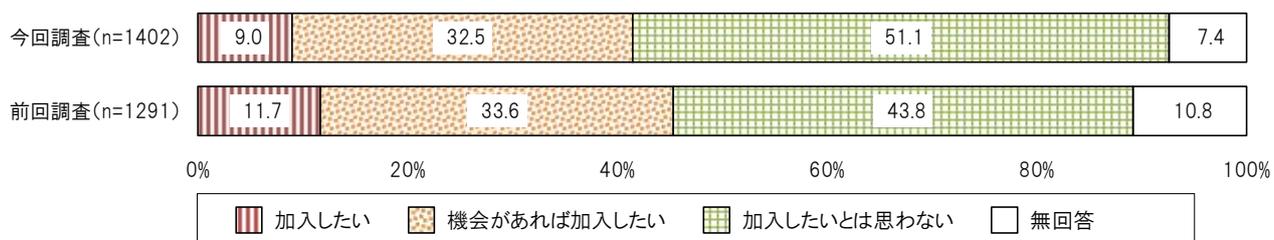
年代別にみると、30歳代と40歳代では『加入したい』と考えている人の割合が過半数を占め高くなっている。一方、70歳以上では『加入したい』と考えている人の割合は28.8%と他の年代に比べて最も低くなっている。

問21 今後のクラブや同好会、教室などへの加入意向



前回調査と比較すると、『加入したい』と考えている人の割合は、前回調査では45.3%であったが、今回調査では41.5%と3.8ポイント減少している。また、「加入したいとは思わない」と答えた人の割合は、前回調査より7.3ポイント増加している。

問21 今後のクラブや同好会、教室などへの加入意向



問21で「1. 加入したい」「2. 機会があれば加入したい」と回答した人にお聞きします。

問 21-1. 加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件は何ですか。（○は2つまで）

加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件については、「自宅や通勤・通学先から近い」が44.6%で最も高く、次いで「レベルに応じた指導が受けられる」が35.1%、「利用料金が安い」が34.6%、「仲間づくりができる」が28.7%の順となっている。

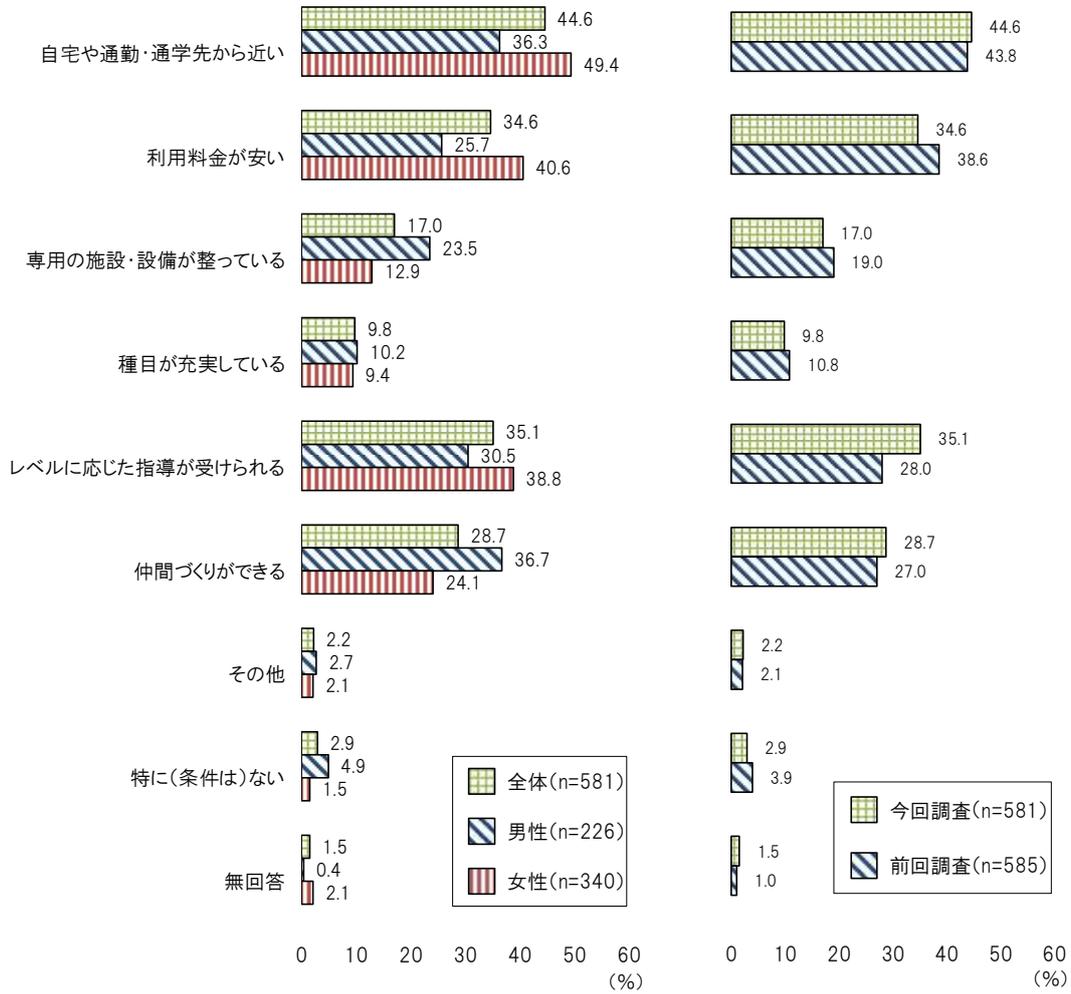
性別にみると、男性では「仲間づくりができる」が最も高く、次いで「自宅や通勤・通学先から近い」、「レベルに応じた指導が受けられる」の順となっている。一方、女性では「自宅や通勤・通学先から近い」が最も高く、次いで「利用料金が安い」、「レベルに応じた指導が受けられる」の順となっている。また、「自宅や通勤・通学先から近い」、「利用料金が安い」については、女性の方が男性より10ポイント以上高く、反対に「仲間づくりができる」、「専用の施設・設備が整っている」では男性の方が高くなっており、男女間で差がみられる。

前回調査と比較すると、1位に変わりはないが、前回2位だった「利用料金が安い」は4.0ポイント減少し、前回3位だった「レベルに応じた指導が受けられる」が7.1ポイント増加し、2位となっている。

【主な「その他」の回答】

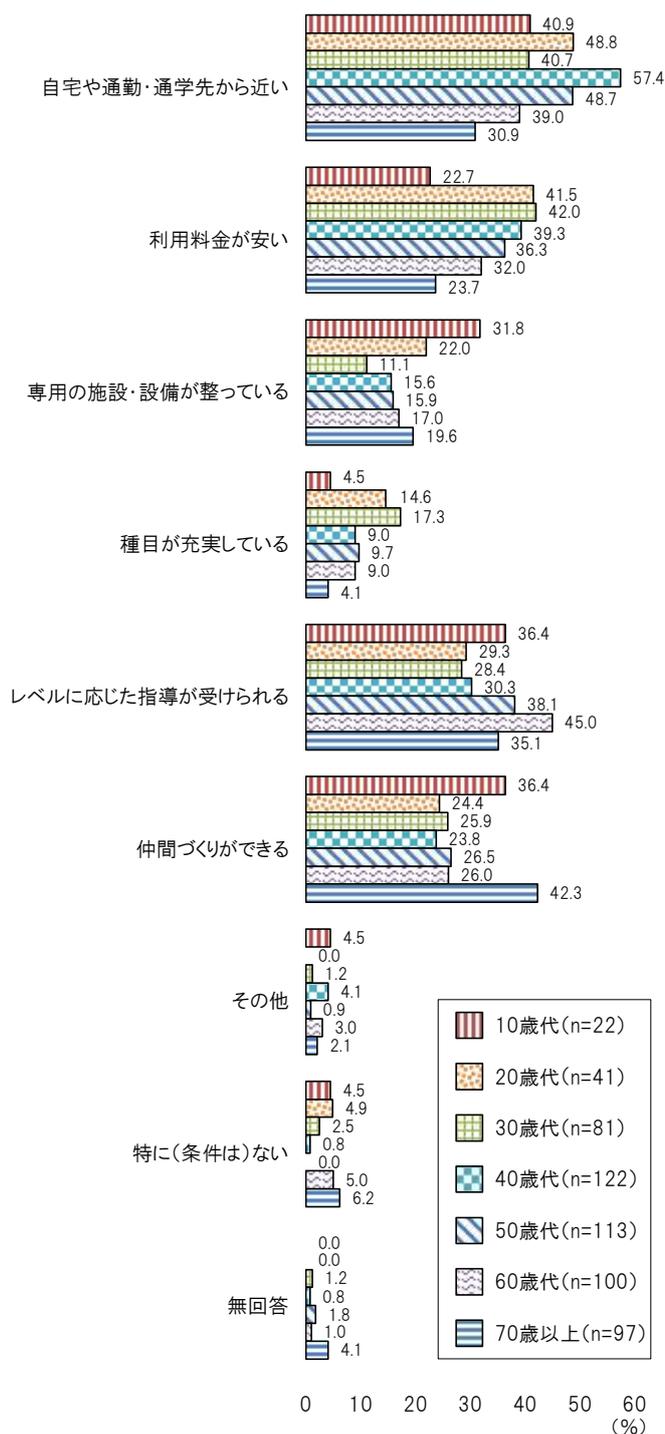
- 初めてでも気軽に入りやすい
- 子育て中でも行きやすい
- 仕事のため土日や夜間に開催してほしい。
- 休日にしてほしい。子どもと一緒に。

問21-1 加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件



年代別にみると、10歳代、20歳代、40歳代、50歳代では「自宅や通勤・通学先から近い」が最も高く、特に40歳代では57.4%と高くなっている。また、30歳代では「利用料金が安い」が、「60歳代」では「レベルに応じた指導が受けられる」が、70歳以上では「仲間づくりができる」が、それぞれ最も高くなっている。

問21-1 加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件



5. 学校体育施設について

5-1 学校体育施設の利用状況【問 22】

問 22. あなたは、この1年間で、市内の学校体育施設（小・中・高校の体育館や運動場など）を利用したことがありますか。（○は1つ）

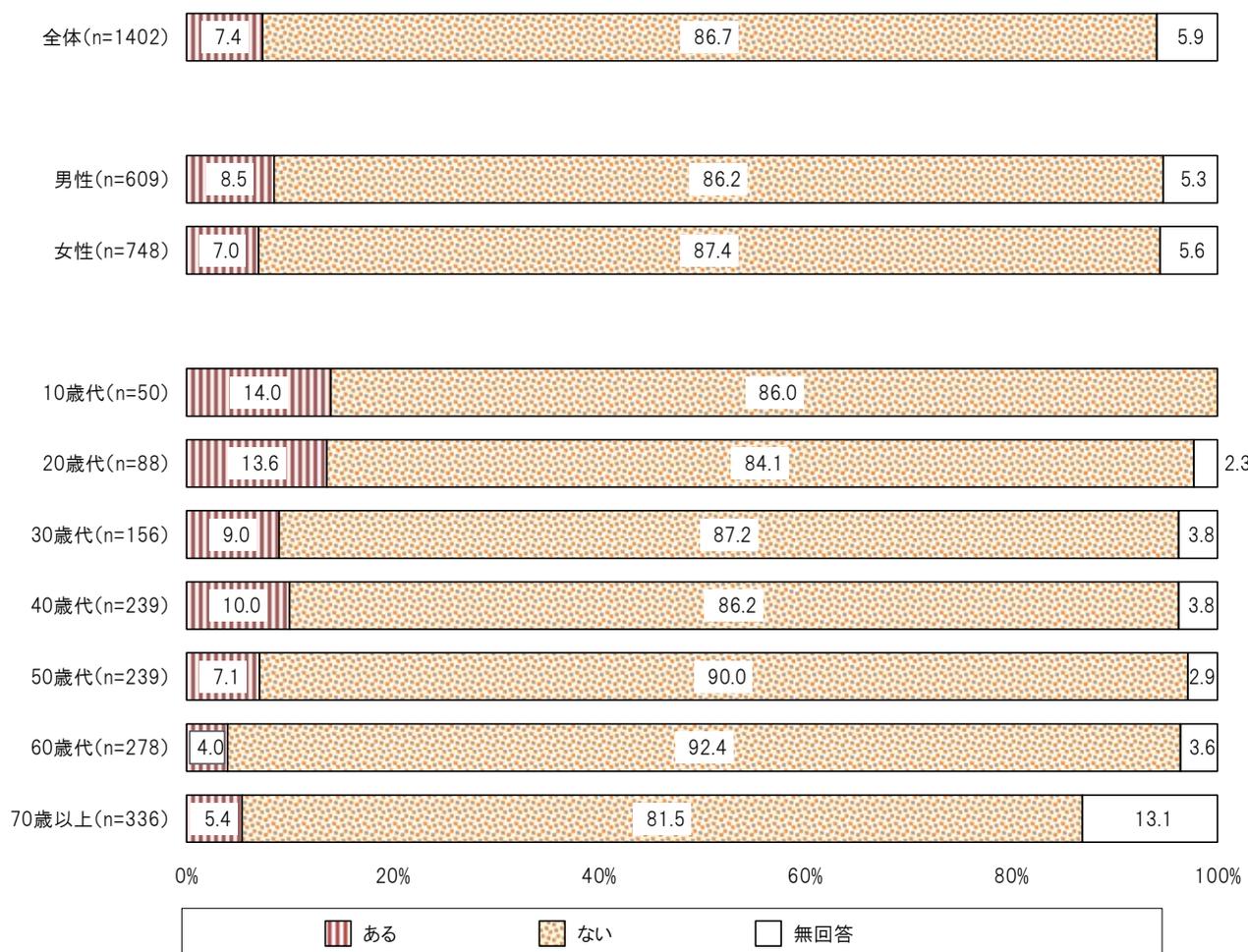
◎学生の場合は、通っている学校以外でお答えください。

この1年間の市内の学校体育施設の利用状況について訊いたところ、「ある」が7.4%、「ない」が86.7%となっており、9割弱の人が、この1年間、学校体育施設の利用はなかった。

性別にみると、男性では「ある」が8.5%、女性では7.0%と、男性の方が女性よりも、この1年間で学校体育施設を利用したことが「ある」人の割合が若干高くなっている。

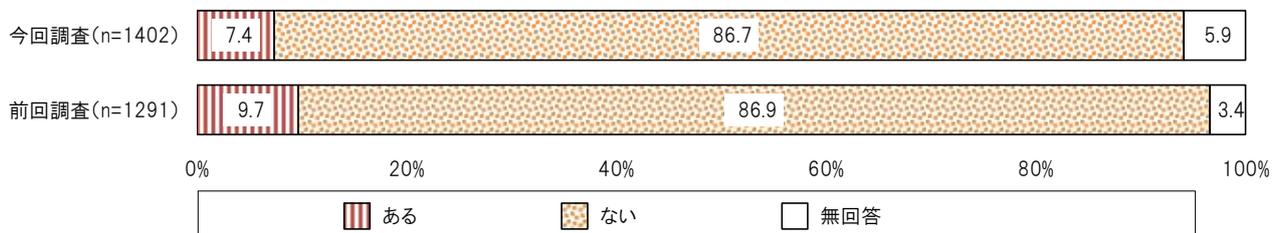
年代別にみると、10歳代ではこの1年間で学校体育施設を利用したことが「ある」人の割合が14.0%で最も高く、次いで20歳代となっている。

問22 学校体育施設の利用状況



前回調査と比較すると、この1年間で学校体育施設を利用したことが「ある」人の割合は、前回調査では9.7%であったが、今回調査では7.4%と2.3ポイント減少している。

問22 学校体育施設の利用状況



5-2 学校体育施設で充実させる点【問 23】

問 23. 学校体育施設を利用する上で、どのようなことを望みますか。（○は2つまで）

学校体育施設を利用する上で望むことを訊いたところ、「利用手続き・料金支払いの簡略化」が15.5%で最も高く、次いで「施設設備の充実」が10.7%、「個人単位での利用」が10.6%、「利用案内等の広報の充実」が9.2%の順となっている。ただ、「わからない」と答えた人が43.2%となっており、さらに、「特に要望はない」が13.7%となっている。

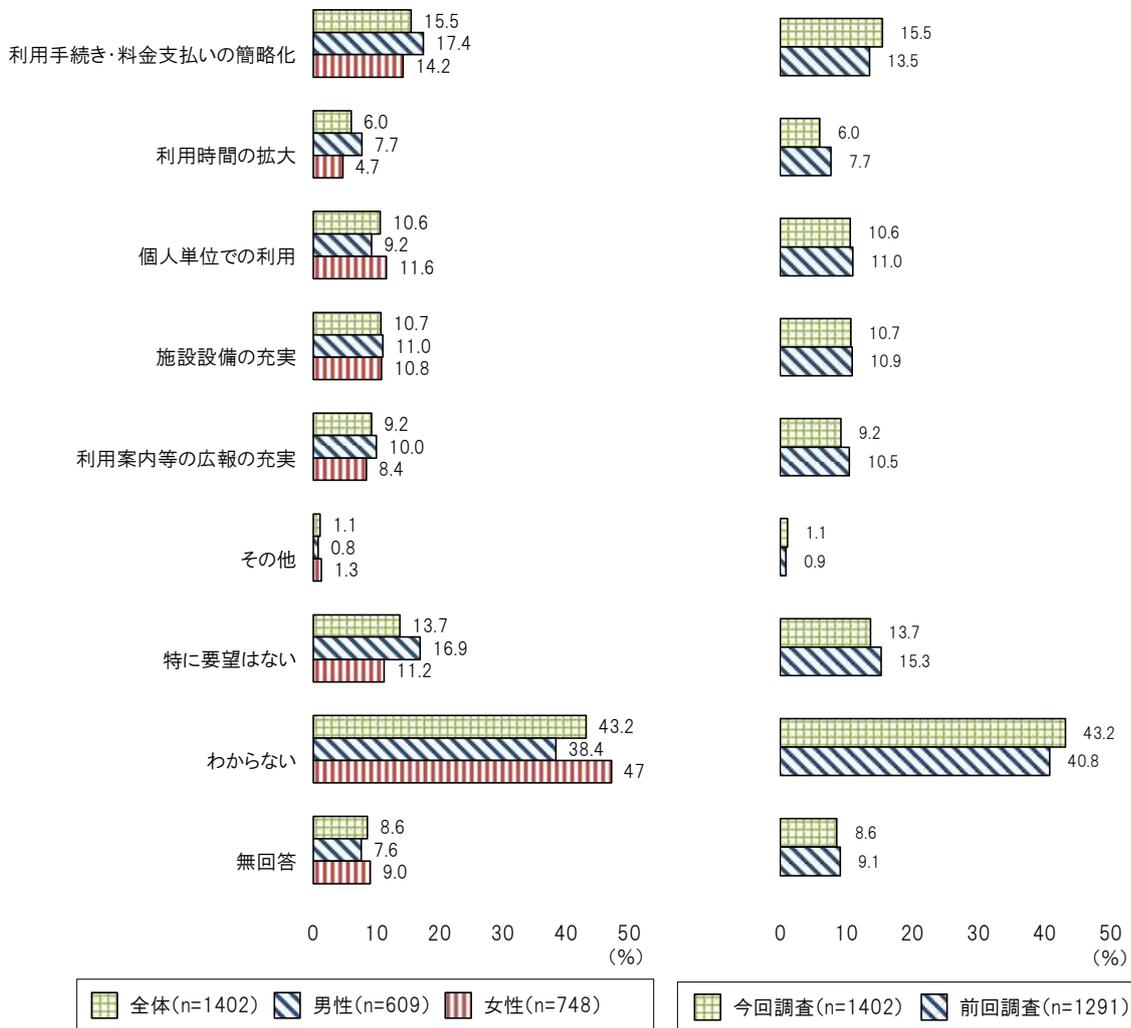
性別にみると、男女ともに「利用手続き・料金支払いの簡略化」が最も高くなっているが、次いで、男性では「施設設備の充実」、「利用案内等の広報の充実」、女性では「個人単位での利用」、「施設設備の充実」の順となっており、男女間で差がみられる。また、「特に要望はない」は男性の方が女性より5.7ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、「利用手続き・料金支払いの簡略化」と答えた人の割合が2ポイント増加している。また、「わからない」と答えた人の割合も2.4ポイント増加している。

【主な「その他」の回答】

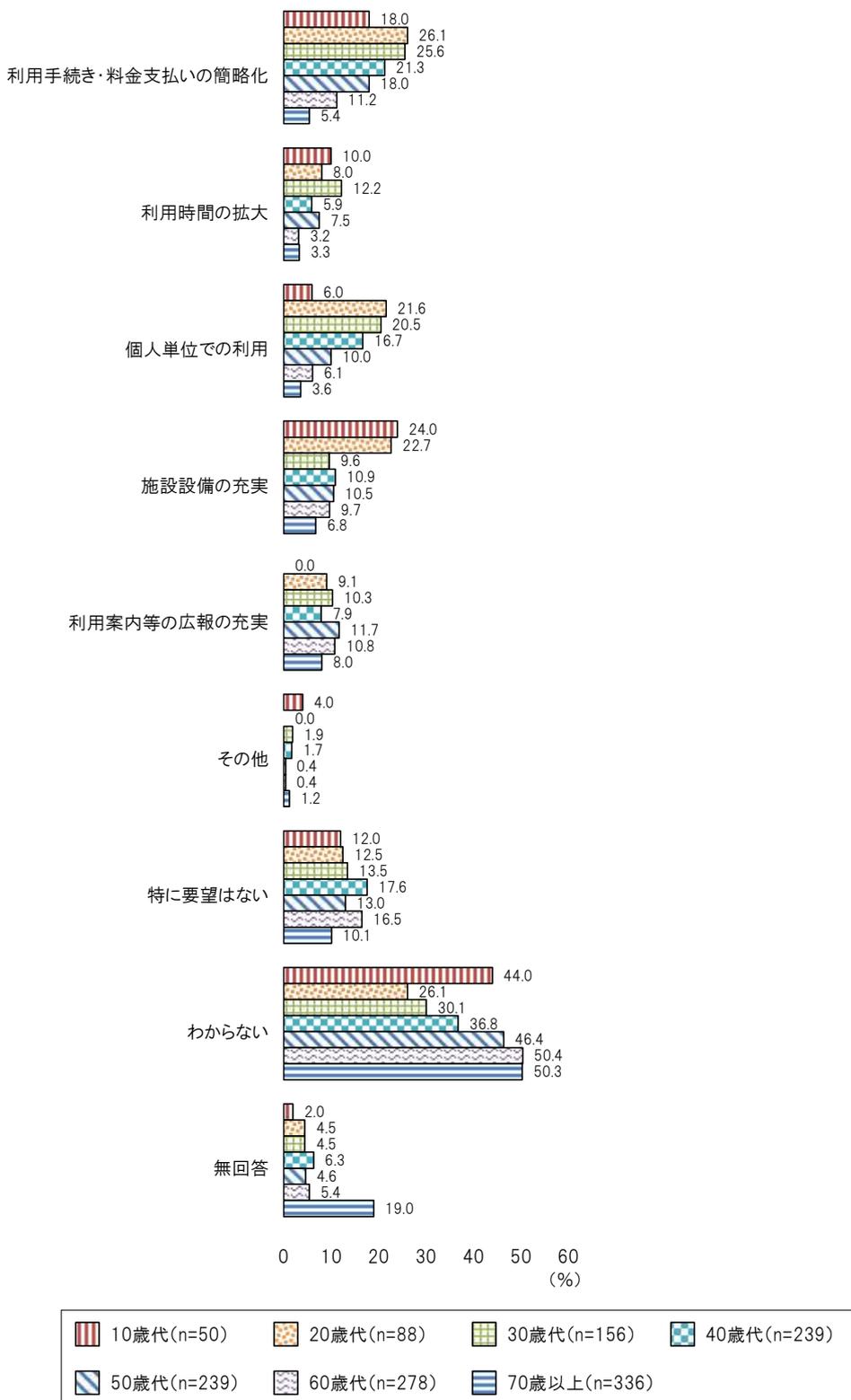
- 空調
- トイレの洋式化。障害者も使用しやすいトイレに。

問23 学校体育施設で充実させる点



年代別にみると、10歳代では「施設設備の充実」が、70歳以上では「利用案内等の広報の充実」が、それぞれ最も高くなっているが、その他の年代ではいずれも「利用手続き・料金支払いの簡略化」が最も高くなっている。また、60歳代以上では「わからない」と答えた人が約50%となっている。

問23 学校体育施設で充実させる点



6. スポーツ推進委員について

6-1 スポーツ推進委員の認知度【問 24】

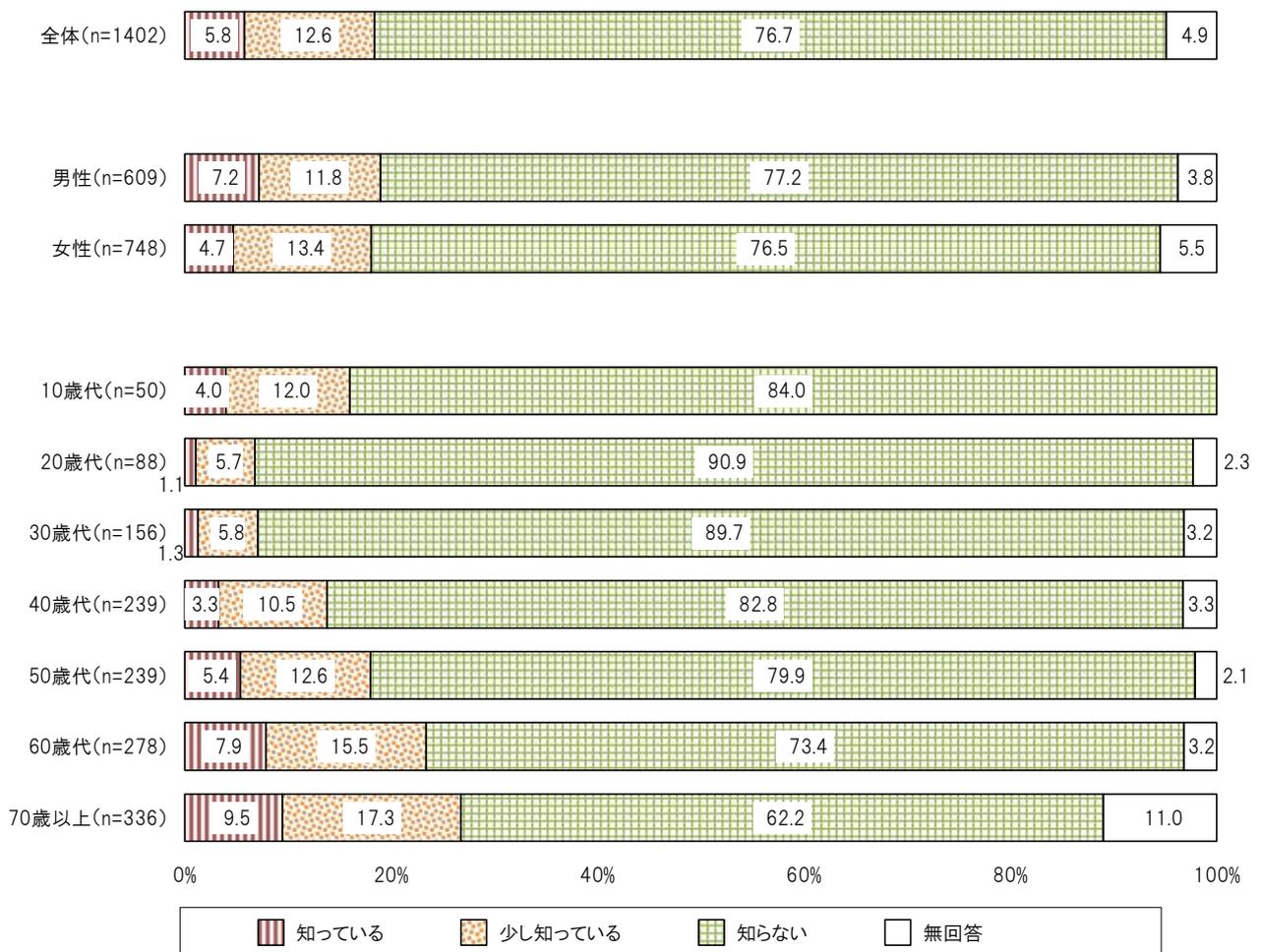
問 24. スポーツ推進委員について知っていますか。（○は1つ）

スポーツ推進委員の認知度については、「知らない」が76.7%で最も高くなっている。次いで「少し知っている（名称を聞いたことがある程度）」は12.6%、「知っている」は5.8%と、合わせて『知っている』人の割合は2割弱となっている。

性別にみると、『知っている』人の割合は男性が19.0%、女性が18.1%と、男性の方が若干高くなっている。

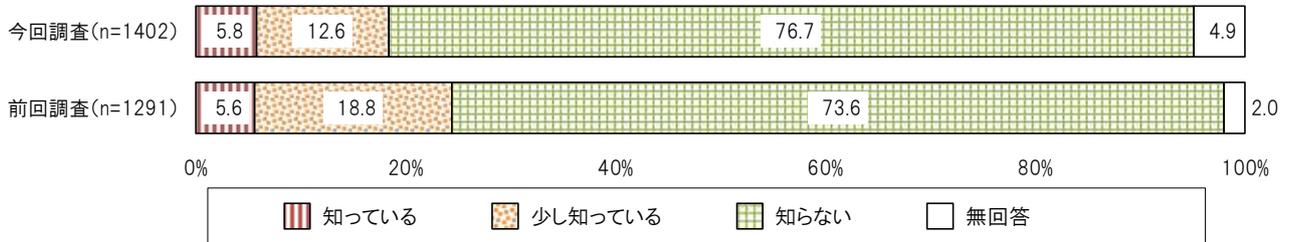
年代別にみると、70歳以上では『知っている』人の割合が26.8%と最も高くなっており、20歳代以上では、年齢が高くなるにつれて認知度も上がっている。

問24 スポーツ推進委員の認知度



前回調査と比較すると、『知っている』人の割合は、前回調査では24.4%であったが、今回調査では18.4%と6ポイント減少している。

問24 スポーツ推進委員の認知度



6-2 今後、力を入れてほしいスポーツ推進委員の活動【問 25】

問 25. 今後、スポーツ推進委員の活動について、どのような点に力を入れてほしいとお考えですか。（○は2つまで）

今後、力を入れてほしいスポーツ推進委員の活動については、「健康や高齢者を対象とした運動・スポーツの充実」が32.7%で最も高く、次いで「誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい」が23.5%、「地域の子どもや幼児の運動・スポーツ指導を充実させてほしい」が22.5%の順となっている。また、「特になし」と答えた人は25.7%となっている。

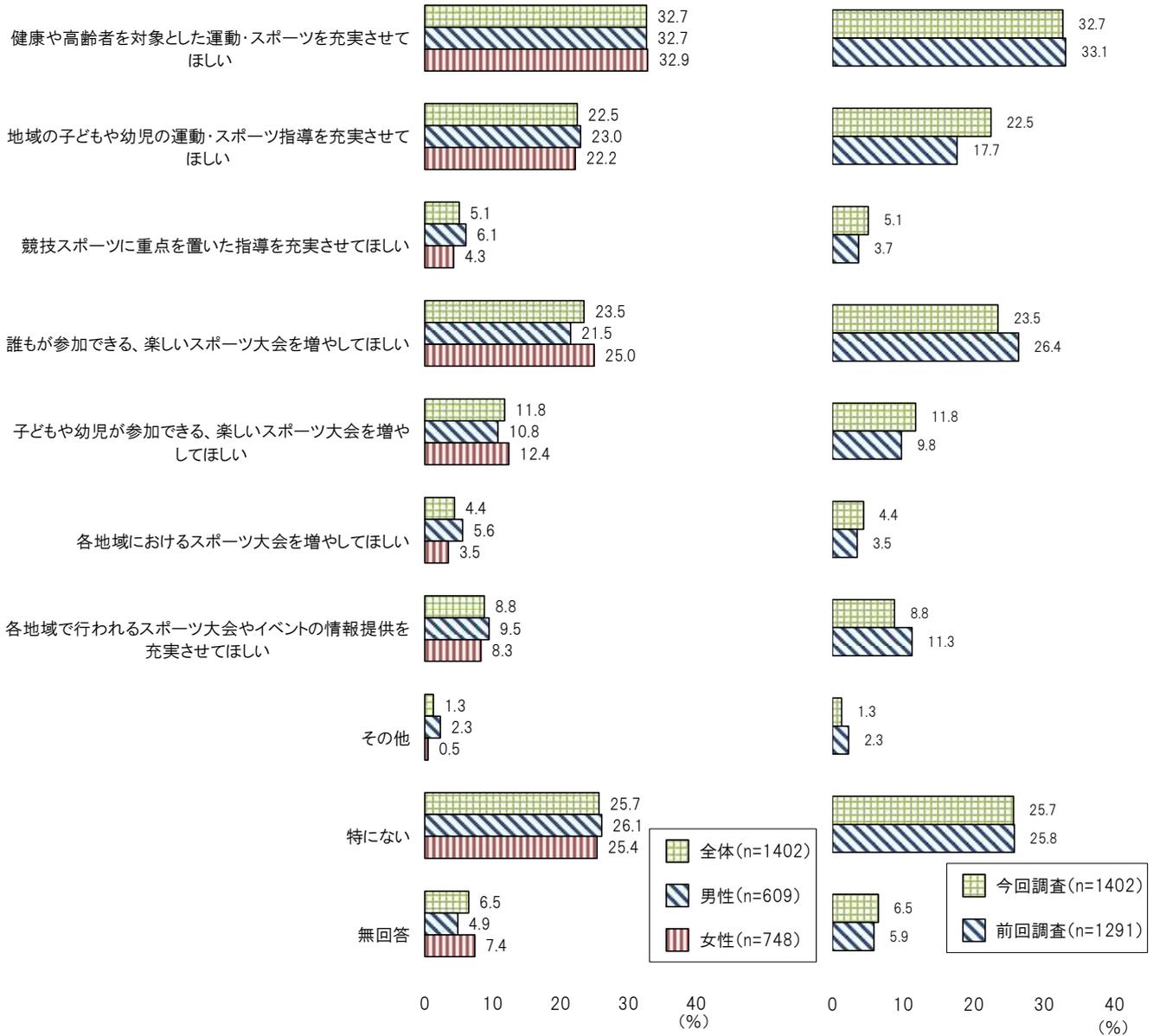
男女ともに「健康や高齢者を対象とした運動・スポーツの充実」が最も高くなっているが、次いで、男性では「地域の子どもや幼児の運動・スポーツ指導を充実させてほしい」、女性では「誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい」の順となっている。

前回調査と比較すると、上位3位までの順位に変わりはないが、「地域の子どもや幼児の運動・スポーツ指導を充実させてほしい」は4.8ポイント、「子どもや幼児が参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい」は2ポイント増加している。一方、「誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい」は2.9ポイント、「各地域で行われるスポーツ大会やイベントの情報提供を充実させてほしい」は2.5ポイント減少している。

【主な「その他」の回答】

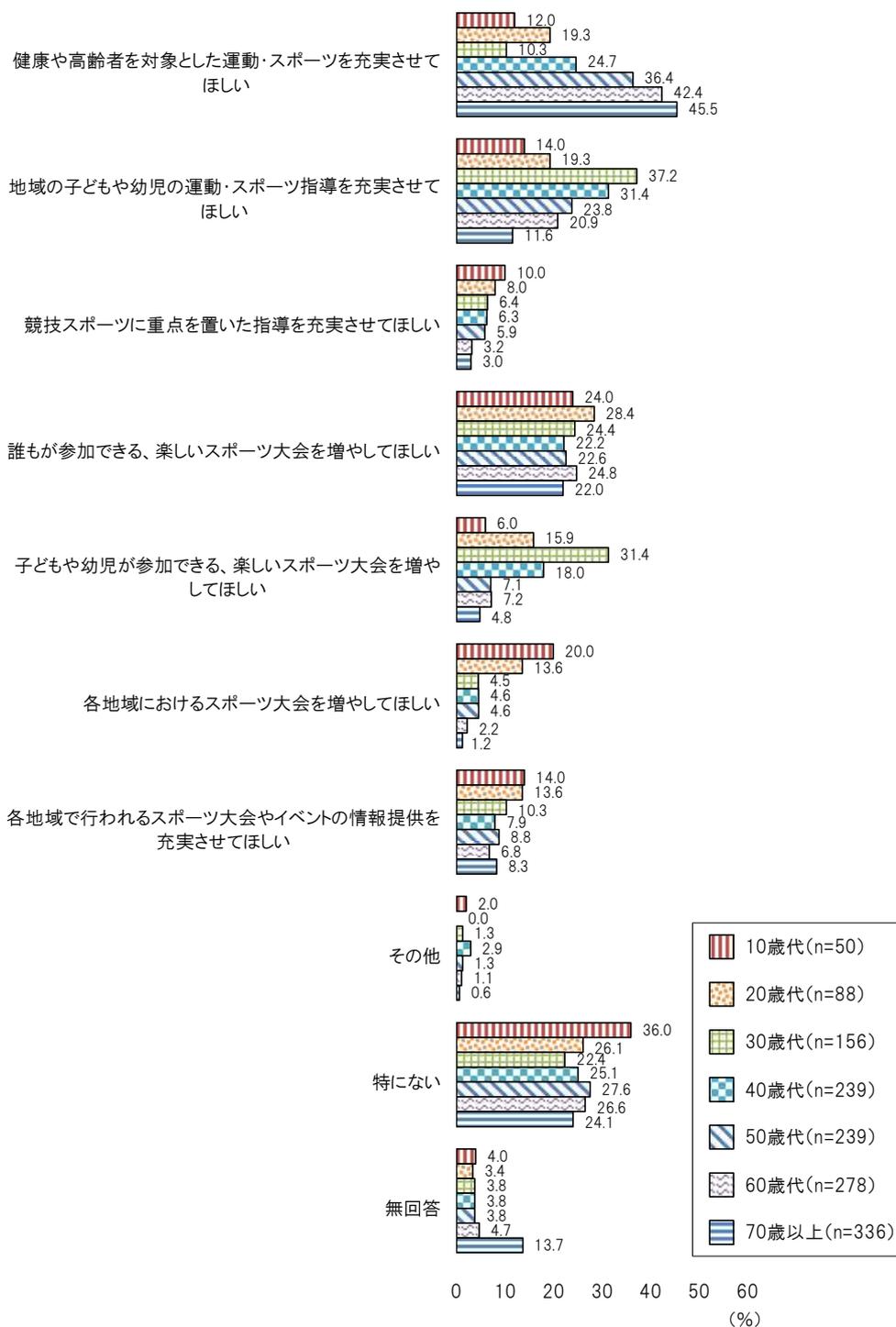
- コロナ禍でも安心安全にできること

問25 今後、力を入れてほしいスポーツ推進委員の活動



年代別にみると、10歳代、20歳代では「誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい」が、30歳代、40歳代では「地域の子どもや幼児の運動・スポーツ指導を充実させてほしい」が、50歳代以上では「健康や高齢者を対象とした運動・スポーツを充実させてほしい」が、それぞれ最も高くなっており、年代によってスポーツ推進委員の活動に求めるものに違いがみられる。

問25 今後、力を入れてほしいのスポーツ推進委員の活動



7. スポーツボランティアについて

7-1 スポーツボランティア活動参加の有無【問 26】

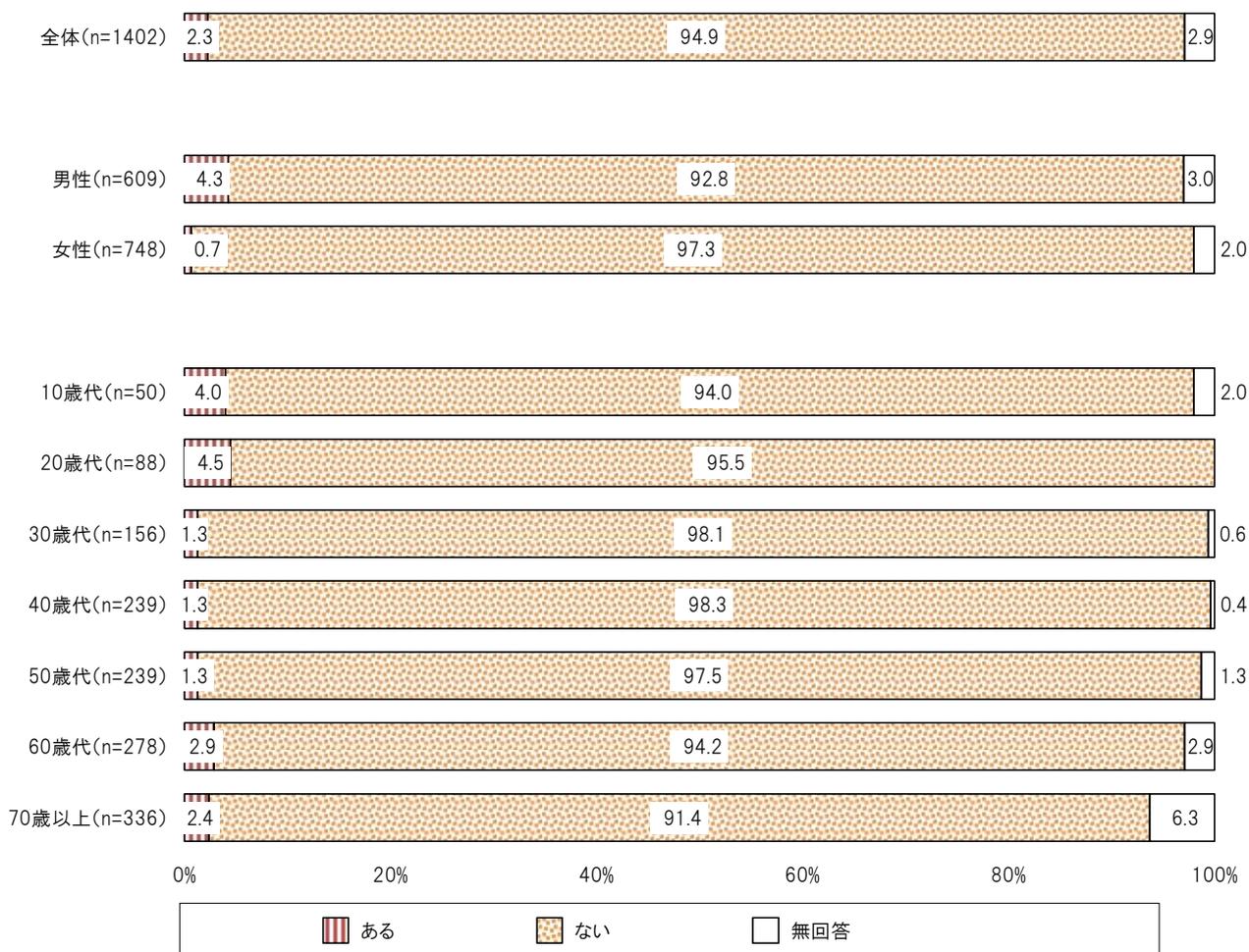
問 26. あなたは、この1年間で運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したことがありますか。（○は1つ）

この1年間の運動・スポーツに関わるボランティア活動参加の有無について訊いたところ、「ある」が2.3%、「ない」が94.9%となっており、9割強の人が、この1年間、運動・スポーツに関わるボランティア活動への参加はなかった。

性別にみると、男性では「ある」が4.3%、女性では0.7%となっており、男性の方が女性より3.6ポイント高くなっている。女性の運動・スポーツに関わるボランティア活動への参加は少ない結果となっている。

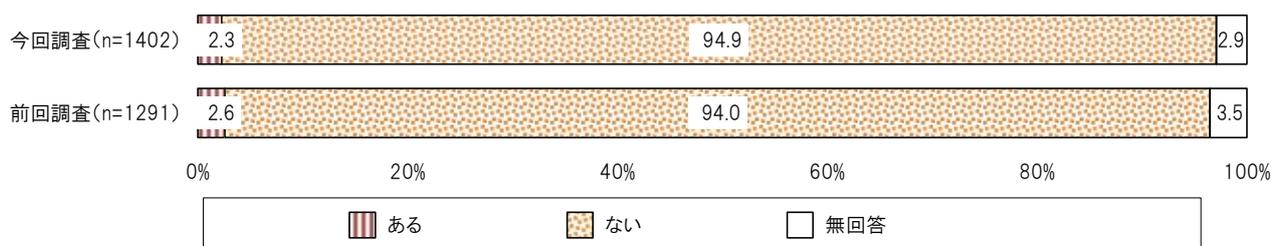
年代別にみると、この1年間で運動・スポーツに関わるボランティア活動への参加があった人の割合は10歳代では4.0%、20歳代では4.5%と、他の年代に比べて高くなっている。

問26 スポーツボランティア活動参加の有無



前回調査と比較すると、この1年間で運動・スポーツに関わるボランティア活動への参加があった人の割合は、前回調査では2.6%であったが、今回調査では2.3%と若干減少しているものの、ほぼ変化はみられない。

問26 スポーツボランティア活動参加の有無



7-2 今後のスポーツボランティア活動への参加意向【問 27・問 27-1】

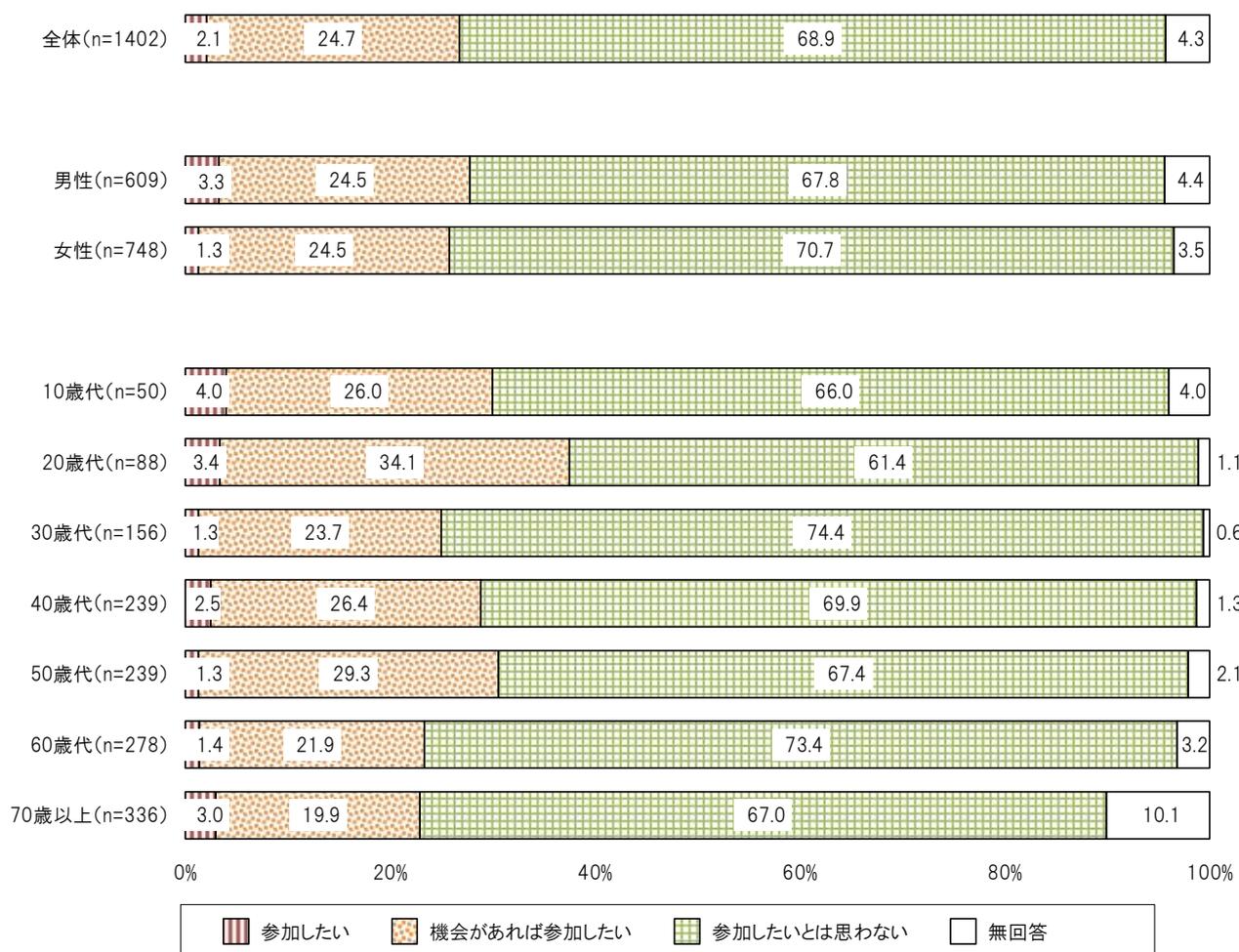
問 27. 今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと思いますか。
(○は1つ)

今後の運動・スポーツに関わるボランティア活動への参加意向について訊いたところ、「参加したいとは思わない」が68.9%と約7割を占めている。次いで「機会があれば参加したい」が24.7%、「参加したい」が2.1%と、合わせて『参加したい』と考えている人は3割弱となっている。

性別にみると、男性では『参加したい』と考えている人の割合は27.8%、女性では25.8%と、男性の方が女性より2ポイント高くなっている。

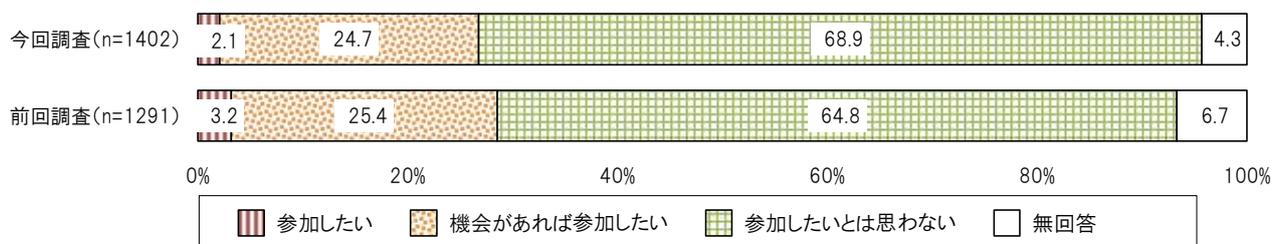
年代別にみると、20歳代で『参加したい』と考えている人の割合が37.5%と最も高く、次いで50歳代となっている。一方、60歳代以上では『参加したい』と考えている人の割合は低くなっている。

問27 今後のスポーツボランティア活動への参加意向



前回調査と比較すると、『参加したい』と考えている人の割合は、前回調査では28.6%であったが、今回調査では26.8%と1.8ポイント減少している。一方、「参加したいとは思わない」は4.1ポイント増加している。

問27 今後のスポーツボランティア活動への参加意向



問27で「1. 参加したい」「2. 機会があれば参加したい」と回答した人にお聞きします。

問 27-1. 今後、行いたいスポーツボランティアは何ですか。（〇は1つ）

今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと考えている人が行いたい活動については、「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」が45.5%で最も高くなっている。次いで「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」が31.6%で続いている。

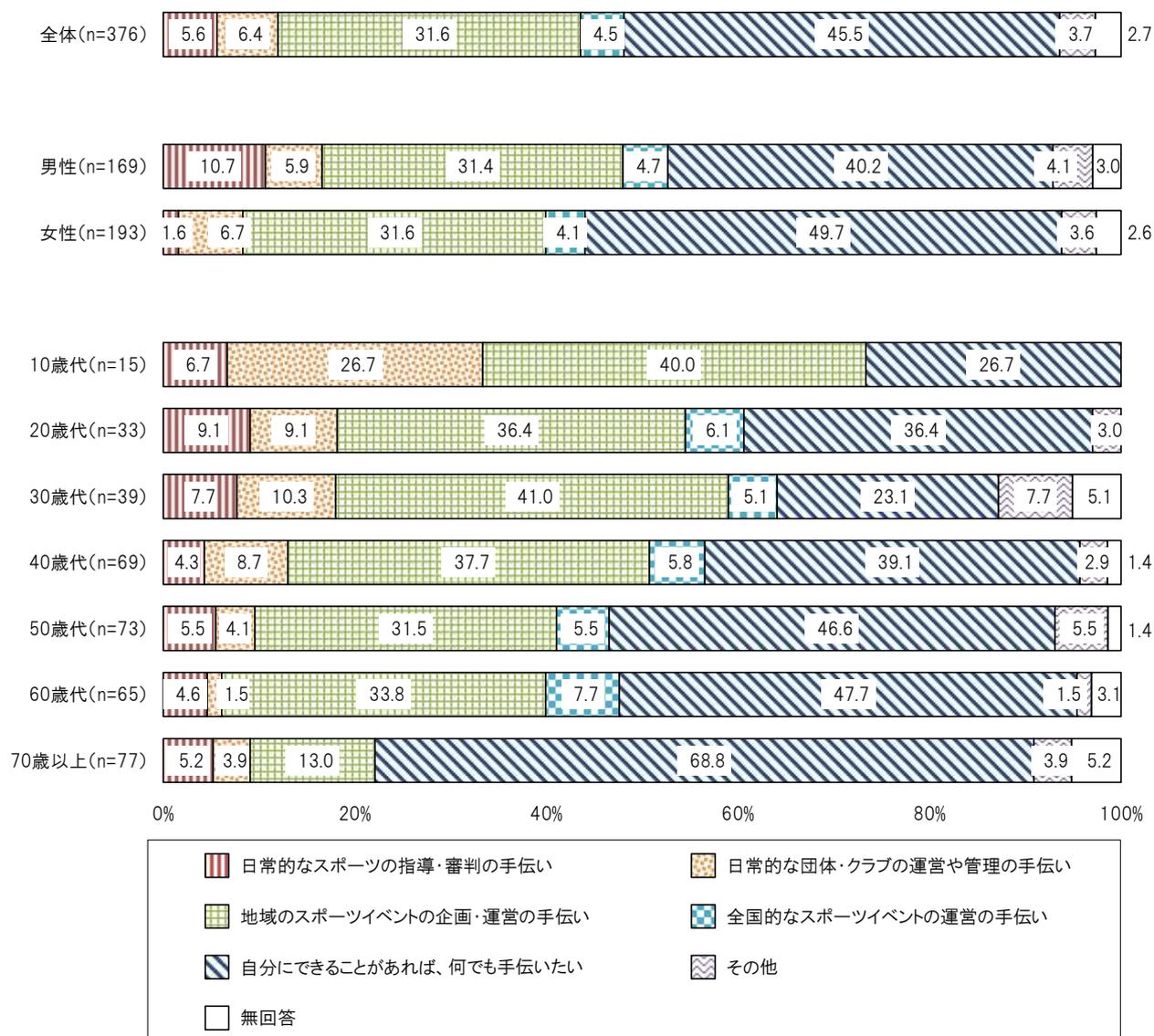
性別にみると、男女ともに上位2位までの順位に変わりはないが、「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」については女性の方が男性よりも9.5ポイント高く、「日常的なスポーツの指導・審判の手伝い」については男性の方が女性よりも9.1ポイント高くなっており、男女間で差がみられる。

年代別にみると、40歳代以上では「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」が最も高くなっている。また、年代が高くなるにつれて、その割合は高くなっている。一方、10歳代と30歳代では「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」が最も高くなっている。20歳代では「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」と「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」は同率となっている。

【主な「その他」の回答】

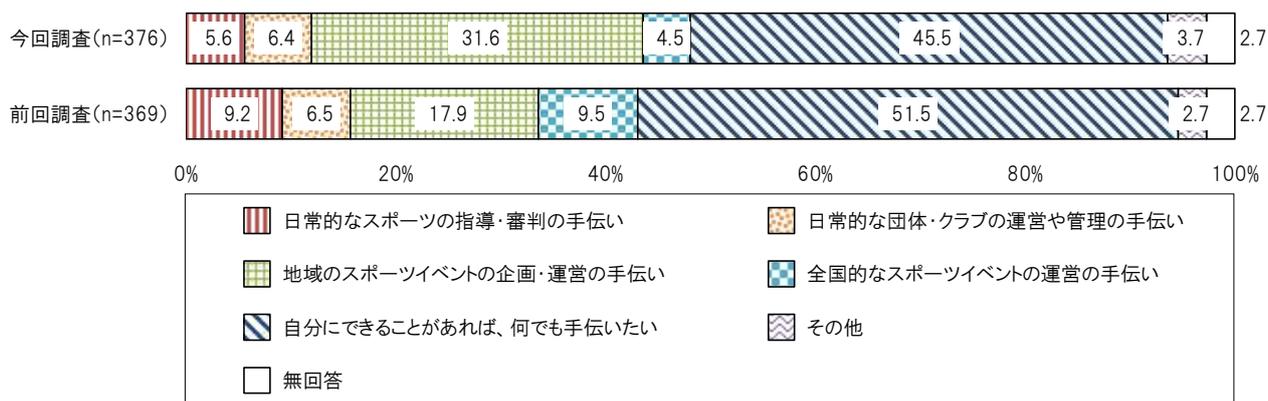
- 子どもの指導、練習のサポート
- 地域主体のスポーツのボランティア活動
- 経験がないので何が出来るかが不安ですが、可能であればお手伝いしたいです。

問27-1 今後行いたいスポーツボランティア活動



前回調査と比較すると、上位2位までの順位に変わりはないが、「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」は13.7ポイント増加している。一方、「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」は6ポイント減少している。

問27-1 今後行いたいスポーツボランティア活動



8. 障がい者スポーツについて

8-1 障がい者スポーツに対する関心度【問 28】

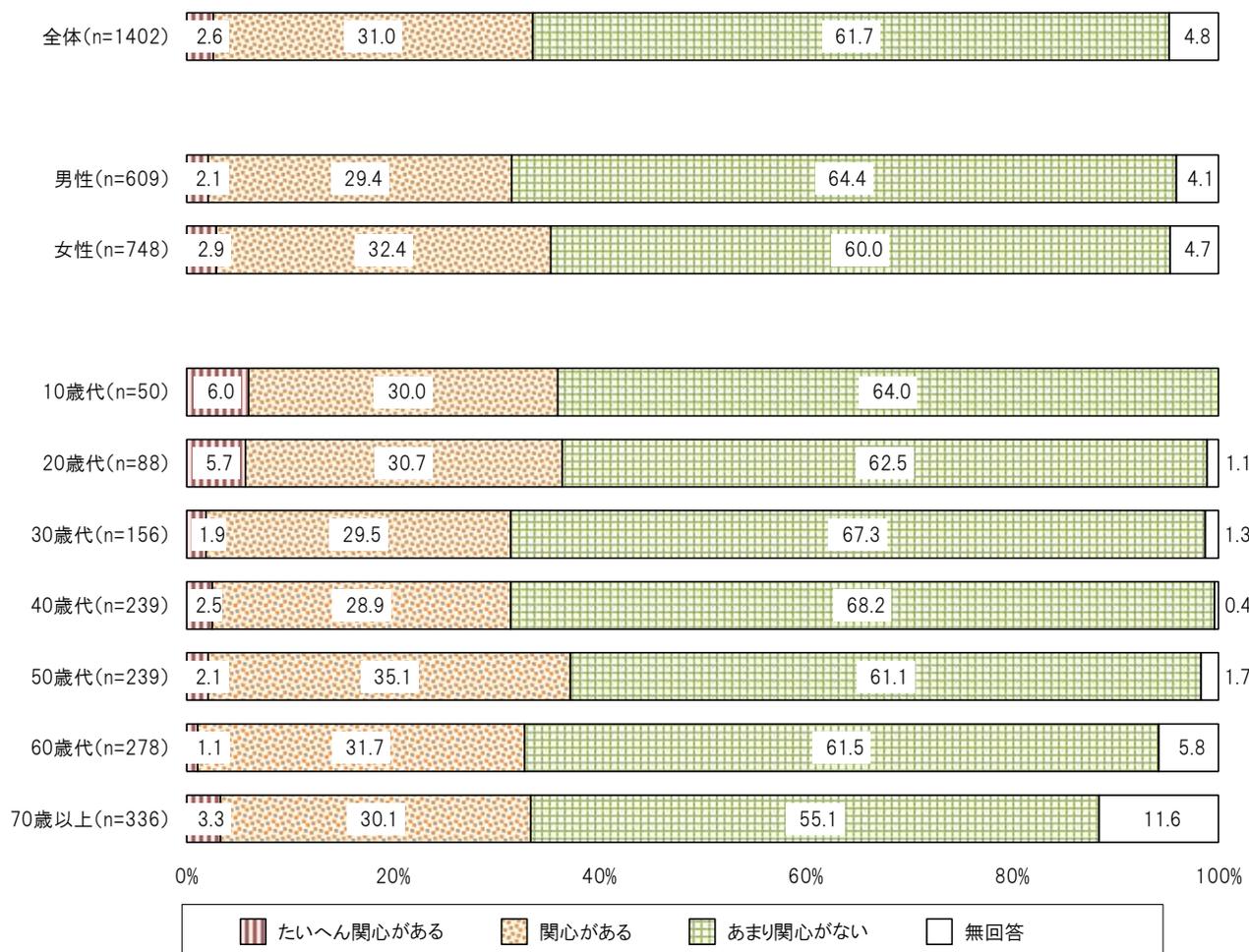
問 28. 障がい者スポーツに関心がありますか。（○は1つだけ）

障がい者スポーツに対する関心度については、「あまり関心がない」が61.7%と約6割を占めている。「関心がある」は31.0%、「たいへん関心がある」は2.6%と、合わせて3割強の人が『関心あり』と答えている。

性別にみると、女性の方が男性よりも『関心あり』の割合が3.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、50歳代では『関心あり』の割合が37.2%で最も高く、次いで20歳代、10歳代となっている。

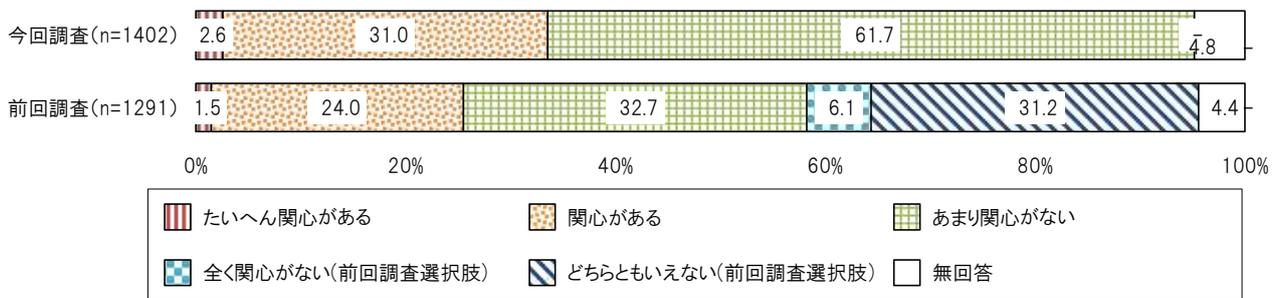
問28 障がい者スポーツに対する関心度



【参考】

前回調査と比較すると、『関心あり』の割合は、前回調査が 25.5%であったのに対し今回調査では 33.6%と、8.1 ポイント増加している。

問28 障がい者スポーツに対する関心度



8-2 障がい者スポーツ普及・振興のために重要な点【問 29】

問 29. 障がいのある人の運動・スポーツの普及・振興のために、主に何が重要であると思いますか。（○は2つまで）

障がい者スポーツの普及・振興のために重要だと思う点について訊いたところ、「既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進」が 35.2%で最も高く、次いで「障がいのある人も参加できるスポーツ大会の開催」が 23.6%、「障がい者スポーツについて学ぶ機会の提供」が 17.1%の順となっている。また、「わからない」と答えた人は 23.4%となっている。

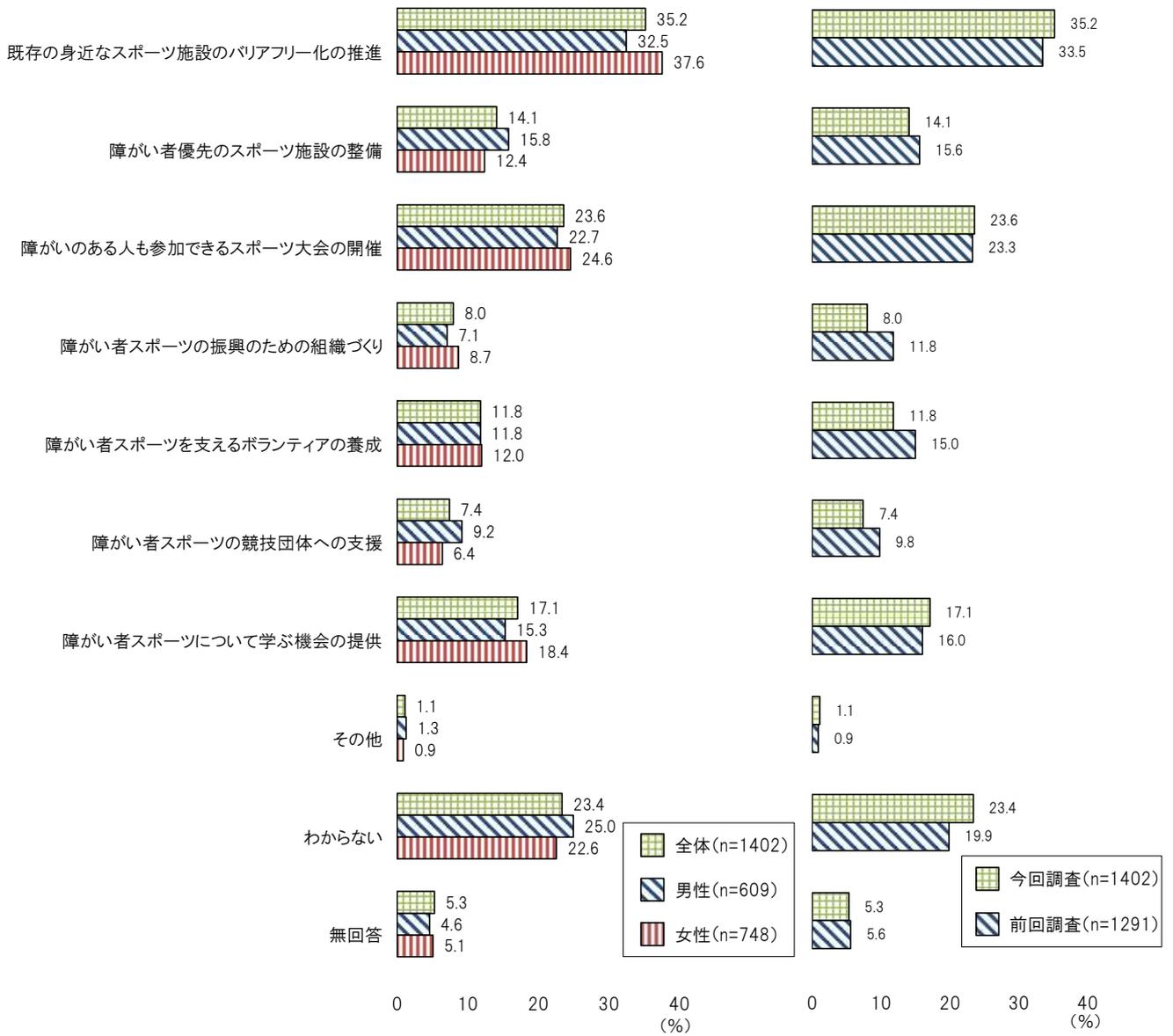
性別にみると、男女とも上位2位までの順位に変わりはないが、男性では「障がい者優先のスポーツ施設の整備」が、女性では「障がい者スポーツについて学ぶ機会の提供」が続いている。また、「既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進」については女性の方が男性よりも 5.1 ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、各順位に変わりはないが、「既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進」が 1.7 ポイント増加した一方、「障がい者スポーツの振興のための組織づくり」は 3.8 ポイント、「障がい者スポーツを支えるボランティアの養成」は 3.2 ポイント減少している。

【主な「その他」の回答】

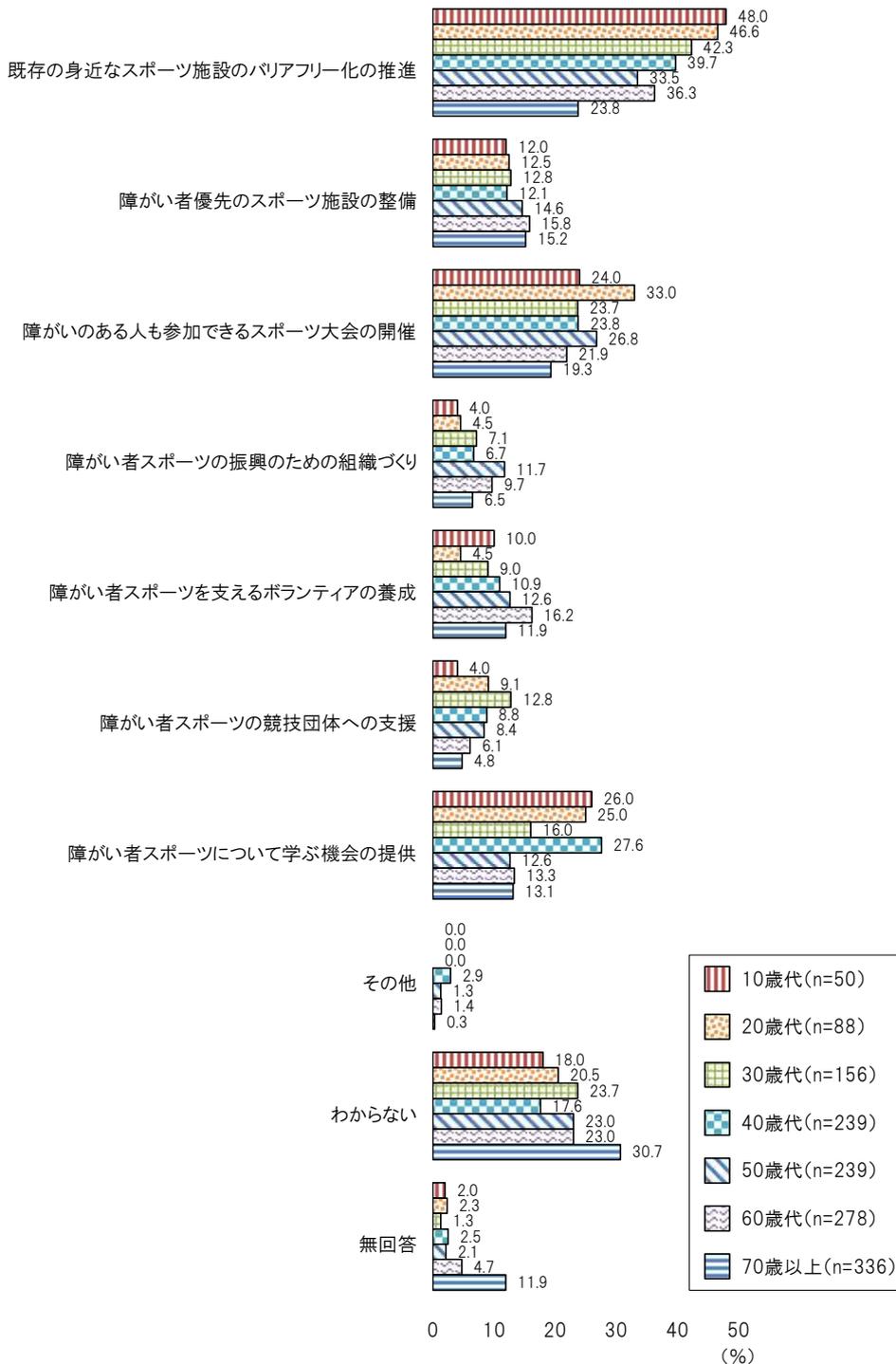
- 障がい者だけでなく、みんなが使えると良い。
- 障がい者との関わりの場を増やす活動

問29 障がい者スポーツ普及・振興のために重要な点



年代別にみると、どの年代でも「既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進」が最も高く、30歳代以下では特に40%を超えて高くなっている。次いで、10歳代と40歳代では「障がい者スポーツについて学ぶ機会の提供」が、その他の年代では「障がいのある人も参加できるスポーツ大会の開催」が続いている。

問29 障がい者スポーツ普及・振興に重要な点



9. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について

9-1 今後、松阪市がめざすスポーツに対する考え方【問 30】

問 30. 今後、松阪市が“めざすスポーツ”として、どのように考えたらよいと思いますか。（○は1つ）あなたの意見に最も近いものに○印をつけてください。

今後、松阪市が“めざすスポーツ”として、どのように考えたらよいかを訊いたところ、「誰もが参加できるスポーツの提供」が28.9%で最も高く、次いで「レクリエーションやスポーツイベントの提供」が25.2%、「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」が21.4%の順となっており、3つの意見に分れている。さらに、「競技スポーツの充実（個人などの能力向上、心身を鍛える。特に子どもや若年者などに）」は12.1%となっている。

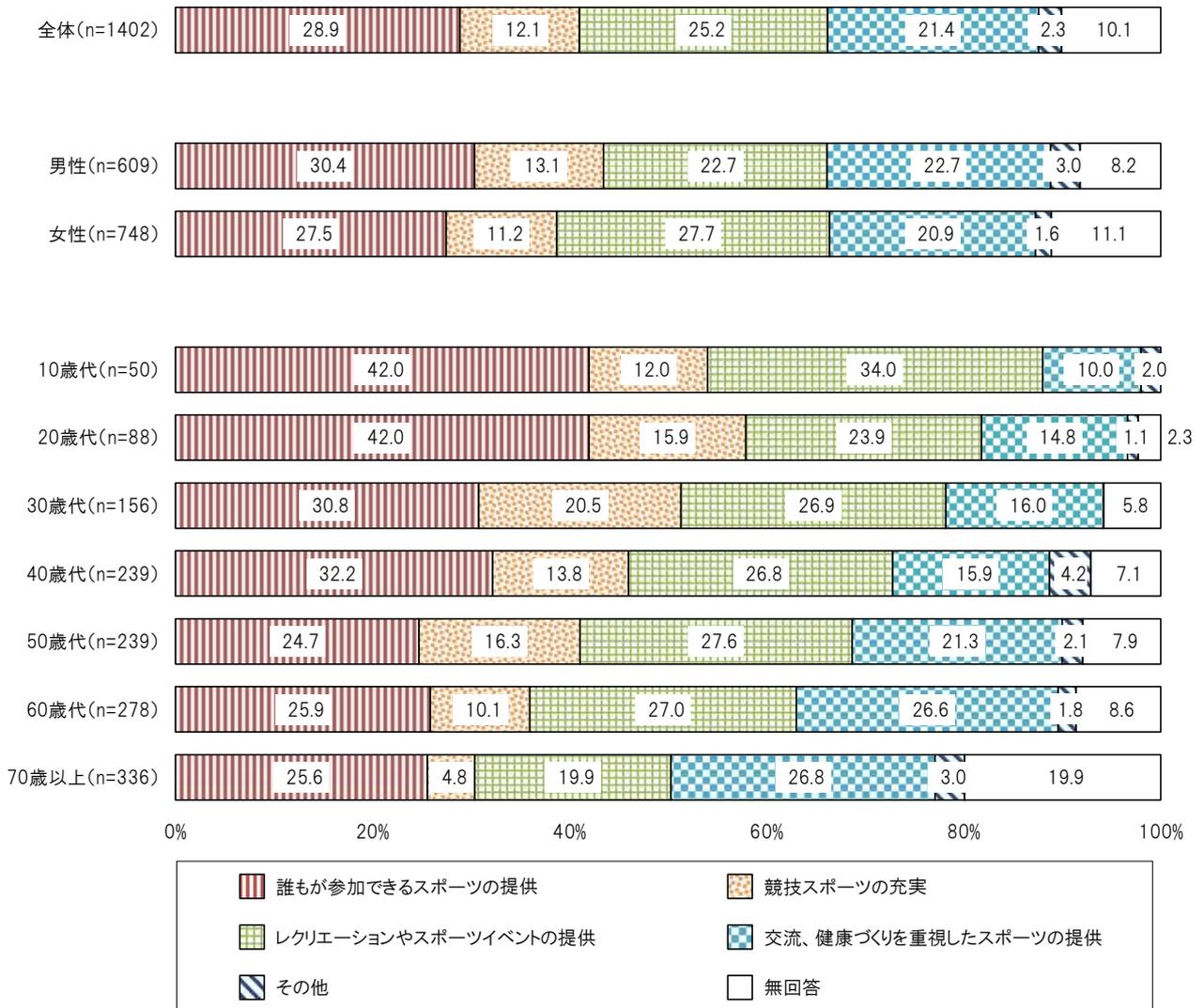
性別にみると、男性では「誰もが参加できるスポーツの提供」、女性では「レクリエーションやスポーツイベントの提供」が最も高くなっている。次いで男性では「レクリエーションやスポーツイベントの提供」、女性では「誰もが参加できるスポーツの提供」が続いているが、男性では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」も同率で高くなっている。また、女性では、「レクリエーションやスポーツイベントの提供」が男性より5ポイント高く、男女間で差がみられる。

年代別にみると、70歳以上では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」が、50歳代と60歳代では「レクリエーションやスポーツイベントの提供」が、40歳代以下では「誰もが参加できるスポーツの提供」が、それぞれ最も高くなっており、年齢層により重視する点に違いがみられる。

【主な「その他」の回答】

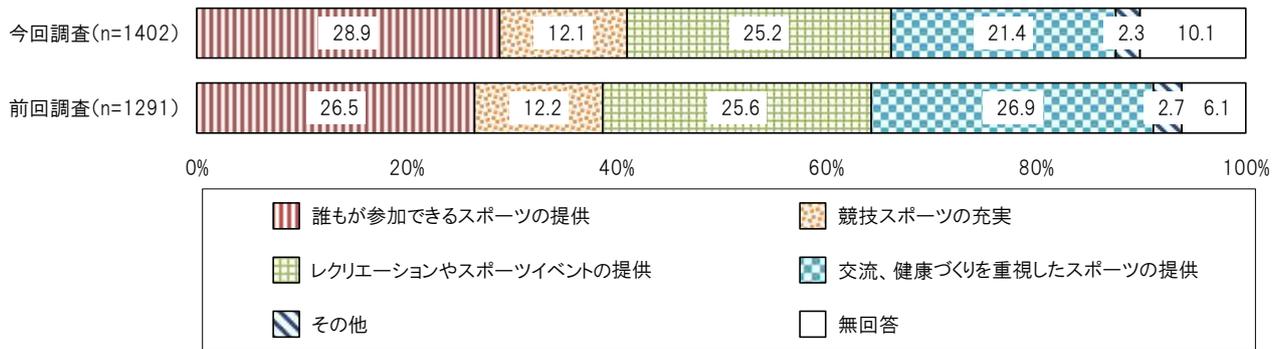
- 親子で参加や取り組めるスポーツの提供
- 健康増進に資するものとする。

問30 今後、松阪市がめざすスポーツに対する考え方



前回調査と比較すると、前回1位だった「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」は5.5ポイント減少し、前回2位だった「誰もが参加できるスポーツの提供」が2.4ポイント増加し、1位となっている。

問30 今後、松阪市がめざすスポーツに対する考え方



9-2 今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策【問 31】

問 31. 今後、スポーツ振興のために、松阪市として特にどのような施策に取り組むべきだと思いますか。（〇は3つまで）

今後、松阪市がスポーツ振興のために取り組むべき施策について訊いたところ、「スポーツ施設の整備・充実」が 33.2%で最も高く、次いで「各年齢層に合ったスポーツ種目の普及」が 24.8%、「小中学校の運動部活動の充実」が 20.5%、「初心者向けスポーツ教室の充実」が 20.3%の順となっている。なお、「特にない」と考えている人は 12.3%となっている。

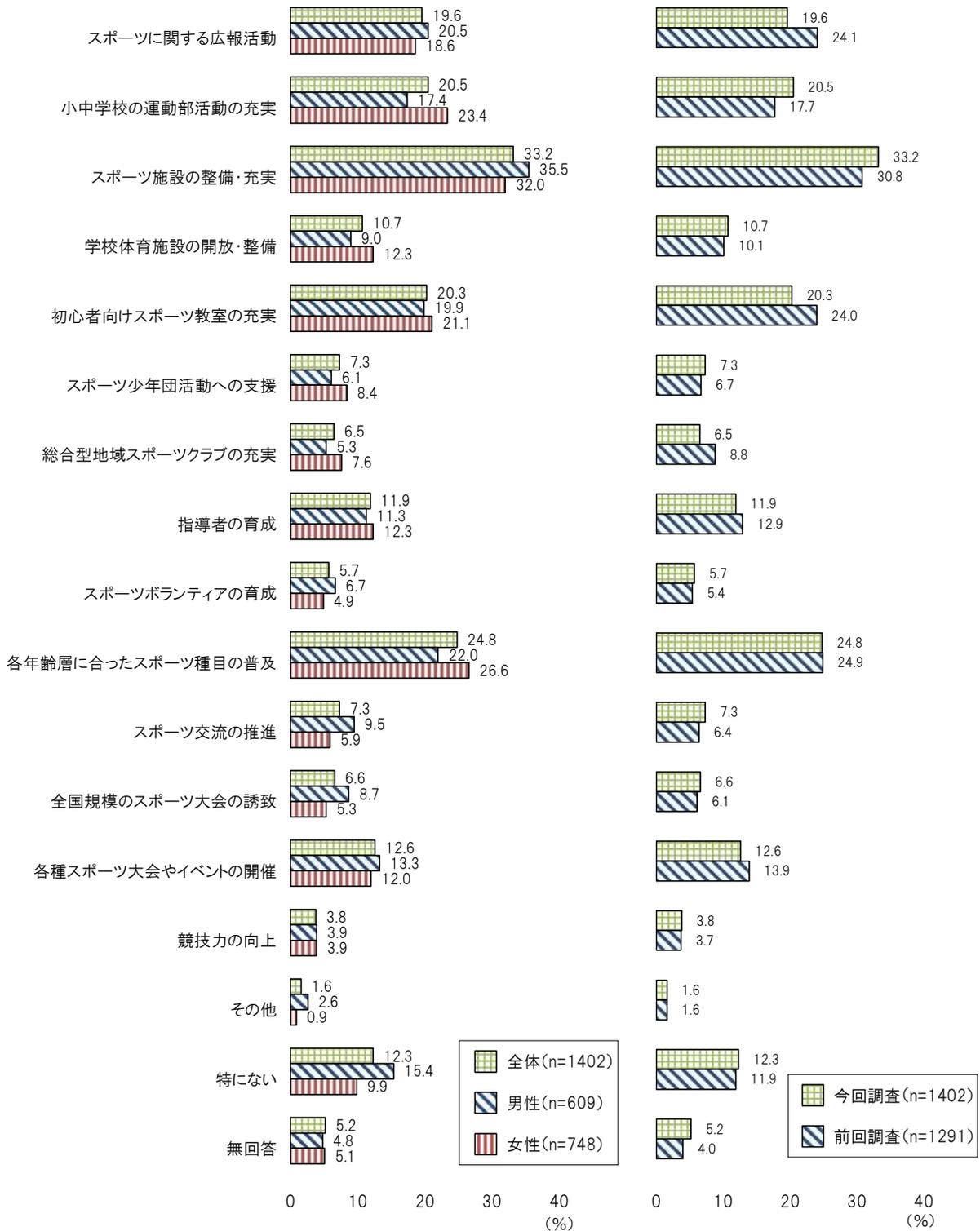
性別にみると、男女ともに「スポーツ施設の整備・充実」が最も高くなっているが、男性 35.5%、女性 32.0%と、男性が女性より 3.5 ポイント高くなっている。また、「スポーツ交流の推進」についても男性が女性より 3.6 ポイント高くなっている。一方、「小中学校の運動部活動の充実」については女性が男性より 6 ポイント高くなっている。その他、「各年齢層に合ったスポーツ種目の普及」、「学校体育施設の開放・整備」、「スポーツ少年団活動への支援」、「総合型地域スポーツクラブの充実」についても、女性の方が男性よりも 2 ポイント以上高くなっており、男女間で差がみられる。

前回調査と比較すると、上位 2 位までの順位に変わりはないが、「スポーツ施設の整備・充実」は 2.4 ポイント増加している。一方、前回 5 位だった「小中学校の運動部活動の充実」は 2.8 ポイント増加し 3 位に、前回 3 位だった「スポーツに関する広報活動」は 4.5 ポイント減少し 5 位となっている。

【主な「その他」の回答】

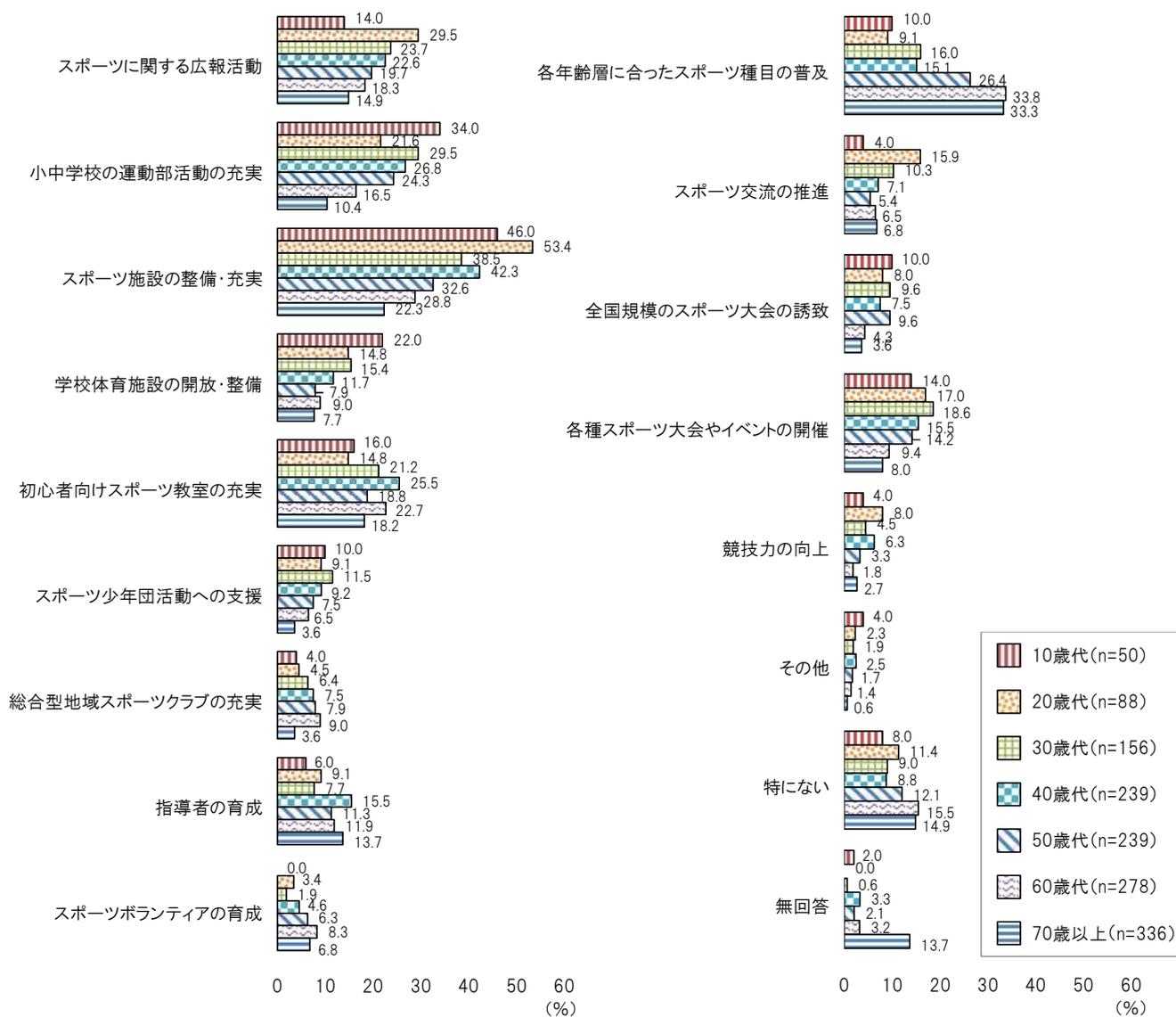
- 健康スポーツ
- 子どもの頃から楽しくスポーツを体験できる機会と学校でのスポーツ指導者の充実
- 指導者への支援

問31 今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策



年代別にみると、60歳代以上では「各年齢層に合ったスポーツ種目の普及」が最も高く、30%を超えている。一方、50歳代以下では「スポーツ施設の整備・充実」が最も高く、特に20歳代では53.4%と高くなっている。

問31 今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策



10. 現在のスポーツ行政に対する評価について

10-1 現在の松阪市のスポーツ政策に対する満足度【問 32】

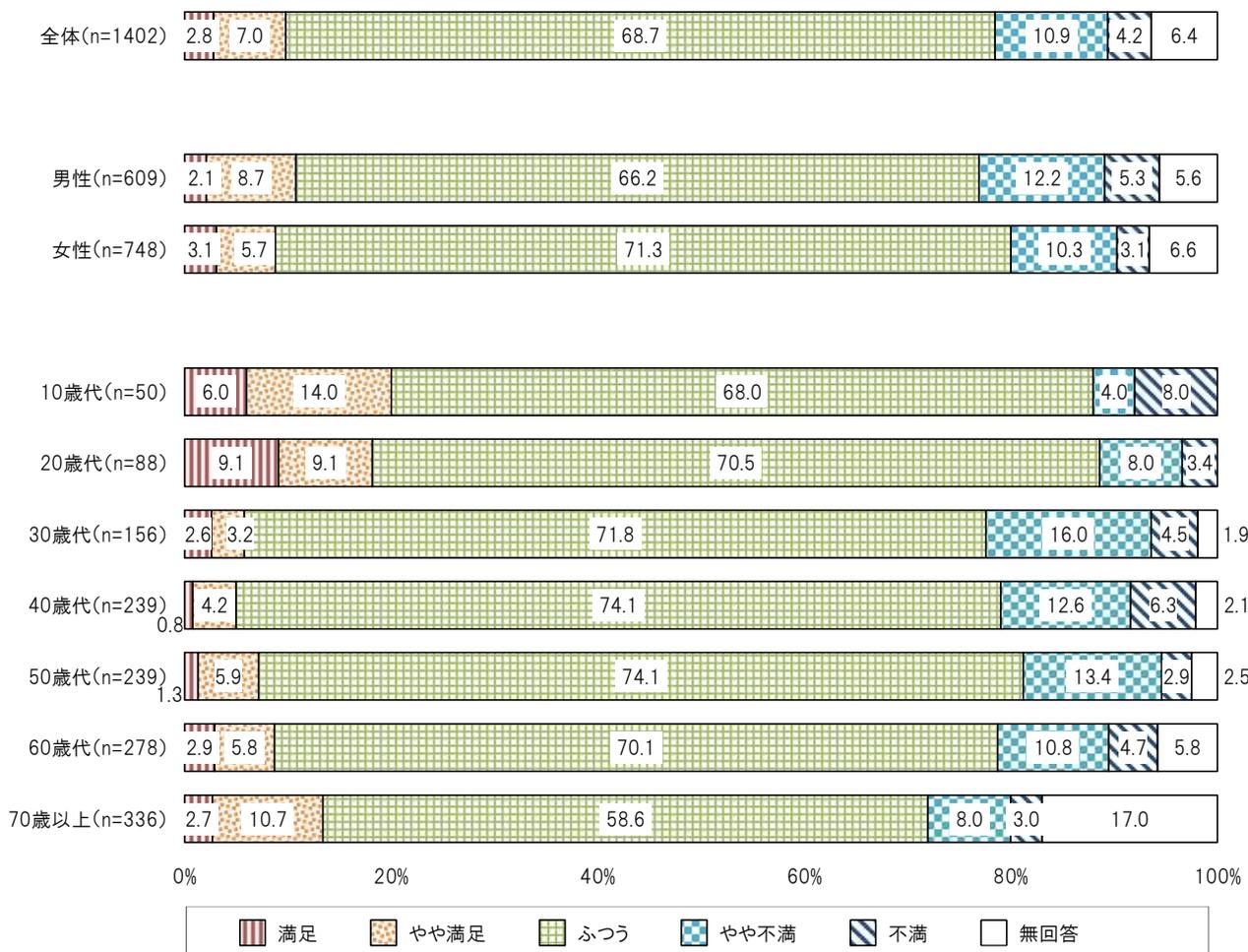
問 32. 現在の松阪市のスポーツに対する政策について、どのように感じていますか。
(○は1つ)

現在の松阪市のスポーツ政策に対する満足度を訊いたところ、「ふつう」が68.7%で最も高くなっている。次いで「やや不満」が10.9%、「やや満足」が7.0%、「不満」が4.2%、「満足」が2.8%の順となっている。「満足」と「やや満足」を合わせた『満足である』とと思っている人は1割弱に留まっている。反対に、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』とと思っている人は2割弱となっており、『満足である』を5.3ポイント上回っている。

性別にみると、『満足である』とと思っている人は男性の方が女性より2.0ポイント高くなっている。また、『不満である』とと思っている人も4.1ポイント高くなっている。

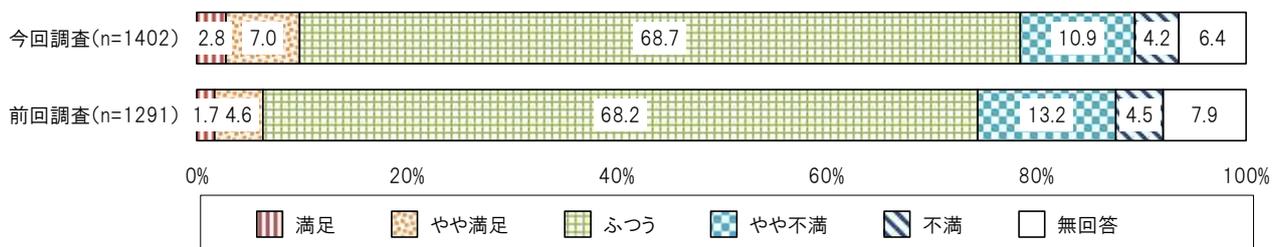
年代別にみると10歳代では『満足である』とと思っている人が20.0%と最も高くなっており、20歳代が続いている。一方、30歳代では『不満である』とと思っている人が20.5%と最も高くなっており、40歳代が続いている。

問32 現在の松阪市のスポーツ政策に対する満足度



前回調査と比較すると、『満足である』と思っている人は前回は6.3%であったのに対し今回は9.8%と、3.5ポイント増加している。

問32 現在の松阪市のスポーツ政策に対する満足度



Ⅲ 自由記述

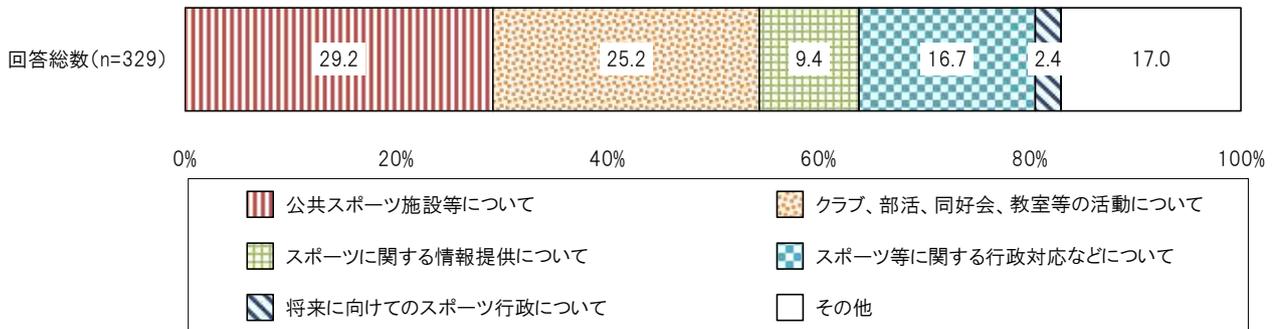
◎運動・スポーツに関してご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

運動・スポーツに関するご意見やご要望などについては、1,402人の回答者のうち310人の方から329件のご意見やご要望などをいただきました。いただきましたご意見やご要望などは、下記に示す6つの項目に分類し、整理いたしました。

【項目別にみる件数】

公共スポーツ施設などのハード面を中心とした「1. 公共スポーツ施設等について」に対する意見が29.2%で最も多く、次いで、日頃の運動やスポーツ活動に関する「2. クラブ、部活、同好会、教室等の活動について」が25.2%となっています。なお、「6. その他」については、アンケート調査に関する意見、回答者自身についての健康状態などが含まれています。

内容項目	件数	構成比
1. 公共スポーツ施設等について	96	29.2%
2. クラブ、部活、同好会、教室等の活動について	83	25.2%
3. スポーツに関する情報提供について	31	9.4%
4. スポーツ等に関する行政対応などについて	55	16.7%
5. 将来に向けてのスポーツ行政について	8	2.4%
6. その他	56	17.0%
合計	329	100.0%



【主な意見】

- 小学生の時に、ソフトテニスクラブを探していたが、よく分からず探せなかった。中学生になってから他中の子たちが小学生の時にソフトテニスのクラブに入ってた事を知った。
小学生にも分かるように、クラブの団体や活動内容を案内してもらえたら、ありがたいなあと思います。
- 全体的に市内のグラウンド、体育館等の施設が少なすぎる為、予約が取りづらく、スポーツをしたくても場所がないのが現場の声です。
もっと大胆な政策をとってもらい、施設の充実を図ってもらいたい。
- 自分の知らない活動があったり、知らない設備もあったりと、知らないことが多かったです。知る機会が増えるといいなと思いました。
- 子ども対象のスポーツ教室はよくあるが、大人対象のスポーツ教室や講座は少ないように感じるので、もっと増やしてほしい。また、受講料は安くしてほしい。
- 仕事をしていてなかなか運動をする機会がなく、運動不足になりがちなので、初心者でも参加しやすいスポーツがあればしてみたいなとは思いました。
- どの種目のスポーツでもそうだが、各レベルに応じた大会やイベントの開催が多くあってもよいと思う。(強いチームが数多く試合に出れるのでなく、総当たり戦などの内容の大会が増えればと思います。)
- 施設がまとまっておらず、また、公共交通機関(電車)から遠い場所が多く、アクセス面が悪いと思います。
- 松阪市として何のスポーツを盛り上げていきたいと考えておられますか?
静岡ならサッカーです。(幼児→小学生→中学→高校と育成プランが整っております。強み：市ができるのは普及活動と思います。)
松阪市の文化としてスポーツを根付かせるには、指導者の確保が必要かと思われまます。企業とコラボして普及活動に力を入れてほしいです。
松阪市で活躍される指導者の紹介を行い、市、企業で協働して、子どもの育成に力を集中してほしいです。
- 鈴鹿にはキングカズが、桑名にはヴィアティン三重(総合型地域スポーツクラブ)が、伊勢志摩には伊勢志摩FCが、と他市は全国的に有名となりつつあるスポーツクラブを有していると感じています。是非、松阪にもこのようなチームが発足し、全国ニュースで名が出る日が来たら嬉しいなと思います。
- コロナ禍において、子どもたちの運動する場がとても限られたものになってきていると感じています。室内ではあまり声を出してはいけない、外に出ると暑さから熱中症のリスクが上がる等、コロナに対してだけではない配慮も必要となってくる為、教育現場でも悩まされていることと思います。日にちが決まっているイベントは、一時のもので、持続性が無いのも特徴なのかなと思います。子どもたちが行きやすく、しっかり体が動かせるような施設があれば良いのにな…と思っています。
- スポーツに関心はあるけれど、子ども(乳幼児)を連れて参加できるものがなく、子育て中はハードルが高く感じます。
また、情報もあまり入って来ないため、せっかくの機会も逃している状態です。そういった辺り、何とかしなければなあと思うことがしばしばあります。
- 各小学校を積極的に開放し、運動場など利用できるようにしてほしい。土日もなかなか利用しにくい

雰囲気です。

家族でハイキングを楽しんでいるが、松阪に色々な気軽に登れる山があり、嬉しい。

- 学校の部活動だけでは十分でないので、それを補うためによりレベルの高い環境で練習出来るようにしてほしいです。そのような施設を作ることで松阪市のスポーツのレベルも上がると思います。
- スケートパークはとても良い施設だと思います。子どもの利用も多く、競技人口の増加に繋がると思っています。このような施設をつくり、中からスター選手が出てくれば、さらにスポーツが盛んになると思います。
- 松阪市にはとても良い運動公園がいろいろありますが、場所（入口など）が分かりにくく感じます。遊園地などに向かう様にはいかず、初めて行くときに到着するまで不安を感じたりしました。市内、外からも一度利用するとリピートしたいと思ってもらえる様な良い施設だと思うので、まずは知ってもらう為の楽しい取り組みをしてみたいと思います。大変だとは思いますが、松阪市が良くなる事を楽しみにしています。
- テニス、野球、サッカー、バスケ等、様々なスポーツ（球技）において、初心者が気軽に練習するところがあまり無いように思います。「試合」まではいかなくても、少し楽しみたい人もいると思うのです。フリーな広場や体育館があったらいいなと思います。公立の小中学校の体育指導者をプロにしたほうがいいと思います。今のままでは、運動嫌いな子は益々離れていってしまうのでは・・・？夏期のプール授業も、民間に委託することを検討されてはいかがでしょうか。各学校のプール維持管理費も高額なのは、
- 運動することは、とても気持ちのよいことで、健康な身体作りには欠かせない事だと思うので、今後、松阪市民が、心も身体もイキイキと過ごせるような運動・スポーツ施設を増やしてほしいです。
- 松阪市はスポーツに対してとても前向きに感じています。このままの意識で取り組んでいただければよいかと思います。
- 専門競技に取り組んでいる選手への支援はもっとあると良いと思います。地域をあげての応援や支援は大変大きな力になると思います。一方で、運動機会が大幅に減っている幼、小学生への積極的な（スポーツに関心を持つための）働きかけも必要だと思います。多くの体験会や気軽に参加できるイベントがもっとあればと思います。
- 施設・広報・支えるのバランスが重要かと思います。
 - ・ 施設ばかり作っても使う人が一部では、せっかくの企画も知らない人がいたらもったいないです。
 - ・ 支える人々の育成も重要。しかし、一歩前に踏み出せない人々を、どうしていくか、そこまでしなくてもよいかもしれませんが、スポーツができる（うまいという意味でなく）人、したい人、見たい人、支えたい人、全てもボトムアップが必要か。
- 幼少期、もっといろんなスポーツを体験させてあげられるシステムがあればよかったのにと感じました。
- 多くの人々がスポーツに触れあえる環境づくり、スポーツに参加する、見て応援する、何でも良いので地域全体で盛り上げていきましょう。
※全国レベル、世界レベルの競技を身近で見たい。
- スポーツを通じた街づくり。特にフルマラソンは、全国より競技者が集うので是非希望を持っています。

す。盛り上げていきたいものです。

- スポーツ推進委員、同好会などあまり知られていないと思いますので、もっともっとPRして、みんながスポーツ推進委員、同好会など、知っている様にしていって下さい。
参加する人が増えると思います。
- とにかく市内に分散している施設を市民が利用しやすくするために、市内の利便性の高い場所に集約し、維持管理費を節約する事により、少しでも市の財政負担を減らしてください。
- スポーツに力を入れている市だと思いますが（転入組です）認知度が低いと思います。簡易的な紹介、又、内容紹介等発信されると良いと思います。
- 松阪市はスポーツ的な環境に恵まれていると思います。但し、高齢化が進む中で必要とする施設が変わってくるのでは？
種目にこだわらず、多岐にわたり利用できる総合的な施設を1ヶ所に集中して整備し、管理は民間等に委託するのがよいと考えます。
集客力はやはり民間のほうが優れていると。
- 厳しい予算の中でマラソン大会、スケートボード大会の開催等、地域性を生かした取り組みについて維持を願いたい。

IV 調査票

「松阪市運動・スポーツに関する 市民意識調査」

へのご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、このアンケートは、市民の皆さまの運動・スポーツに関する意識や考えなどについてお聞きし、平成 29 年に策定しました「松阪市スポーツ推進計画」の見直しの参考とさせていただくために、実施することといたしました。

アンケートの結果は、今後のきめ細かな市政運営のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、各個人のお名前やご意見が特定されることはございません。

令和 4 年 7 月

松阪市長 竹上 真人

【対象】 松阪市にお住いの 16 歳以上の市民の中から無作為に選んだ 3,000 人

※必ず封筒のあて名のご本人がご回答ください。

※介護が必要な状態、病院に入院中などでご本人が回答できない場合は、お答えいただかなくてもかまいません。なお、その場合でもお礼状が届きますのでご了承ください。

【期限】 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて令和 4 年 8 月 22 日（月）までに、郵便ポストに投函してください。（氏名、住所をご記入いただく必要はありません）

【お問い合わせ】

調査実施主体：松阪市教育委員会事務局スポーツ課

〒515-8515 松阪市殿町 1315 番地 3

電話 0598-53-4402 FAX0598-25-0133

運動・スポーツに関する市民意識調査票

あてはまる番号に○印をつけてください。()内には数字、具体的な名称などを記入してください。

最初に、あなたご自身のことについておたずねします。

○各項目について、あなた自身が該当するものをそれぞれ1つずつ選び○をつけてください。

(1)あなたの性別	()	よろしければ、あなたの性別を左の()にお答えください
(2)あなたの年齢	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代	4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上
(3)あなたのご職業	1. 自営業（農林水産業などに従事する方も含みます） 2. 会社員（公務員・会社役員・専門職も含みます） 3. 学生・専門学校生 4. アルバイト・パート 5. 無職（家事に従事する方も含みます） 6. その他（具体的に)	
(4)あなたのお住まい	1. 本庁管内(旧松阪市) 2. 嬉野管内 3. 三雲管内	4. 飯南管内 5. 飯高管内
(5)学生時代のスポーツ経験の年数 ^(※1)	1. 特にない 2. 1 年未満	3. 1～3 年未満 4. 3～6 年未満 5. 6 年以上

(※1)学生時代（小学校・中学校・高校など）のクラブ活動やスポーツ少年団活動などの活動年数をご記入ください。

《 1. あなたご自身の健康状態について》

問 1. あなたはご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 健康である | 3. あまり健康ではない |
| 2. おおむね健康である | 4. 健康でない (病気療養中も含む) |

問 2. あなたはご自身の体力についてどのように思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 自信がある | 3. やや不安である |
| 2. 少し自信がある | |

《 2. スポーツ活動の状況について》

問 3. あなたは、運動・スポーツに関心がありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. たいへん関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 関心がある | |

問4. この1年間で、下記に示すような運動やスポーツを行っていますか。行った運動やスポーツのあてはまる番号に、すべて○印をつけてください。(○はいくつでも)
運動やスポーツを行っていない人は、「40. 特にない」に○印をつけてください。

◎学生の場合は、通っている学校の体育授業は除いて、お答えください。

◆手軽にできる運動やスポーツ

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. ウォーキング (散歩含む) | 8. 軽い球技 (キャッチボールなど) |
| 2. ランニング、ジョギング | 9. 水泳、水中ウォーキング |
| 3. 体操 (健康体操・美容体操など) | 10. ボウリング |
| 4. ダンス、エアロビクス | 11. ソフトバレーボール |
| 5. 社交ダンス、踊り | 12. ゲートボール |
| 6. ヨガ、太極拳 | 13. グラウンドゴルフ |
| 7. ジムトレーニング | 14. その他軽スポーツ (具体的に) |

◆競技的スポーツ

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 15. 陸上競技 (マラソン含む) | 23. ハンドボール |
| 16. 野球、ソフトボール | 24. 卓球 |
| 17. サッカー・フットサル | 25. 競泳 (水泳競技) |
| 18. ラグビー、アメリカンフットボール | 26. 弓道、アーチェリー |
| 19. テニス、ソフトテニス | 27. 剣道、柔道、相撲、レスリング |
| 20. バドミントン | 28. 空手、拳法、合気道 |
| 21. バレーボール | 29. その他の競技的スポーツ |
| 22. バスケットボール | (具体的に) |

◆野外スポーツ

- | | |
|----------------|----------------------|
| 30. ゴルフ | 35. カヌー、ボート |
| 31. 登山、ハイキング | 36. サーフィン、スキューバダイビング |
| 32. サイクリング | 37. 乗馬 |
| 33. スキー、スノーボード | 38. キャンプなど野外活動 |
| 34. アイススケート | 39. その他 (具体的に) |

40. 特にない →問5へお進みください (次ページへ)

問4で運動・スポーツを行っているとお答えした人にお聞きします。

(問4で1～39のいずれかに○印をつけた人)

問4-1. あなたは普段、問4であげられるような運動・スポーツを、どの程度行っていますか。いろいろなスポーツを行っている人は、トータルで (合わせて) お答えください。

(○は1つだけ)

◎学生の場合は、通っている学校の体育授業は除いて、お答えください。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 週に1回 | 7. 年に6～10回 |
| 2. 週に4～5回 | 5. 月に2～3回 | 8. 年に1～5回 |
| 3. 週に2～3回 | 6. 月に1回 | |

問 4-2. 運動やスポーツを行う主な目的は何ですか。(○は2つまで)

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 健康・体づくり | 5. 友人や仲間との交流 |
| 2. 楽しみ・気晴らし(スポーツが好きだからも含む) | 6. 家族とのふれあい |
| 3. 運動不足解消 | 7. 美容・ダイエット |
| 4. 自分の記録や能力の向上 | 8. 精神修養や訓練 |
| | 9. その他(具体的に) |

問 4-3. あなたは、主に誰と運動・スポーツをしていますか。(○は2つまで)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 自分ひとり | 4. 学校・職場以外の友人や知人 |
| 2. 家族・親戚 | 5. クラブ・サークルの仲間 |
| 3. 学校・職場の友人や知人 | 6. その他(具体的に) |

→問 7へお進みください。(次ページへ)

問 4で「40. 特にない」と回答された方にお聞きします。

問 5. 運動やスポーツを行わない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 仕事などで忙しく時間がない | 8. 始めるきっかけがない |
| 2. 病気、高齢などの身体的な理由 | 9. スポーツに関する情報がない |
| 3. 場所や施設が近くにない | 10. 苦手、嫌い、興味がない |
| 4. 施設などの利用時間が合わない | 11. 新型コロナウイルスに感染することが心配だから |
| 5. 一緒にする仲間がいない | 12. その他(具体的に) |
| 6. 指導者がいない | 13. 特に理由はない |
| 7. お金がかかる | |

問 6. 今後、どのような点が変われば運動やスポーツを行うようになると思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1. 休暇が増えれば | 10. 早朝や夜間に施設が利用できれば |
| 2. 勤務時間が減れば | 11. 情報が入手しやすくなれば |
| 3. 育児や家事が軽減されれば | 12. 気軽に参加できるイベントがあれば |
| 4. 保育環境が整えば | 13. 生活費にゆとりがあれば |
| 5. 一人で気軽にできれば | 14. 体力や健康に不安がなくなれば |
| 6. 一緒に行く仲間ができれば | 15. 新型コロナウイルスに感染するリスクが下がれば |
| 7. 教えてくれる人がいれば | 16. その他(具体的に) |
| 8. 近所など通いやすい場所であれば | 17. 特にない(運動やスポーツを行うつもりはないも含む) |
| 9. 利用料金や参加料金が安くなれば | |

すべての方にお聞きします。

問7. 今後、主に行いたい(続けていきたい)運動やスポーツは何ですか。(○は3つまで)
運動やスポーツのあてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

◆手軽にできる運動やスポーツ

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. ウォーキング(散歩含む) | 8. 軽い球技(キャッチボールなど) |
| 2. ランニング、ジョギング | 9. 水泳、水中ウォーキング |
| 3. 体操(健康体操・美容体操など) | 10. ボウリング |
| 4. ダンス、エアロビクス | 11. ソフトバレーボール |
| 5. 社交ダンス、踊り | 12. ゲートボール |
| 6. ヨガ、太極拳 | 13. グラウンドゴルフ |
| 7. ジムトレーニング | 14. その他軽スポーツ(具体的に) |

◆競技的スポーツ

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 15. 陸上競技(マラソン含む) | 23. ハンドボール |
| 16. 野球、ソフトボール | 24. 卓球 |
| 17. サッカー・フットサル | 25. 競泳(水泳競技) |
| 18. ラグビー、アメリカンフットボール | 26. 弓道、アーチェリー |
| 19. テニス、ソフトテニス | 27. 剣道、柔道、相撲、レスリング |
| 20. バドミントン | 28. 空手、拳法、合気道 |
| 21. バレーボール | 29. その他の競技的スポーツ
(具体的に) |
| 22. バスケットボール | |

◆野外スポーツ

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 30. ゴルフ | 35. カヌー、ボート |
| 31. 登山、ハイキング | 36. サーフィン、スキューバダイビング |
| 32. サイクリング | 37. 乗馬 |
| 33. スキー、スノーボード | 38. キャンプなど野外活動 |
| 34. アイススケート | 39. その他(具体的に) |
| 40. 特にない →問8へお進みください(次ページへ) | |

問7で運動・スポーツを行いたいと回答した人にお聞きします。
(問7で1~39のいずれかに○印をつけた人)

問7-1. 今後、運動やスポーツを行う場合に、重要と考える点(目的)は何ですか。(○は2つまで)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 健康・体づくり | 6. 家族とのふれあい |
| 2. 楽しみ・気晴らし(スポーツが好きだからも含む) | 7. 美容・ダイエット |
| 3. 運動不足解消 | 8. 精神修養や訓練 |
| 4. 自分の記録や能力の向上 | 9. コロナ禍でも安全・安心して運動やスポーツ
ができる環境 |
| 5. 友人や仲間との交流 | 10. その他(具体的に) |

《3. 公共スポーツ施設について》

◆松阪市内には、中部台運動公園（ドリームオーシャンスタジアム、三十三銀行アリーナ、中部台テニスコート、ソフトボール場や流水プールなど）、竹輝銅庵 CHIKKIDOUAN モーモースタジアム、阪内川スポーツ公園（松阪牛の里オーシャンファーム武道館、多目的グラウンド、テニスコート）、松阪市総合運動公園（多目的広場、多目的グラウンド、芝生広場、スケートパーク）、嬉野体育センター、ハートフルみくもスポーツ文化センター、飯南体育センター、飯高 B&G 海洋センターや嬉野グラウンド、松阪市山村広場（飯南グラウンド）、松ヶ崎公園グラウンドなどの公共スポーツ施設が整備されています。

問8. 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. よく利用する | 3. あまり利用しない（これまでに数回利用した程度） |
| 2. たまに利用する（年に数回程度利用する） | 4. 利用したことがない |

問9. 松阪市の公共スポーツ施設についてどのように思いますか。（それぞれに○は1つずつ）

(1)公共スポーツ施設・設備の内容（質）

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 満足 | 3. ふつう | 5. 不満 |
| 2. やや満足 | 4. やや不満 | 6. わからない |

(2)公共スポーツ施設の数

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 満足 | 3. ふつう | 5. 不満 |
| 2. やや満足 | 4. やや不満 | 6. わからない |

問 10-2 で松阪市の市営プールに行くとは回答した人にお聞きします。
(問 10-2 で 1、2、3 のいずれかに○印をつけた人)

問 10-3. 松阪市の市営プールに行く理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 使用料金が安いから | 5. 家から近いから |
| 2. 親子で遊べるから | 6. 職員の対応が良いから |
| 3. ゆったり泳げる(快適)から | 7. その他 () |
| 4. 昔からよく行くから | |

→問 11 へお進みください。

問 10-2 でプールには行くが松阪市の市営プールには行かないと回答した人にお聞きします。
(問 10-2 で 4、5、6、7 のいずれかに○印をつけた人)

問 10-4. 松阪市の市営プールに行かない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 使用料が高いから | 4. 家から遠いから |
| 2. 一年中利用できないから | 5. 泳ぎ方を指導してくれるスタッフがいないから |
| 3. 施設や設備が古いから | 6. その他 () |

すべての方にお聞きします。

◆市営プールについては、どの施設も老朽化が進み、近いうちに大規模な修繕や施設の更新(建て替え)が必要になってきます。また、松阪公園プールの跡地は駐車場として利用することが決まっており、市営プールとしての位置づけについて検討しつつ、将来的に今ある市営プールを集約していく必要があります。

問 11. 市営プールについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 市営プールを更新(建て替え)する際には、水泳技術の向上に重点をおいた施設のあり方を検討し集約すべき。
2. 市営プールを更新(建て替え)する際には、より多くの市民が楽しめる施設のあり方を検討し集約すべき。
3. 市営プールを更新(建て替え)する際には、利用者のニーズに応え、集約せずに積極的に更新(建て替え)すべき。
4. 市営プールは必要ない。
5. その他 ()

問 12. 松阪市の市営プールについて、ご意見等がありましたらお書きください。

()

問 13-2 で松阪市管理のテニスコートに行く と回答した人にお聞きします。
(問 13-2 で 1～5 のいずれかに○印をつけた人)

問 13-3. 松阪市管理のテニスコートに行く理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 使用料金が安いから | 5. 家から近いから |
| 2. 予約がとりやすいから | 6. 職員の対応が良いから |
| 3. コートの管理が行き届いているから | 7. その他 () |
| 4. 昔からよく行くから | |

すべての方にお聞きします。

◆県内他市の市営テニスコートでは、津市(コート数 12 面)、伊勢市(コート数 12 面)、鈴鹿市(コート数 12 面)、四日市市(コート数 16 面)など、コートを集約して設置しています。テニスの大会が 1 か所でできる、あるいは効率的な管理ができる一方で、建設に多額の費用(数億円規模)がかかります。

問 14. あなたは、テニスコートの集約化についてどう思われますか。(○は 1 つ)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. コートを集約して設置すべき | →問 14-1 へ |
| 2. コートを集約して設置すべきでない | } →問 15 へ |
| 3. その他 () | |
| 4. わからない | |

問 14 で「1. コートを集約して設置すべき」と回答した人にお聞きします。

問 14-1. テニスコートの集約についてあなたの考えをお聞かせください。(○は 1 つ)

1. 費用対効果を高めるため、利用状況や利便性を踏まえて既存のテニスコートに隣接して新たに設置することが望ましい
2. 新たに大規模な施設を既存のテニスコートとは別の場所に設置することが望ましい
3. 集約はすべきだが、具体的な方法はわからない
4. その他 ()

すべての方にお聞きします。

問 15. 松阪市管理のテニスコートについて、ご意見等がありましたらお書きください。

()

すべての方にお聞きします。

問 16. 松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1. 専用競技場（陸上競技、野球、サッカー、テニスなど）
2. 多目的グラウンド（ソフトボール、グラウンドゴルフ、ゲートボールなど）
3. 体育館（バレーボール、バスケットボール、卓球など）
4. 武道場（柔道、剣道、空手など）
5. 室内トレーニング施設
6. 室内・野外プール（流水プール含む）
7. アーチェリー場、弓道場
8. その他（具体的に)
9. 特に整備は必要ない

◆市では、公共スポーツ施設を利用する場合、**松阪市公共施設予約システムにより、パソコン・スマートフォンなどからインターネットで、体育施設の空き状況の確認や仮予約が簡単にできます。また、コンビニエンスストアで利用料の支払いができます。**

問 17. 松阪市公共施設予約システムを知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている（仮予約したことがある）
2. 知っている(仮予約したことはない)
3. 少し知っている（名称は聞いたことがある程度）
4. 知らない

問 18. 公共スポーツ施設を利用する上で、主にどのような点の充実を望みますか。(○は2つまで)

1. 施設や設備の充実
2. 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
3. 利用時間の拡大
4. 利用料金の値下げ
5. 交通の利便性（公共交通機関、駐車場の整備など）
6. 初心者向けのスポーツ教室や行事の充実
7. 利用案内等の広報の充実
8. その他（具体的に)
9. 特にない

《4. クラブや同好会、教室について》

◆**総合型地域スポーツクラブ**とは、地域に根ざして、いつでも・どこでも・だれでもスポーツに親しめることをめざして設立されたスポーツクラブで、**地域が『地域のために運営するクラブ』**です。子どもから高齢者まで、初心者からトップレベルの競技者まで、それぞれの年齢・関心・技術レベルに応じてできるのが特徴です。松阪市には「まつさか TAI KYO スポーツクラブ」、「うれしのスポーツクラブ AFLEC」の2団体があります。

問 19. **総合型地域スポーツクラブ**を知っていますか。(○は1つ)

- 1. よく知っている (参加したことがある)
- 2. 知っている(参加したことはない)
- 3. 少し知っている (名称は聞いたことがある程度)
- 4. 知らない

問 20. **現在、運動やスポーツのクラブや同好会 (学校や職場なども含む)、教室などに加入していますか。(○は1つ)**

- 1. 加入している →問 20-1 へ
- 2. 加入していない(以前は加入したことがある)
- 3. 加入したことはない (これまでも一度もない) } →問 21 へ

問 20 で「1. 加入している」と回答した人にお聞きします。

問 20-1. **どのようなクラブや同好会、教室に加入していますか。(○はいくつでも)**

- 1. 市が主催している講座や教室
- 2. 職場または学校のクラブや同好会
- 3. 地区・地域のクラブや同好会
- 4. 友人や仲間構成しているクラブや同好会
- 5. 民間のスポーツ施設等が開設しているクラブや教室
- 6. その他 (具体的に)

すべての方にお聞きします。

問 21. **今後、運動やスポーツのクラブや同好会、教室などに加入したい (現在、加入している人は加入し続けたい) と思いませんか。(○は1つ)**

- 1. 加入したい } →問 21-1 へ
- 2. 機会があれば加入したい } →問 21-1 へ
- 3. 加入したいとは思わない →問 22 へ

問 21 で「1. 加入したい」「2. 機会があれば加入したい」と回答した人にお聞きします。
(問 21 で 1、2 に○印をつけた人)

問 21-1. **加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件は何ですか。(○は2つまで)**

- 1. 自宅や通勤・通学先から近い
- 2. 利用料金が安い
- 3. 専用の施設・設備が整っている
- 4. 種目が充実している
- 5. レベルに応じた指導が受けられる
- 6. 仲間づくりができる
- 7. その他 (具体的に)
- 8. 特に (条件は) ない

《8. 障がい者スポーツについて》

◆パラリンピックは、競技大会の中で世界最高峰の障がい者スポーツ大会です。オリンピックと同じ年に同じ場所で開催されています。全国障害者スポーツ大会は毎年、国民体育大会終了後に開催されています。

問 28. 障がい者スポーツに関心がありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. たいへん関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 関心がある | |

問 29. 障がいのある人の運動・スポーツの普及・振興のために、主に何が重要であると思いますか。(○は2つまで)

1. 既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進
2. 障がい者優先のスポーツ施設の整備
3. 障がいのある人も参加できるスポーツ大会の開催
4. 障がい者スポーツの振興のための組織づくり
5. 障がい者スポーツを支えるボランティアの養成
6. 障がい者スポーツの競技団体への支援
7. 障がい者スポーツについて学ぶ機会の提供
8. その他(具体的に)
9. わからない

《9. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について》

問 30. 今後、松阪市が“めざすスポーツ”として、どのように考えたらよいと思いますか。(○は1つ) あなたの意見に最も近いものに○印をつけてください。

1. 誰もが参加できるスポーツの提供(スポーツ、競技を多くの人に広げる)
2. 競技スポーツの充実(個人などの能力向上、心身を鍛える。特に子どもや若年者などに)
3. レクリエーションやスポーツイベントの提供(楽しさ、ストレス解消などを目標に)
4. 交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(交流の場をつくる)
5. その他(具体的に)

問 31. 今後、スポーツ振興のために、松阪市として特にどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. スポーツに関する広報活動 | 9. スポーツボランティアの育成 |
| 2. 小中学校の運動部活動の充実 | 10. 各年齢層に合ったスポーツ種目の普及 |
| 3. スポーツ施設の整備・充実 | 11. スポーツ交流の推進 |
| 4. 学校体育施設の開放・整備 | 12. 全国規模のスポーツ大会の誘致 |
| 5. 初心者向けスポーツ教室の充実 | 13. 各種スポーツ大会やイベントの開催 |
| 6. スポーツ少年団活動への支援 | 14. 競技力の向上 |
| 7. 総合型地域スポーツクラブの充実 | 15. その他(具体的に) |
| 8. 指導者の育成 | 16. 特にない |

《最後に、現在のスポーツ行政に対する評価について》

問 32. 現在の松阪市のスポーツに対する政策について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. やや満足 | 5. 不満 |
| 3. ふつう | |

◎運動・スポーツに関してご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

アンケートは以上です。

ご協力ありがとうございました。

(※) 同封の返信用封筒に入れて、8月22日(月)までに、郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)。

松阪市
運動・スポーツに関する市民意識調査
調査結果報告書

令和4年12月

松阪市教育委員会事務局スポーツ課

〒515-8515 松阪市殿町1315番地3
TEL 0598-53-4402 FAX 0598-25-0133